# hp jornada
# 700 シリーズ
# ハンドヘルド PC

# ユーザーズ ガイド





Part number
Printed in Singapore
Edition 1

# ご注意

本書に記載した情報は、現状のものであり予告なしに変更される場合があります。

本書に記載した内容は、商品性や特定目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して一切の責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用または本書に紹介されている例に従った場合に生じる偶発的、付随的な損害に対して一切の責任を負わないものとします。



Hewlett-Packard Singapore (Pte) Ltd.
Asia Pacific Personal Computer Division
452 Alexandra Road
Singapore 119961

# 目次

1 | はじめに ....................1
本書の使い方 ....................2
hp jornada について ....................4
2 | お使いになる前に ....................9
hp jornada のハードウェア機能 ....................10
hp jornada のセットアップ ....................13
hp jornada を使う ....................21
3 | デスクトップ PC への接続 ....................27
はじめて接続する ....................27
デスクトップ PC に接続する ....................38
他の PC に接続する ....................40
hp jornada デスクトップを参照する ....................41
データを同期する ....................42
ファイルを転送する ....................48
4 | 情報の整理 ....................49
Microsoft Pocket Outlook を使う ....................49
HP ビューアを使う ....................53
HP クイック パッドを使ってデータを取り出す ....................56
ボイスメモの録音と再生 ....................58
5 | ビジネスでの活用 ....................61
Microsoft Pocket Office を使う ....................62
Microsoft InkWriter を使う ....................67
データのバックアップと復元を行う ....................68
LandWare OmniSolve を使う ....................71
6 | 電子メールへのアクセス ....................73
接続の方法と目的を決める ....................73
接続を作成する ....................76
HP ダイヤルアップ セットアップ ウィザードを実行する ....................78
接続を使う ....................88
7 | hp jornada のカスタマイズ ....................95
プログラム、フォント、サウンド、画像を追加する ....................95
アクセサリ ....................100
PC カード、CompactFlash カード、Smart カードを使う ....................100
メモリを管理する ....................104
バッテリを管理する ....................105
性能を最適化する ....................111
セキュリティ ....................119

HP セキュリティ コントロール パネル ... 119
hp jornada を携帯する ... 122
**8 | トラブルシューティング ... 125**
hp jornada のメンテナンス ... 125
基本的な問題を解決する ... 126
リモート接続の問題 ... 134
ディスプレイ ... 135
リセットする ... 136
**9 | サポートおよびサービス ... 139**
Web サイト ... 139
カスタマ サポート ... 139
修理 ... 139
世界各地の HP サポート窓口 ... 140
**付録 A | 快適に作業を行うために ... 143**
装置のセットアップと使用法 ... 143
RSI とは何か ... 143
RSI を引き起こす原因 ... 143
RSI の症状 ... 144
RSI を予防する ... 144
作業環境を整える ... 144
眼精疲労を軽減する ... 144
筋肉のこりを予防する ... 145
短い休憩を頻繁に取る ... 145
**付録 B | PIM データの転送 ... 147**
パームサイズ PC、ポケット PC、ハンドヘルド PC からデータを転送する ... 147
**付録 C | HP ダイアル アップ 日本国内での 設定 ... 149**
**用語集 ... 153**
**索引 ... 159**
**保証 ... 169**
1 年間限定ハードウェア保証 ... 169
保証の制限 ... 169
責任と保証の制限 ... 170
HP ソフトウェア製品ライセンス契約および HP ソフトウェア製品限定保証 ... 171

# 1l はじめに

hp jornada 700 シリーズ ハンドヘルド PC (H/PC) をお買いあげいただきありがとうございます。この H/PC は、Microsoft® Windows® for Handheld PC (H/PC) 2000 オペレーティング システムを搭載したモバイル デバイスです。そのコンパクトな筐体と高度な機能により、大切なビジネス データや個人情報を常に最新の状態で手元に置いておくことができます。また、最新バージョンの Microsoft Pocket Outlook により、移動中でもメールをチェックしたり、予定や連絡先を管理できます。hp jornada は、デスクトップ PC、ノートブック PC との連携にも優れています。重要なデータや文書を社外に自由に持ち運べ、会社に戻ってから最新の情報を簡単に PC に転送できます。また、hp jornada は、性能やバッテリの寿命ともに最高水準を誇り、さらに HP 製のプログラムとユーティリティも数多く搭載しています。この強力かつ信頼性の高い hp jornada をこれからのモバイル ビジネス パートナーとしてご活用ください。

hp jornada は Microsoft Windows 製品やノートブック PC と数多くの共通機能を持っています。これらの製品をすでにお使いの方々は、違和感なくすぐに使いこなせるようになるでしょう。

この章では、以下の項目について説明します。

- このユーザーガイドの概要と各種ヘルプの紹介
- MS Windows for H/PC 2000、HP オリジナルアプリケーションなど、内蔵アプリケーション一覧とその概要
- hp jornada の機能と効果的な使用方法

# 本書の使い方

本書は、hp jornada をすばやく簡単に使えるようになることを目的として書かれています。手順と画面の表示については正確を期すよう最大の注意を払っていますが、ご利用になる hp jornada の画面表示のいくつかは、本書のサンプル画像と異なる場合があります。

hp jornada に添付されたプログラムの詳しい使用方法は、本書を持ち運ばなくてもいつでもご覧いただけるようにオンライン ヘルプにも記載されています（オンライン ヘルプの使い方について、詳しくは第 2 章の「hp jornada のヘルプを使う」を参照してください）。

## 表記について

本書では、必要な情報をすぐに見つけられるように、以下のマークを使用しています。

| | |
|---|---|
|  | その項目に設定されている別の操作方法、ショートカット、追加情報などを記載しています。 |
|  | その項目に関する注意または警告事項を記載しています。この情報に従わないとデータが消失したり、本機の故障の原因となることがあります。 |
|  | 知っていると便利な情報を記載しています。 |

## 情報の探し方

本書では、hp jornada に搭載されているプログラムとその概要、hp jornada とデスクトップ PC 間の通信、またインターネットとの通信のセットアップ方法などについて説明します。次の表に、hp jornada の使用上知っていると便利な情報を種類別に示します。本書では、付属プログラムについて、その機能や使用方法を紹介していますが、すべては記載されていません。詳細については、各プログラムのオンライン ヘルプを参照してください。

| 情報 | 参照先 |
| --- | --- |
| プログラム | 本書または hp jornada のオンライン ヘルプ<br>[スタート] メニューで [ヘルプ] をタップします。 |
| 技術用語 | 本書巻末の用語集をご覧ください。 |
| デスクトップ PC とのファイルの同期と交換手順の説明 (外出先からの接続手順を含む) | 本書または hp jornada のオンライン ヘルプ<br>[スタート] メニューで [ヘルプ] をタップします。<br>または<br>デスクトップ PC の Microsoft ActiveSync オンライン ヘルプ<br>デスクトップ PC の [ActiveSync] ウィンドウで、[ヘルプ] – [Microsoft ActiveSync ヘルプ]をクリックします。 |
| ツールバーのボタン | ツールバーのボタンをタップしたまましばらく押していると、ボタンの名前が表示されます (ツールバーの機能を実行しないように、カーソルをボタン以外のところまでドラッグしてから指を離してください)。詳細については、第 2 章の「hp jornada を使う」を参照してください。 |
| 接続に関するトラブルシューティング情報 | 本書またはデスクトップ PC の ActiveSync トラブルシューティング<br>[ActiveSync] ウィンドウで、[ファイル] – [接続設定] – [ヘルプ] の順にクリックし、[ActiveSync トラブルシューティング] を起動します。<br>更なる情報は、www.microsoft.com/mobile にある Microsoft モバイル デバイス サイトにアクセスしてください。 |
| ソフトウェアのアップデート、デバイス ドライバ、互換アクセサリに関する情報 | hp jornada Web サイト<br>www.jpn.hp.com/hho/jornada |

| | |
|---|---|
| MS Windows for H/PC 2000 搭載デバイスに関する最新情報 | Microsoft Windows モバイル デバイス Web サイト<br><br>http://www.microsoft.com/mobile/ |
| MS Windows for H/PC 2000 の本リリースに関する情報 | Readme.doc ファイル (Windows デスクトップ PC の Microsoft ActiveSync フォルダに収録) |



本書のすべての内容を記載したファイルが、HP Web サイト (www.jpn.hp.com/hho/jornada) からダウンロードできます。デスクトップ PC にユーザーズ ガイドのファイルをダウンロードし、Adobe™ Acrobat Reader (Adobe Web サイトからダウンロードできます。www.adobe.com) で文書を表示させることができます。

## hp jornada について

HP は、互換性と使いやすさを兼ね備えたモバイル コンピューティングの新世代を切り開きました。hp jornada には、これまでになかった数多くの優れた機能が搭載されています。hp jornada の特長は以下のとおりです。

- これまでお使いのパームトップまたはハンドヘルド PC に蓄積された貴重なデータを hp jornada に簡単に移動。これまでの Windows CE 搭載デバイスから情報を転送できます (付属文書 B の「PIM データの転送」を参照してください)。
- モデムを使わずにメール送信。デスクトップ PC と同期すると自動的に電子メールを送れます (第 3 章の「データを同期する」を参照してください)。
- より多くのデータを保存可能。デスクトップの Microsoft Word で作成されたファイルを hp jornada に移動すると、最大 85 パーセントも使用スペースを節約できます (第 3 章の「ファイルを転送する」を参照してください)。
- H/PC 2000 デバイスを持たない他のユーザーにもボイスメッセージを送信可能。hp jornada で作成したボイスメッセージは、オーディオ互換形式である Wave 形式で保存できます (第 4 章の「ボイスメモを録音する」を参照してください)。
- 会社や自宅などで保存しておいた Word、Access、Excel ファイルを常に同期できます。お好きな場所で更新してください。いったん同期したら保存場所を選ばずどこでもファイルを更新できます (第 3 章の「データを同期する」を参照してください)。
- オフライン中にオンラインニュースや情報を読んだり、後で読めるように Web ページをダウンロードしておくことができます (第 6 章の「Web をブラウズする」を参照してください)。
- 必要なときいつでもどこでも使用できる、最大１０時間のバッテリ寿命 (第 3 章の「バッテリを管理する」を参照してください)。

- メール メッセージ、連絡先、予定、仕事などをデスクトップまたはノートブック PC と簡単に同期（第 3 章の「データを同期する」を参照してください)。
- バッテリを含めても総量わずか 510g で、持ち運びに便利。
- PC カードによる機能拡張が可能（第 7 章を参照してください)。
- 小さなパッケージにモデム内蔵。

hp jornada を使えば、スピーディで簡単なモバイル コンピューティングが実現します。hp jornada には、外出先から連絡をとったり、情報を整理できるようにするための便利な機能が各種そろっています。

- hp jornada ビューア: PIM データ（連絡先、予定表、仕事）が一覧表示されるので、必要なデータをすぐに見つけられます。予定に付けられたメモを表示することも可能です。



- hp jornada ダイヤルアップ アプリケーション: 画面に表示されるガイドにしたがって簡単にダイヤルアップ接続を設定したり、電子メール、Web サイトにアクセスできます。接続の設定が済んだら、デスクトップのダイヤルアップ ウィンドウからダイヤルできます。



- hp jornada クイックパッド: メモ、名前、電話番号、その他のデータなど、ちょっとの間保管しておきたい情報を自由に書きとめることができます。すぐに取り出すデータならクイックパッドに、長く使う場合は適切なデータベースに送ることができます。



- hp jornada バックアップ アプリケーション: 情報を CompactFlash カードまたは PC カードにバックアップします。外出先で電源が消耗してしまってもデータの消失を防げます。



## hp jornada 内蔵のプログラム

hp jornada には、ビジネスの先端を行くモバイル ユーザーに必要不可欠なソフトウェアパッケージが数多く搭載されています。詳しくは、本書をご覧ください。

---

以下のプログラムは、ROM にプリインストールされています。再インストールする必要はありません。



---

### Microsoft Pocket Office

[スタート] – [プログラム] – [オフィス] をポイントし、次のいずれかのプログラムをタップします。



- **Pocket Word**: メモを取ったり、文書を作成したりできます。また、デスクトップ PC から Microsoft Word で作成したファイルを hp jornada に転送して、外出先で開いたり、編集したりできます。



- **Pocket Excel**: 価格表や見積を表示したり、編集したりできます。オフィスに戻る前に、出張旅費の精算用紙を準備しておくことが可能です。



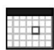
- **Pocket Access**: データベースを社外に携行したり、外出先で記入したデータをオフィスに戻ってから、Microsoft Access のデータベースと同期して更新できます。



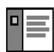
- **Pocket PowerPoint**: デスクトップ PC で作成したプレゼンテーション ファイルを hp jornada に保存、表示できます。また、PC カード VGA アダプタ (F1252A) を使用して外部モニタや VGA プロジェクタに接続してスクリーンに映し出すこともできます。

## Microsoft Pocket Outlook

[スタート] – [プログラム] – [Pocket Outlook]をポイントし、次のいずれかの項目をタップします。



- **予定表**: 重要な日付や要件を常に記録、表示し、スケジュールを管理します。スケジュールの調整ミスにより会議に出られないようなことがなくなります。



- **連絡先**: hp jornada を手元に置いておけば、いつでも知りたい名前、住所、電話番号を参照できます。連絡先を更新した場合は、hp jornada とデスクトップ PC とを同期するだけで、常に最新の情報に統一できます。



- **受信トレイ**: 電子メールのメッセージの送受信を行います。hp jornada の受信トレイとデスクトップ PC パートナーの Microsoft Outlook™や Microsoft Exchange™とは簡単に同期できます。



- **仕事**: タスクリストを常時監視します。予定を忘れないようにアラームやリマインダをセットしておくことができます。

## Microsoft エクスプローラ

[スタート] – [プログラム]をポイントし、[Internet Explorer] または [エクスプローラ] をタップします。またはデスクトップの [Internet Explorer] または [マイ ハンドヘルド PC] アイコンをダブルタップします。

- **Microsoft Internet Explorer 4.01 for Handheld PC** は、Microsoft Internet Explorer 4.01 の H/PC 専用バージョンです。Web をブラウズしたり、チャネルコンテンツをご利用になれます。



- **エクスプローラ**では hp jornada 内のファイルやフォルダを表示できます。



Terminal Server Client

Windows Terminal Server Client を利用して、jornada でサーバ上のアプリケーションを操作することもできます。詳しい使用方法やサーバ側のシステム要件は、jornada 本体ヘルプファイルをご覧下さい。

## 通信

[スタート] – [プログラム] – [通信] をポイントし、次のいずれかの項目をタップします。

- **ActiveSync™**: ネットワークまたはダイヤルアップ接続を介して、離れた場所から、hp jornada とデスクトップ PC またはノートブック PC とを同期します。



- **PC リンク**: シングル タップするだけで、hp jornada とデスクトップ PC 間の接続を確立できます。



- **リモート ネットワーク**: ダイヤルアップ サーバー、RAS アカウント、ISP (インターネット サービス プロバイダ) に接続します。



- **ターミナル**: VT-100 または TTY ターミナル エミュレーションが必要なオンライン サービスに接続します。



## HP オリジナルアプリケーション

[スタート] – [プログラム] – [HP アプリケーション] をポイントし、次のいずれかの項目をタップします。

- **HP ビューア**: 予定表、仕事、連絡先 (Pocket Outlook) を必要な詳細度で表示し、いつでもスケジュール管理ができるようにします。月単位の表示、週単位の表示、日単位の表示が選べるので、予定表をより効率的に管理できます (HP ビューアはデスクトップ アイコンまたは HP ホットキーからもアクセスできます)。



- **HP ダイヤルアップ**: インターネットやメール アカウント、社内ネットワークへの接続を簡単に設定でき、デスクトップのウィンドウからすぐにダイヤルインできるようにします (デスクトップ アイコンからもアクセスできます)。





- **HP セキュリティ**: hp jornada に保存したデータへのアクセスを管理します。デバイス使用時に要求されるパスワードを設定します。



- **HP バックアップ**: 外出先でも貴重なデータを保護できます。Pocket Outlook のデータまたは hp jornada に保管されたすべてのファイルを CompactFlash カードまたは PC カードにバックアップ保存できます。

[スタート] – [プログラム] – [HP ユーティリティ]をポイントし、次のいずれかの項目をタップします。



- **HP 設定**: 作業環境に合わせて、画面や音量を調節できます。または、あらかじめ設定された 4 種類のプロファイルの中からご自分の環境に合った設定を選択できます。切り替えはボタンを押すだけで簡単に行えます。



- **HP ホットキー**: ワンタッチで簡単にプログラム、ファイル、フォルダを開けます。ホットキーとハードアイコンはすべて自由にカスタマイズできます。お好きなプログラムや頻繁に使う文書などをホットキーに割り当てれば次からは簡単にアクセスすることが可能です。

## アクセサリ

[スタート] – [アクセサリ]をポイントし、次のいずれかの項目をタップします。



- **InkWriter InkWriter®**: を使うと、会議中などでもメモしたり、スケッチを描いたりできます。



- **Microsoft ボイスレコーダ**: ボイスメモや重要な情報を録音して後で再生できます。



- **電卓**: 画面の電卓を使って簡単な計算を行い、その結果を作業中の文書にコピーできます。



- **世界時計**: 世界中の時刻が一目でわかります。自宅と訪問先の都市に関する便利な情報も表示されます。



- **OmniSolve®**: LandWare により開発された多機能の計算ソフトで、数学やビジネスの複雑な計算を行うことができます。

## ゲーム

- **ソリティア**: 空港や電車の中で、あるいは退屈な会議や講義の最中に、おなじみのゲームをお楽しみください。



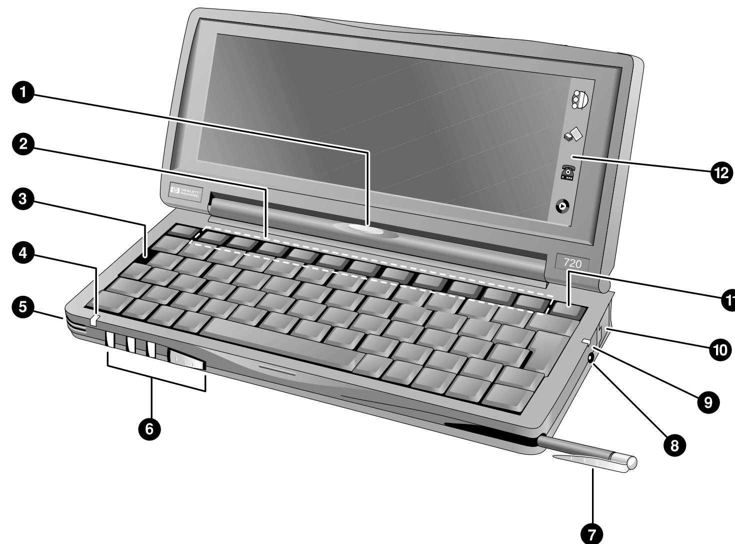
# 2 | お使いになる前に

この章では、hp jornada 700 シリーズ ハンドヘルド PC を使用する前の準備作業について説明します。hp jornada をセットアップする方法、MS Windows for H/PC 2000 オペレーティング システムの簡単な紹介、作業環境に合わせて機能をカスタマイズする方法も含まれています。この章を読み終わると、hp jornada を使い始める準備がすべて整います。

この章では、次の内容について操作順に説明します。

- hp jornada のハードウェア機能を知る
- AC アダプタに接続する
- メイン バッテリをセットする
- バックアップ バッテリをセットする
- MS Windows for H/PC 2000 ウェルカム ウィザードを完了させる
- hp jornada の環境を整える

# hp jornada のハードウェア機能



❶ **予定通知 LED**: 、あらかじめ設定しておいた予定、仕事、アラームを通知します (詳しくは、第 4 章の「Microsoft Pocket Outlook を使う」を参照してください)。

❷ **HP ホットキー**: ホットキー上に表示されているアイコンのソフトウェアをワンタッチで起動します。またお好みのプログラム、フォルダ、文書、頻繁に使用する設定ワンタッチでアクセスできようにホットキーをカスタマイズできます (第 7 章の「HP ホットキーとハードアイコンをカスタマイズする」を参照してください)。

❸ **リセット ボタン**: このボタンを押すと、jornada が再起動します。



**リセット ボタン**を押すと、MS Windows for H/PC 2000 オペレーティング システムがただちに再起動されます (**警告**: hp jornada をリセットすると、作業中の文書で未保存のデータはすべて失われます。第 8 章の「リセットする」を参照してください)。

❹ **ステータス LED**: 赤色の点灯は、ボイス レコーダでボイスメモを録音していることを示します。緑色の点滅は、jornada の画面表示が消えていても、電源が入っていることを示します。

❺ **マイクロフォン**: ボイスメモを録音できます。

❻ **オーディオ ボタン**: Windows Media Player を使用して、お好みの MP3 または WMA の音楽ファイルを再生できます。

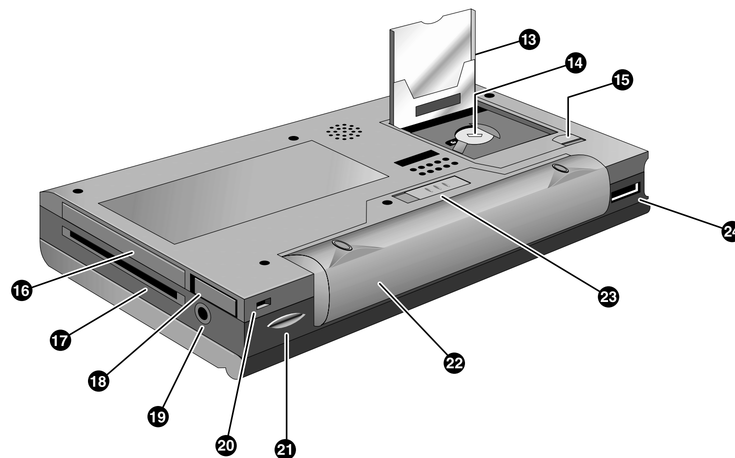
❼ **スタイラス ペンとスタイラス ペン収納スロット**: スタイラス ペンは取り出しやすいように本体正面横に設置されています (スタイラス ペンについては、本章の「スタイラス ペンとタッチスクリーンを使用する」を参照してください)。

❽ **DC ジャックと AC 電源アダプタ**: hp jornada と AC 電源を接続し、メインバッテリを充電します。

❾ **バッテリ充電 LED**: AC 電源に接続中、メインバッテリの充電状況を示します。

⓫ **インスタント オン/オフ**: jornada を即時に始動、あるいはシャットダウンできます。作業をサスペンドする時は on/off ボタンを押します。後で電源を入れると、すぐに作業の続きにとりかかることができます。

⓬ **HP ハード アイコン**: スタイラス ペンでタップするだけで、画面と音量設定の調整、システムのステータス確認、データのバックアップ、ダイヤルアップ接続の起動、Windows Media Player の起動ができます。(第 7 章の「HP ホットキーとハード アイコンをカスタマイズする」を参照してください)。



⓭ **CompactFlashType I カード スロット**: CompactFlash カードタイプのメモリを使用できます（詳しくは､第 7 章の「PC カードと CompactFlash カード 、および Smart カードを使う」を参照してください。推奨の周辺機器や PC カードの一覧は、hp jornada Web サイトwww.jpn.hp.com/hho/jornadaに記載されています)。

⓮ **バックアップ バッテリ挿入部**: 3V の CR2032 バックアップ用ボタン電池が 1 個入ります（バックアップ バッテリの交換について詳しくは、第 7 章を参照してください)。

⓯ **CompactFlash ドア リリース タブ**: 矢印の方向にタブをスライドすると、CompactFlash カードを挿入したり、バックアップ バッテリ 挿入部を開けたりすることができます。

⓰ **PC カード TypeⅡカード スロット**: PC カード（PCMCIA カード）をインストールして、メモリの増設、外部モニタへの接続、機能の追加ができます。詳しくは、第 7 章の「PC カード、CompactFlash カードおよび Smart カードを使う」を参照してください。推奨する PC カードについては、HP Web サイト www.jpn.hp.com/hho/jornadaに掲載されている一覧を参照してください)。

⓱ **Smart カード リーダー スロット**: Smart カードは、埋め込みチップ技術を用いて設計されており、hp jornada に最高水準のセキュリティを提供します。Smart カードの使用に関しては、第 7 章の「PC カード、CompactFlash カードおよび Smart カードを使う」をご覧ください。

⓲ **PC カード リリース タブ**: TypeⅡ PC カード スロットから、PC カードを取り出すには、タブを軽く押し、タブが出たら押し下げます。

⓳ **イヤホン ジャック**: ステレオのイヤホン ジャックでお好みの音楽をお楽しみください。

⓴ **セキュリティ ケーブル スロット**: 別売の Kensington セキュリティ ケーブルを接続すれば、hp jornada を盗難から守ることができます。
www.kensington.com

㉑ **赤外線ポート（SIR IrDA 互換トランシーバ)**: 他の hp jornada、パームトップ PC、または赤外線デバイスを搭載したプリンタやデスクトップ PC との間で、赤外線によるファイルの送受信ができます（詳しくは、第 3 章の「赤外線で接続する」ならびに第 8 章の「赤外線による転送」を参照してください)。

㉒ **メイン バッテリ**: バッテリ電源で、hp jornada を最大１０時間使用できます。オプションの拡張バッテリを使用すれば、最大 24 時間の使用が可能です。

㉓ **メイン バッテリ リリース タブ**:タブをスライドし、バッテリの取り出しや交換を行います。

㉔ **シリアル ポート（RS-232C)**: ファイルの転送や、Pocket Outlook のデータとの同期を行うために、hp jornada をデスクトップ PC に接続します。また、hp jornada をプリンタ、外付けモデム、その他のデバイスに直接接続します（詳しくは、第 3 章の「はじめて接続する」を参照してください)。

# hp jornada のセットアップ

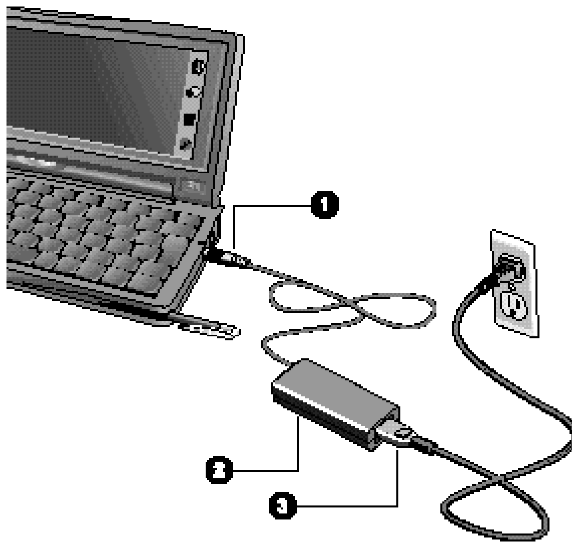
以下に hp jornada をはじめて使うときの手順を示します。セットアップの手順には、 AC 電源アダプタの接続、メイン バッテリおよびバックアップ バッテリの取り付け、MS Windows for H/PC 2000 のウェルカム ウィザードの実行が含まれます。hp jornada のセットアップには、hp jornada 本体、AC アダプタ、標準バッテリ、バックアップ バッテリ(クイック スタート カードに付属)、電源ケーブルが必要です。

以下の手順に従い、記載順に作業を行ってください。バックアップ バッテリは、AC 電源に接続しメイン バッテリをセットした後でセットしてください。



AC アダプタに接続する

1. AC アダプタ ケーブルを hp jornada の右側にある DC ジャックに接続します。
2. 電源ケーブルを AC アダプタに接続します。
3. 電源ケーブルをコンセントに差し込みます。



AC アダプタ コンポーネント: ❶ DC プラグ、❷ AC アダプタ、❸ 電源ケーブル

hp jornada を AC 電源に接続すると、メイン バッテリが自動的に充電されます。LED の色でバッテリの状態がわかります。赤色の LED はバッテリが充電中、緑色の LED はバッテリが完全に充電されたことを示します。

バッテリの消耗を避けるために、付属の AC アダプタを使用して、hp jornada を AC 電源で作動させることもできます。AC アダプタは 100V から 240V まで対応しているので、世界中どこでも AC 電源に接続できます。海外ではコンセントの形状に合ったアダプタが必要になることもありますが、hp jornada の AC アダプタは、どこでも安全に交流を直流に変換できます。

アダプタは付属のもの以外は使用しないでください（モデル HP F1279B のみ、電源仕様は 100-240V AC、50-60 Hz、1.5A)。



AC アダプタを接続すると、hp jornada は自動的に電源オンになりますが、ご使用の前にメインバッテリとバックアップバッテリをセットしてください。

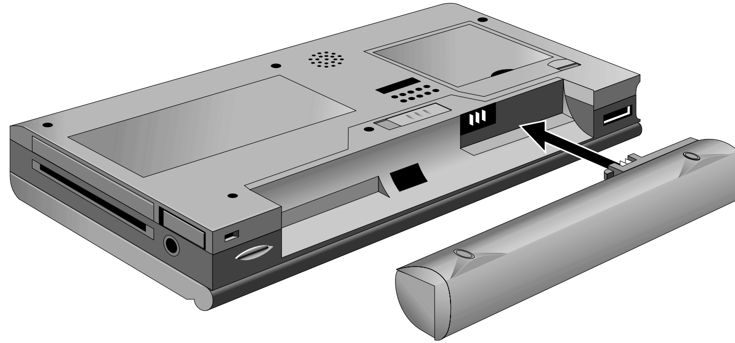
## メイン バッテリをセットする

hp jornada が AC 電源に接続されていないときは、リチウム イオン バッテリが電源を供給します。通常の操作環境で、完全に充電したバッテリが電源を供給できる時間は、連続 9 時間です。ただし、実際のバッテリの持続時間は、使い方によって異なります。

充電式リチウム イオン バッテリは、NiCD や NiMH バッテリと異なり「メモリ効果」の影響を受けないので、完全放電していない状態でも、最大限に充電することが可能です。



メイン バッテリは、図に示すとおり、hp jornada の底部に収めます。



hp jornada の底部にメイン バッテリをセットする

メイン バッテリをセットするには

- メイン バッテリを hp jornada の底部にあるバッテリ スロットにセットします。カチッと音がして正しい位置に収まるまでしっかりと差し込んでください。

梱包ケースから取り出した時点でメイン バッテリは、すでに少し充電されていますが、hp jornada をバッテリで動作させる場合は、メイン バッテリを完全に充電してからご使用ください。メイン バッテリの充電には、3 時間半ほどかかります。バッテリが完全に充電されると自動的に充電が止まります。AC 電源にそのまま接続しておいてもバッテリを過充電することはありません。

メイン バッテリの残量が少なくなると、充電不足の警告が表示されます。充電不足のメッセージが表示されたら、バックアップ バッテリの消耗やデータの消失を防ぐため、すぐに AC 電源に接続してメイン バッテリを充電してください。





バッテリを分解したり、穴を空けたり、火中に投じたりしないでください。破裂したり、有害な化学物質が漏れ出すおそれがあります。バッテリはユーザーズ ガイドで推奨されている種類のものと交換してください。使用済みのバッテリを廃棄する際は、製造元の指示に従ってください。

## バックアップ バッテリをセットする

バックアップ バッテリはメインバッテリの残量が不足したときのデータ保護用に使います。バックアップ バッテリは、hp jornada の通常操作を行うだけの電源を供給することはできません。メインバッテリを交換する

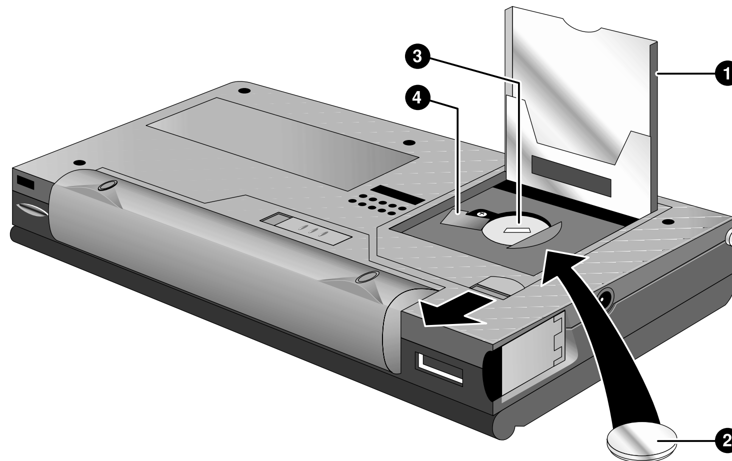
か AC 電源に接続して充電する間、データを保存するだけです。バックアップ バッテリ（3-V CR2032 ボタン電池）
は hp jornada クイック スタート カードに付属しています。バックアップ バッテリをセットするには、以下の手順に従ってください。



データの損失を避けるため、画面にバックアップ バッテリ残量警告メッセージが表示されたら、すぐにバックアップ バッテリを交換してください（バックアップ バッテリの交換について詳しくは、第 7 章の「バッテリを管理する」を参照してください）。

## バックアップ バッテリをセットするには

1. バックアップ バッテリを hp jornada クイック スタート カードから取り外します。
2. jornada を裏返し、CompactFlash ドアを開けます。
3. スタイラス ペンの先端を使用して、バックアップ バッテリ カバーを慎重に開けます。
4. バッテリの**印刷面を手前に向け**、バッテリ コンパートメントにセットします。
5. スタイラス ペンの先端を使用して、バックアップ バッテリ カバーを閉じてバッテリを固定し、さらに CompactFlash ドアを閉じます。




バックアップ バッテリをセットする

❶ CompactFlash ドア（開いた状態）
❷ バックアップ バッテリ(3V CR2032 ボタン電池)
❸ バックアップ バッテリ コンパートメント
❹ バックアップ バッテリ カバー（開いた状態）

機器の破損を防ぐため、CompactFlash ドアを閉じる前に、必ずバックアップ バッテリ カバーを閉じてください。



## スタイラス ペンとタッチスクリーンを使用する

スタイラス ペンはマウスと同じように、画面の操作やオブジェクトの選択が行えます。指先でタッチスクリーンをタップするよりも、スタイラス ペンを使ってタップするほうがより正確な操作が行えます。

スタイラス ペンはすぐに取り出せるように、hp jornada 前面のスタイラス ペン用スロットに収納されています。スタイラス ペンを取り出すには、スタイラス ペンの頭の部分を軽く押してスタイラス ペンのロックが外れて押し出されたところを引き出します。

スタイラス ペンは、頭の部分を押すと自然に押し出されるようになっています。この動作を行っても、スタイラス ペンの機能に影響はありません。



スタイラス ペンを使った操作を行う際は、次のヒントを参考にしてください。

- アイコンを選択したりプログラム用ボタンを起動するには、マウスのクリックのかわりにスタイラス ペンでタッチスクリーンをタップします。（スタイラス ペンでアイコン等を叩くことをタップといいます。）
- マウスのダブルクリックのかわりにスタイラス ペンでダブルタップします。（２度続けてタップすることをダブルタップといいます。）
- マウスの右クリックのかわりに alt キーを押しながらタップします。

スタイラス ペンをスロットに戻すには、スタイラス ペンのペン先部分から先にスロットに挿入し、カチッという音がするまでしっかり押し込みます。

## ウェルカム ウィザードを実行する

メイン バッテリをセットすると、自動的に hp jornada の電源がオンになります。スタートアップとともに HP ウェルカム画面が表示され、まもなく MS Windows for H/PC 2000 ウェルカム ウィザードが起動します。ウェルカム ウィザードでは、タッチスクリーンの補正を行ったり、世界時計やオーナー情報などを画面の指示に従いながら設定できます。

作業を開始する前に、作業環境の明るさや視野角に応じて、画面の輝度とコントラストを調整してください。輝度、コントラストともに、キーボードで調整できます。

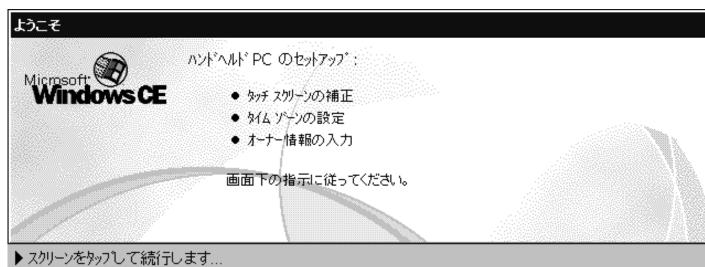
### 画面の輝度とコントラストを調整するには

1. コントラストは、alt キーを押しながら、< または > キーを押して調整します。
2. 輝度は、alt キーを押しながら、レ または ケ キーを押して調整します。



バッテリの寿命を長持ちさせるために、画面の輝度はできるだけ弱くし、コントラストを調整して読みやすくしてください。

次にウェルカム ウィザードの手順を説明します。画面下のタスクバーに表示される指示に従って、ウェルカム ウィザードを実行します。ウェルカム ウィザードを完了すると、hp jornada を使用する準備がすべて整います。



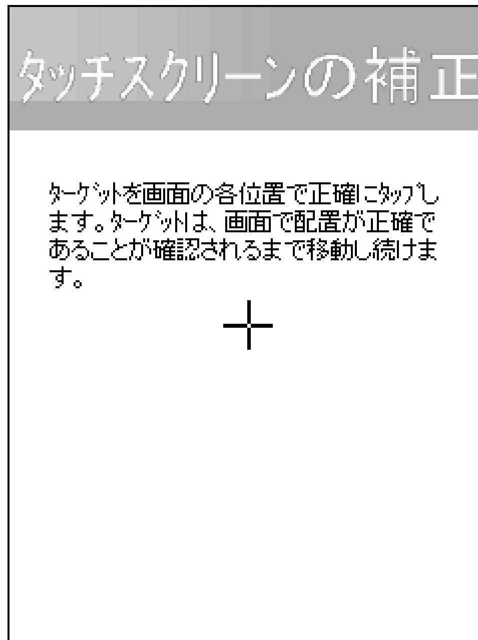

操作中に hp jornada がフリーズした場合は、ソフト リセットを行います。ソフト リセットを行うには、キーボードの左側のリセット ボタンをスタイラス ペンの先で押します。続いて hp jornada が自動的に再起動します。ただし、開いている文書で未保存のデータはすべて失われます。詳しくは、第 8 章の「リセットする」を参照してください。



## タッチスクリーンを補正する

スタイラス ペンを使った操作を行う前に、タッチ感応コーティングが施されたタッチスクリーンで画像補正を行ってください。ウェルカム ウィザードの最初にタッチスクリーンの補正画面が表示されます。画面上の数カ所に現れるマークを追って正しくタップし、補正を行います。

スタイラス ペンのタップの精度が良くない場合は、この画面に戻ってタッチスクリーンの補正を行うことができます。




jornada をはじめて起動するとセットアップウィザードが開始され、「タッチスクリーンの補正」画面が表示されます。スタイラス ペンで的確に操作するためには、この設定画面に現われる＋の中心を性格にスタイラスペンで押さえる必要があります。スタイラス ペン設定後、地域とタイムゾーンの設定画面が続き、セットアップウィザードは完了します。

## 再度タッチスクリーンを補正するには

- [スタート] – [設定]をポイントし、[コントロール パネル] をタップします。次に [スタイラス ペン] アイコンをダブルタップします。

  または

  ctrl alt ↵ .キーを押します。

[スタイラス ペン] コントロール パネルでは、この他にダブルタップ速度の設定やタップ間隔の調整などが行えます。

## 自宅の所在都市を選択する

MS Windows for H/PC 2000 には、[自宅] で指定した都市の日付、時刻、地域の情報が表示されます。[自宅] タブのドロップダウン リストから最寄りの都市をタップします。自分の所在都市がリストにない場合は、[コントロール パネル] の [世界時計] で追加できます (オンライン ヘルプの「世界時計」を参照してください)。




## 世界時計を設定する

MS Windows for H/PC 2000 では、アラームや予定をモニタしたり、最新のファイルや予定表をデスクトップ PC と同期するときに、システム時計が使用されます。このため、時刻と日付を正しく設定しておくことは非常に重要です。時刻を設定するには、時計の下のボックスに現在の時刻を入力するか、時計の針を正しい位置にドラッグします。日付を設定するには、カレンダーで今日の日付をタップします (年月を変更するには、◀ または ▶ ボタンをタップします)。

時刻の設定は、[コントロール パネル] の [世界時計] で変更できます (オンライン ヘルプの「世界時計」を参照するか、タスクバーのステータス領域で時計をタップしてください)。




## オーナー情報を追加する

MS Windows for H/PC 2000 にオーナー情報（ユーザー名、住所、電話番号など）を表示するように設定できます。また、例えば、「この hp jornada を持ち主に届けてくださった方には謝礼を差し上げます」などのメモ書きを表示することも可能です。hp jornada を起動するたびにオーナー情報を表示するには、[スタート] – [設定] – [コントロール パネル] の順にタップします。[オーナー情報のプロパティ] を開き、 [システム起動時] の下にある [オーナー情報を表示する] チェックボックスをオンにします。

ここで入力した情報は、[コントロール パネル]の [オーナー情報のプロパティ] で、いつでも変更できます (オンラインヘルプの「設定」を参照してください)。

# hp jornada を使う

ウェルカム ウィザードを完了すると、hp jornada 使い始めることができます。

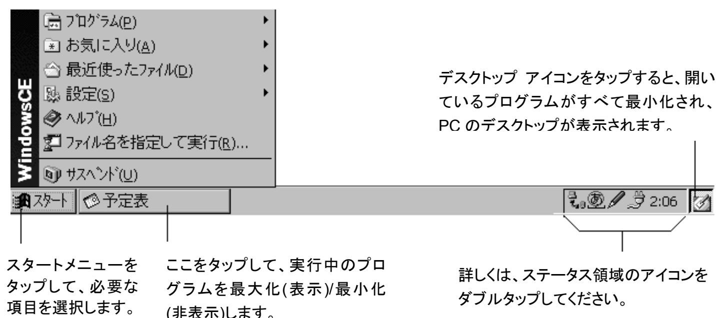
## MS Windows for H/PC 2000 へようこそ

MS Windows for H/PC 2000 搭載 hp jornada ハンドヘルド PC をご購入いただきありがとうございます。このコンパクトなボディと高度な機能により、大切なビジネス情報や個人情報を常に最新の状態で手元に置くことができます。また、ActiveSync を使用して、hp jornada とデスクトップ PC やノートブック PC 間で情報を同期することで、hp jornada のパワーをさらに拡大することができます。

## スタートメニューとタスクバーを使う

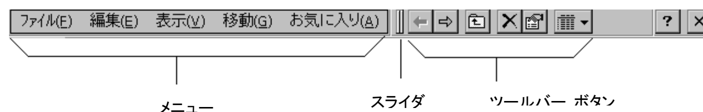
[スタート] メニューは、[設定]、[ヘルプ]、[最近使ったファイル]、または [HP アプリケーション] などのプログラムを起動するのに使用します。使

い方は、[スタート] をタップし、実行したいプログラムや項目をタップするだけです。一方タスクバーには、実行中のプログラムのアイコン、ステータス領域、デスクトップ アイコンが表示されます。




## コマンドバーを使う

プログラムごとに、ウィンドウの上部にコマンド バーがあります。コマンド バーには、メニュー名とツール バーが表示されます。スライダをタップしたままドラッグして、メニュー名だけの表示にしたり、メニュー名とツール バー両方の表示に切り替えることができます。スライダをドラッグすれば、必要なボタンとメニュー名だけを表示できます。また、スライダを下にドラッグすれば、ツール バーをメニューの下に移動できます。




## hp jornada のヘルプを使う

MS Windows for H/PC 2000 など、特定のプログラムのヘルプを参照する方法は以下のとおりです。

- プログラムに関する詳しい手順と概要を参照するには、[スタート] メニューで [ヘルプ] をタップし、次に参照したいプログラム名をタップします。
- MS Windows for H/PC 2000 ヘルプを参照するには、各プログラムまたはダイアログ ボックスにある ? ボタンをタップします。
- ボタンやコントロールの機能を調べるには、ツール バーのボタンをタップし、押したままにしているとボタンの名前がツールのヒントに表示されます。ツール バーからプログラムが起動しないように、スタイラス ペンをボタン以外のところまでドラッグしてから離してください。

オンライン ヘルプの表示には、Internet Explorer と同じフォント設定が使用されます。Internet Explorer のフォント サイズを変更すると、ヘルプのフォント サイズも自動的に変わります。



## hp jornada の電源をオン/オフにする

MS Windows for H/PC 2000 と hp jornada の便利な機能のひとつに「インスタント オン」があります。「インスタント オン」機能を使うと、hp jornada を瞬時にスタートアップまたはシャットダウンできます。キーボードの右上にある on/off キーを押してください。すぐに作業を開始できます。作業を終了したら、on/off キーを押すか、[スタート] メニューの [サスペンド] をタップして hp jornada の電源をオフにします。hp jornada の電源をオフにしても、前回行った操作はサスペンドされただけです。このため、次に電源を入れたら、前回オフにしたときの状態から作業を開始できます。

この他に、[電源] コントロール パネルでも電源の自動オン/オフのオプションを設定できます。例えば、スタイラス ペンでタッチスクリーンをタップすると起動するように設定できます。また、バッテリを長持ちさせるために、一定時間アイドル状態が続くとサスペンド モードに入るように、あるいは電源が切れるように設定することができます。デフォルトの設定では、バッテリ使用時に 3 分間アイドル状態になると、hp jornada はサスペンド モードになります (サスペンド モードおよびバッテリを長持ちさせる方法については、第 7 章の「バッテリを管理する」を参照してください)。

hp jornada がサスペンド モードからウェークアップした後、1 分間何も入力がなければ、jornada は再度サスペンド モードに戻ります。これを防ぐには、1 分以内に何らかの jornada 機能あるいはプログラムを使用してください。



## hp jornada のキーボードを使う

hp jornada キーボードでは、標準のタスクを実行するために以下のキーの組み合わせを使用します。これにより、限られたスペースでキーボードの全ての機能を使用できます。

- キャプスロックのオンとオフを切り替えるには、[shift⇧] キーを押しながら、左の [caps shift] キーを押します。キャプスロックがオンのときは、[A] マークがタスクバーのステータス領域に表示されます。
- テンキーパッドの無効と有効を切り替えるには、[alt] キーを押しながら、[テンキー] キーを押します。テンキーパッドが使用可能のときは、[NUM LOCK] マークがタスクバーのステータス領域に表示されます。



パスワードを設定する時や、hp jornada の電源をオフにする時は、必ずテンキーパッドを無効にし、キャプスロックをオフにしてください。jornada の画面右下部にあるタスクバーのステータス領域に、NUM LOCK マークか A マークがあるかチェックしてください。これらのマークが表示されていたら、パスワードを設定または入力する前に、必ず無効にしてください。

・

・ コマンドを生成するのは、 alt を押しながら、対応するキーを押します。
alt キーを押しながら青色で表示のあるキーを押すと、青色表示の機能が実行されます。



[キーボード] コントロール パネルでは、キーを押し続けたときの文字を繰り返す速度を調整できます。[キーボード] コントロール パネルを開くには、 K キーを押します。

## HP 設定を使う

HP 設定アプリケーションから、hp jornada を使いやすくするための様々なコントロール機能にアクセスできます。[HP 設定] コントロール パネルでは、次のような操作が行えます。

- 作業環境に応じて、画面の輝度とコントラストを調節する
- 音量・音質を調整、またはすべてのサウンドを瞬時にミュートする
- バッテリの残量を確認する
- 使用可能なシステム メモリ容量を確認する

また、HP 設定でカスタム プロファイルとして自分の好みのサウンド、輝度、コントラスト設定を保存しておけば、プロファイルをタップするだけですべてのオプションを同時に変更できます。

### HP 設定を開くには

- [スタート] – [プログラム] – [HP ユーティリティ] をポイントし、次に [HP 設定] をタップします。

または

画面左の [HP 設定] ハードアイコン をタップします。

HP 設定アプリケーションについて詳しくは、第7章の「HP設定を使う」、またはオンライン ヘルプの「HP 設定」を参照してください。

# オーディオ ボタンを使う

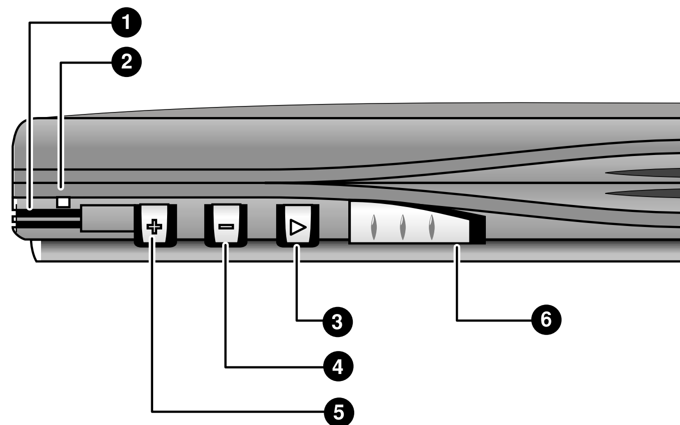
hp jornada 正面のオーディオ ボタンで、Windows Media Player を使用して Windows Media Audio および MP3 音楽ファイルを再生することができます。

3 種類のオーディオ ボタンと、スライド式オーディオ ロックがあります。



オーディオ ボタンをロックする場合は、Windows Media Player が携帯中に誤って起動しないよう、オーディオ ロック ボタンをロック位置まで完全にスライドさせてください。

Windows Media Player を使用する時、オーディオ ボタンで音量や再生/停止機能をコントロールします。



hp jornada オーディオ ボタン

| | |
|---|---|
| ❶ マイクロフォン | ❹ 音量調節ボタン(小) |
| ❷ ステータス LED | ❺ 音量調節ボタン（大） |
| ❸ 再生/一時停止ボタン | ❻ オーディオ ボタン ロック |

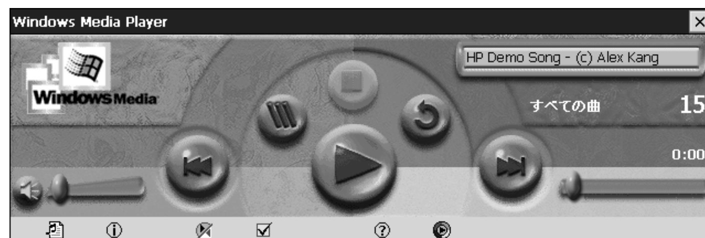
再生ボタンを押すと、Windows Media Player が、現在選択されている再生リストを再生します。再生リストは、Windows Media Player アプリケーションから選択します。



再生リストと Windows Media Player の一般的な使用については、Windows Media Player のオンライン ヘルプを参照してください。



再生時の音量は、録音形式によって大きく異なります。イヤホンを使用して音楽を聞くときは、不快な大音量を避けるため、再生を始める前にまず音量を下げてください。その後、ご希望に合わせて音量を調節してください。




オーディオ ファイルの再生中は、コントロール パネルでサウンドとリマインダが設定されていても予定通知音は鳴りません 。ただし予定通知ランプは点滅します。



hp jornada 内蔵スピーカで MP3 音楽ファイルを再生する場合は、低音部のレベル設定を小さくしてください。第 7 章の「低音部と高音部のレベルを設定する」を参照してください。



# 3 | デスクトップ PC への接続

hp jornada 700 シリーズ ハンドヘルド PC は、スタンドアロン コンピュータとしての機能も十分に備えていますが、hp jornada の能力を最大限に活用するには、デスクトップまたはノートブック PC と連携させて使用することをお勧めします。この章では、hp jornada とデスクトップ PC の接続を確立する方法、hp jornada をデスクトップその他の Microsoft® ActiveSync をインストールした PC と連携して使用する方法について、次の内容に沿って説明します。

1) はじめて接続する

2) Microsoft ActiveSync の機能について

3) Microsoft ActiveSync をセットアップする

4) シリアル接続する

5) USB 接続する

6) hp jornada と PC 間のパートナー関係を結ぶ

7) デスクトップ PC に接続する

8) hp jornada デスクトップを参照する：Microsoft ActiveSync を使って hp jornada に格納されたデータを表示

9) データを同期する：Microsoft Pocket Outlook データや電子メールのメッセージを Microsoft Outlook または Exchange のデータと同期する。インターネットやモデムを使って、hp jornada と社内ネットワークまたは自宅のデスクトップ PC の間でファイル転送を行う。

10) hp jornada とデスクトップ PC 間でファイルを転送する

## 1) はじめて接続する

HP シリアル接続、USB 接続か、ネットワーク接続によってデクトップ PC に接続できます。また、赤外線対応のデスクトップ PC の場合は、赤外線ポート経由での接続も可能です。接続を実施する前には、Microsoft ActiveSync をデスクトップ PC にインストールしてください。その後、hp jornada を接続して、パートナー関係を結びます。

- USB 接続: クレードル（別売り）を利用して接続します。

- シリアル接続: シリアル ケーブル（標準添付品）を直接 jornada 本体のシリアルポートに差し込む、あるいはクレードル（別売り）を利用します。。
- ネットワーク経由: サードパーティ製の jornada 対応 LAN カードを使用します。対応カード情報はwww.jpn.hp.com/hho/jornadaでご確認ください。
- 赤外線ポート経由: デスクトップ PC やノートブック PC が赤外線対応の場合、赤外線ポートで接続することができます。

## 2）Microsoft ActiveSync の機能

Microsoft ActiveSync を使って、デスクトップ PC の情報と hp jornada の 情報を同期します。同期とは、hp jornada とデスクトップ PC のデータを比較して、両方の PC の情報を最新の内容に更新することです。

例:

- hp jornada の Pocket Outlook のデータを最新に保つために、デスクトップ PC の Microsoft Outlook 2000 と同期します（Outlook Express の受信トレイとの同期はサポートされていません)。
- Word や Excel で作成された文書、Access や他の ODBC で作成されたデータベースや表、Mobile Channel ビューア、および InkWriter で作成された文書を、hp jornada とデスクトップ PC 間で同期させます。ファイルは自動的に正しいフォーマットに変換されます。

Microsoft ActiveSync の機能は以下のとおりです。

- hp jornada のデータをバックアップ、復元する
- hp jornada のアプリケーションを追加、削除する
- hp jornada とデスクトップ PC 間でファイルを移動、コピーする（ファイルの同期ではありません)。

Microsoft ActiveSync はいくつかのコンポーネントからなります。Microsoft ActiveSyncセットアップ ウィザードが必要なソフトウェア コンポーネントを探知し、必要なコンポーネントのセットアップを要求するプロンプトを表示します。

- Outlook がまだインストールされていない場合、セットアップ ウィザードで Outlook 2000 をインストールします。
- メッセージをデスクトップ PC のメールクライアント（Exchange または Outlook）に転送できるようにするには、受信トレイの拡張機能を追加します。




Microsoft ActiveSync CD には、以下のデスクトップ PC 用ソフトウェアが収録されています。

- **Microsoft® ActiveSync**: hp jornada を、Windows95/98/2000 を搭載したデスクトップまたはノートブック PC に接続可能にします。
- **Microsoft® Outlook 2000**: 連絡先、予定、仕事、電子メール、重要な文書を、hp jornada と同期させながら管理できます。
- **Microsoft® Internet Explorer**: Microsoft のブラウザ用ソフトウェアの最新バージョン



**注意**:Microsoft CD-ROM に収録されているソフトウェアの中には、Pocket PC 用に開発され、hp jornada 700 シリーズハンドヘルド PC と互換性のないものも含まれています。



MS Windows for H/PC 2000 には、フリーウェア、シェアウェアを含め、様々なプログラムが公開されています。www.microsoft.com/mobileにアクセスするか、Web の検索ページで MS Windows for H/PC 2000 のキーワードで検索を行い、お好きなプログラムを見つけてください。ただし、インストールするプログラムは、StrongARM プロセッサ互換のものをご使用ください。

## 3）Microsoft ActiveSync をセットアップする

Microsoft ActiveSync を実行するために必要なデスクトップ PC 側の動作環境は、以下のとおりです。

- Microsoft® Windows® 2000、Microsoft® Windows Me、Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 Service Pack 3 以降、 Microsoft® Windows 95 または 98

- Windows NT の場合は、Pentium プロセッサ（Windows 2000 には 166 MHz 必要）

  または

  Windows 95 または 98 の場合は、486/66 DX 以上のプロセッサ（Pentium® P90 以上を推奨）
- Windows 95 または 98 の場合は、メモリ 16MB (メモリ容量がこれより大きければ、より高いパフォーマンスを実現します)、Windows NT 4.0 または Windows 2000 の場合は、メモリ 32MB (64MB 推奨)
- 10MB から 50MB の空き容量を持つハードディスク ドライブ（実際に必要な容量は、選択する機能や現在のシステム構成によって異なります）
- 9 ピンまたは 25 ピンの通信ポート（25 ピンの場合はアダプタが必要)、赤外線ポート、あるいは USB ポート（Windows 95 または 98、Windows 2000 のみ使用可能）
- CD-ROM ドライブ
- VGA またはそれ以上の解像度のグラフィック カード（SVGA 256 色推奨）
- キーボード
- Microsoft® Mouse または互換のポインティング デバイス

オプションのコンポーネント

- オーディオ カードまたはスピーカ
- リモート同期のための、モデムや Ethernet LAN 接続
- Mobile Channels の場合は、Microsoft Internet Explorer 4.0 以上、またモバイルのお気に入りは、Microsoft Internet Explorer 5.0 以上が必要です(Microsoft CD-ROM には、Internet Explorer 5.0 が含まれています)。
- Microsoft Outlook® 2000 の場合は、別途 153MB のディスク空き容量。24MB のシステム RAM を推奨（Microsoft Outlook 2000 は、ActiveSync CD-ROM に含まれています)。

## Microsoft ActiveSync をセットアップ手順

1. Microsoft ActiveSync CD をデスクトップ PC の CD-ROM ドライブに挿入します。
2. Microsoft ActiveSync セットアップ ウィザードが自動的に起動します。もし起動しない場合は、[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックし、d:¥setup と入力します。d には CD-ROM のドライブ名を指定してください。
3. 画面の指示に従って Microsoft ActiveSync をセットアップします。

4. セットアップが完了すると、[接続の開始］ダイアログ ボックスが表示されます。画面の指示に従って hp jornada との接続を設定します。

- ドッキング クレードルまたはシリアル PC 接続ケーブルを使って接続する場合は、次の項 4）「シリアル接続する」に記載された手順に従って接続し、[次へ］をクリックします。
- ドッキング クレードルを使って USB 接続する場合は、5）「USB 接続する」の項に記載された手順に従って接続し、[次へ］をクリックします。
- 赤外線で接続する場合は、[キャンセル］をクリックし、この章後半の「赤外線で接続する」に進みます。

---

hp jornada は、デスクトップ PC との接続方法（シリアルあるいは USB)を自動的に検出します。ケーブル タイプを選択し、以下の説明に従って接続し、[次へ］をクリックすると、新規パートナー関係のウィザードが開始します。



---

# 4）シリアル接続する

HP jornada はデスクトップ PC との通信にシリアル ポートを使います。hp jornada に添付されているシリアル ケーブルは直接接続、またはクレードル（hp jornada 710 のオプション）を介して接続できます。デスクトップ PC の 9 ピン シリアルポートをプリンタやモデムなど別のデバイスが使用中の場合や、デスクトップ PC に 9 ピン シリアルポートが装備されていない場合は、PC 製造元からアダプタを入手するなどして、使用可能なポートを用意してください。

---

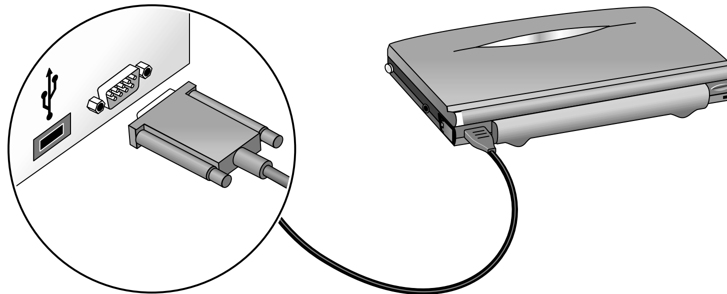


PC 接続ケーブルにつなげたり、hp jornada をドッキング クレードルに設置したりする前に、デスクトップ PC の電源をオンにしてください。デスクトップ PC の電源がオフになっていると、hp jornada またはデスクトップ PC が起動時にフリーズしてしまい、リセットまたは再起動しなくてはならなくなります。リセット方法について詳しくは、第 8 章の「リセットする」を参照してください)。

---

## シリアルケーブルを使用して接続するには

1. AC アダプタを hp jornada 右側面の DC ジャックに接続してから、電源ケーブルを差し込みます。
2. PC 接続ケーブルの 9 ピン側コネクタをデスクトップ PC のシリアル ポートに差し込みます。
3. PC 接続ケーブルの反対側のコネクタを、矢印を上にして、hp jornada のシリアルポートにしっかりと奥まで差し込みます。



hp jornada シリアルポート接続

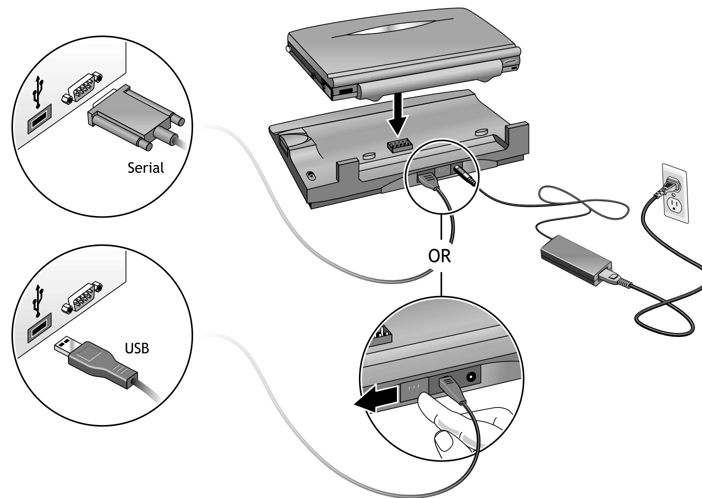
## ドッキング クレードルを使ってシリアル接続するには

1. PC 接続ケーブルの 9 ピン側コネクタをデスクトップ PC のシリアルポートに差し込みます。
2. ドッキング クレードル背面のポートカバーを右側にスライドし、シリアルポートを露出させます。
3. PC 接続ケーブルの反対側のコネクタを、矢印を上にして、ドッキング クレードルの背面にあるシリアル ポートにしっかりと奥まで差し込みます。
4. hp jornada の電源をオフにして、AC アダプタ、PC 接続ケーブルなど、接続されているケーブルをすべて取り外します。
5. AC アダプタをドッキング クレードル背面の DC ジャックに接続して、電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



hp jornada を複数の AC 電源に接続してはいけません。hp jornada をドッキング クレードル内に置くときは必ず AC アダプタ ケーブルを外してください。アダプタに接続したままクレードル内に置くと、損傷を受ける可能性があります。

6. hp jornada をドッキング クレードルの上に置き、位置を合わせてカチッと正しい位置に収まるまでしっかり押さえます。




hp jornada とドッキング クレードル、AC アダプタ、およびシリアル/USB 使用のデスクトップ PC との接続

## 5）USB 接続する

ドッキング クレードル（hp jornada 710 の別売りオプション）を使って、デスクトップ PC と USB 接続することも可能です。USB 接続を行うには、クレードルに同梱されている USB A-to-B ケーブルを使用します。

### ドッキング クレードルを使用して USB ポートで接続する

1. USB の平らな方のコネクタ（A）をデスクトップ PC の USB ポートに接続します。
2. ドッキング クレードル背面のポートカバーを左側にスライドし、USB ポートを露出させます。
3. USB の方形のコネクタ（B）をドッキング クレードル背面の USB ポートに差し込みます。
4. hp jornada の電源をオフにして、AC アダプタ、PC 接続ケーブルなど、接続されているケーブルをすべて取り外します。
5. AC アダプタをドッキング クレードル背面の DC ジャックに接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

6. hp jornada をドッキング クレードルの上に置き、位置を合わせてカチッと正しい位置に収まるまでしっかり押さえます。

hp jornada が自動的に起動し、デスクトップ コンピュータとの接続を確立します。ドッキング クレードルから取り出すには、リリース ボタンを押してゆっくりとクレードルから持ち上げます。

外出先や自宅などでドッキング クレードルが手元になくても、シリアルの PC 接続ケーブルを使って hp jornada を直接 PC に接続して、ファイルの同期を行うことができます（この章の「シリアル接続する」を参照してください）。



赤外線を使っても PC に接続して同期することが可能です。詳しくは、この章の「赤外線で接続する」を参照してください。

# 6）パートナー関係を設定する

デスクトップ PC に Microsoft ActiveSync をセットアップしたら、画面の指示に従って、デスクトップ PC と hp jornada 間のパートナー関係を設定します。パートナー関係とは、ファイルを転送したり、データを同期するときに、デスクトップ PC が hp jornada を認識できるようにするためのものです。

hp jornada は、2 台までのデスクトップ PC（例えば、自宅の PC と会社の PC）とパートナー関係を結べます。したがって、hp jornada とこれらのデスクトップ PC 間の同期を定期的に行うようにすれば、重要なファイル、連絡先、予定表などの情報が同時にアップデートされるため、どの PC でも同じ情報を見ることができます。



2 台のデスクトップ PC とパートナー関係を結ぶことができますが、メール メッセージが同期できるのはそのうち 1 台のみです。

1 台のデスクトップ PC で何台もの H/PC またはパームトップ PC とパートナー関係を結べます。このため、MS Windows for H/PC 2000 を搭載したデバイスを複数持っていたり、複数のモバイル PC ユーザーが 1 台のデスクトップ PC を共有する場合でも問題なく使用できます。

## 新規パートナー関係のウィザード

最初に接続するとき、デスクトップ PC の新規パートナー関係のウィザードで、hp jornada とデスクトップ PC のパートナー関係を設定し、Pocket Outlook データやメール メッセージやファイルの同期に関するオプションを設定します。

### パートナー関係を設定する

1. デスクトップ PC の画面に［新規パートナー関係］ダイアログ ボックスが表示されたら、[はい］をクリックして同期を開始し、画面の指示に従って新規パートナー関係のウィザードを実行します。
2. プロンプトに応じて、hp jornada の名前と説明を入力します。名前は、文字で始まるものを自由に指定できます（スペースを含まない 15 文字まで)。
3. hp jornada の同期を単一のパートナー関係でのみ行うか、2 台のデスクトップ PC とパートナー関係を結ぶか、ボタンで選択します。
4. リスト ボックスから、ご使用の個人情報管理（PIM)アプリケーションを選択します。
5. 同期の対象とするファイルのタイプおよび情報を指定し、同期のオプションを設定します。

2 台のデスクトップ PC とパートナー関係を結ぶ場合は、それぞれのデスクトップ PC に同じ同期設定を行う必要があります。また、それぞれのデスクトップ PC で同じ PIM プログラムを使用しなければなりません（例えば､Microsoft Outlook など)。



ActiveSync の［ファイル］メニューから［同期］を選択すると、ウィザードで選択した同期方法に関係なく、いつでも同期を開始できます。詳しくは、この章の「データを同期する」を参照してください。



## パートナー関係のトラブルシューティング



hp jornada は接続のタイプを自動的に検出し、デスクトップ PC との通信設定を自動的に行います。hp jornada とデスクトップ PC 間の接続を確立できない場合は、hp jornada のタスクバーのステータス領域に表示される［接続］アイコンをダブルタップしてみてください。［接続状況］ダイアログ ボックスに問題点に関する情報を表示している場合があります。

### 接続方法

hp jornada は前述の各接続方法に対応しますが、USB と赤外線の接続は Windows NT でサポートされていません。hp jornada には、シリアルの PC 接続ケーブルと、シリアルまたは USB 接続が可能なクレードルが付属しています。その他のケーブルとクレードルはオプションです。

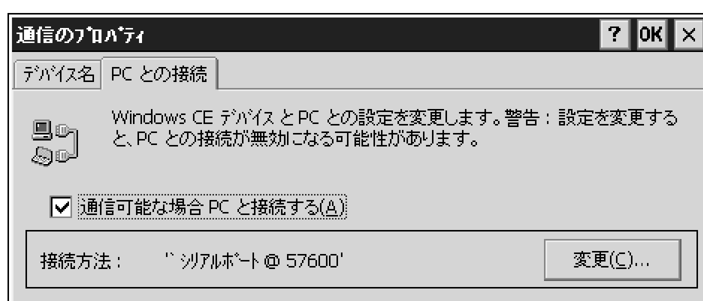
| **接続方法** | **デスクトップ PC のオペレーティング システム** | | | |
|---|---|---|---|---|
| | Windows 95 | Windows 98 | Windows 2000 | Windows NT |
| USB | 不可 | 可 | 可 | 不可 |
| シリアル | 可 | 可 | 可 | 可 |
| 赤外線 | 可 | 可 | 可 | 不可 |

### hp jornada とデスクトップ PC の接続方法を確認する

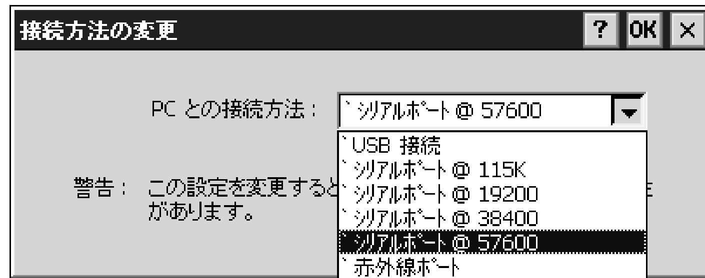
接続の際に問題が生じる原因の一つに、hp jornada またはデスクトップ PC 上の不適合な接続設定があります。

#### hp jornada で適切な接続方法を確認し、設定するには

1. [スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップし、[通信] をダブルタップします。
2. [PC 接続] のタブで、[使用する接続方法] の欄に使用する接続方法が表示されているか、確認してください。使用する接続方法が表示されない場合は、[変更] をタップします。




3. [接続変更] ダイアログ ボックスで、リストの中から使用する接続方法を選択します。

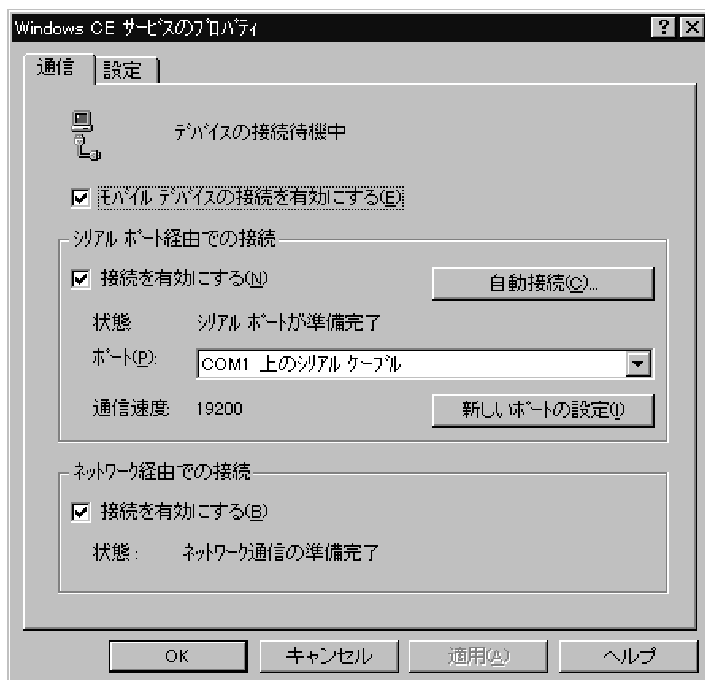



4. [OK] を 2 回タップし、設定を保存して終了します。

## デスクトップ PC の ActiveSync で接続設定を確認するには



1. シリアルポート接続の場合は、ドッキング クレードルまたは hp jornada に接続された PC 接続ケーブルが [接続設定] ダイアログ ボックスに表示されたシリアル ポートに接続されているか確認します。USB 接続の場合は、[デスクトップ PC との USB 接続を許可] が選択されているか確認します。
2. 赤外線接続の場合は、[この COM ポートとのシリアルまたは赤外線接続を許可] が選択されているか、また正しい IrDA COM ポートが表示されているか、確認します。
3. それでも同期できなければ、Microsoft ActiveSync ウィンドウの [接続設定] ダイアログで、使用している接続タイプの [許可] チェック ボックスのチェックマークを消し、[OK] をクリックします。
4. 接続を無効にした後、適切な[許可] チェックボックスを再び選択し、[OK] をクリックして接続を有効にします。




それでも問題が解決しなければ、 ActiveSync トラブルシューティングを使用します。ActiveSync トラブルシューティングを使用して、詳細な診断を行い、一般的な問題を突き止め、解決します。

### ActiveSync トラブルシューティングを開始するには

1. デスクトップ PC の[スタート］メニューから、[プログラム］をポイントし、[Microsoft ActiveSync］をクリックし、[ファイル］メニューから[接続設定］を選択します。
2. [接続設定］ウィンドウで、[ヘルプ］をクリックして［ActiveSync トラブルシューティング］を開きます。

## 7）デスクトップ PC に接続する

バートナー関係の設定が終了したら、hp jornada をデスクトップ パートナーに接続する方法を選択します。Microsoft ActiveSync では、hp jornada を自動的に検出し、PC 接続ケーブルを接続するたびに自動的に接続を行うように設定することもできます。デスクトップ PC の COM ポートが空いている限り、COM ポートを使用するのが最も簡単です。

### 自動接続を有効にするには

1. デスクトップ PC の[スタート] メニューから、[プログラム] をポイントし、[Microsoft ActiveSync] をクリックします。
2. Microsoft ActiveSync ウィンドウの [ツール] メニューで、[オプション] をクリックします。
3. [同期モード] のタブで、[デバイスが接続されている間] または [接続時] のチェック ボックスを選択し、自動接続を有効にします。

デスクトップ PC の COM ポートが別の周辺機器で使われている場合、または hp jornada の接続を切断した後、もう一度接続する必要がある場合は、hp jornada の PC リンクを使って手動で接続を確立します。

### 手動で接続するには



1. hp jornada で [スタート] – [プログラム] – [通信] をポイントし、次に [PC リンク] をタップします。
2. [接続状況] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. しばらくすると接続が確立したことを知らせるサウンドが鳴ります。

### 接続を終了するには

1. hp jornada で、タスクバーのステータス領域に表示される [接続] アイコンをダブルタップします。
2. [接続状況] ダイアログ ボックスで、[切断] をタップします。

## 赤外線で接続する

hp jornada には赤外線ポートがあり、ケーブルやクレードルを使わずに赤外線対応の PC と接続できます。ノートブック PC の多くは赤外線ポートを内蔵していますが、デスクトップ PC の場合、赤外線ポートのインストールや設定が必要なことがあります。ポートをインストールする場合は、製造元の取扱説明書に従ってください。Windows 95 または 98、および Windows 2000 の赤外線ドライバの詳細については MS Windows for H/PC 2000 Web サイト (www.microsoft.com/mobile) をご覧ください (赤外線接続は、Windows NT では使用できません)。

赤外線接続が完了すると、PC 接続ケーブルあるいはドッキング クレードルを使用する場合と同様に、ファイルの転送や、Pocket Outlook データやメール メッセージの同期を行うことができます。

### Microsoft ActiveSync で赤外線接続を設定するには

1. ActiveSync ウィンドウを開きます。
2. [ファイル] メニューから [接続設定] を選択します。
3. [この COM ポートとのシリアルまたは赤外線接続を許可]をクリックします。

### hp jornada で赤外線接続を設定するには

1. hp jornada で、[スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップし、[通信] アイコンをダブルタップします。
2. [PC との接続] タブをタップします。[赤外線ポートを使用して接続する] と表示されていなければ、[変更] をタップし、接続方法の一覧から [赤外線ポート] を選択します。

### 赤外線接続を確立するには

1. hp jornada の赤外線ポートとノートブックまたはデスクトップ PC の赤外線デバイスを向かい合わせに並べます。
2. hp jornada で [スタート] – [プログラム] – [通信] をポイントし、次に [PC リンク] をタップします。

## 他の PC に接続する

何らかの理由で、hp jornada をパートナー以外のデスクトップ PC と接続しなければならない場合があります。また、別のユーザー名でデスクトップ PC にログオンしたり、hp jornada をファクトリー デフォルト リセットしたりすると、デスクトップ PC が hp jornada をパートナーとして認識できなくなります。

このようなときは、hp jornada を PC に接続すると、[新しいモバイル デバイスの検出] ダイアログ ボックスが表示されます。ここでは、[同期]、[参照]、または [復元] (既存のバックアップ ファイルからのデータを復元する) の中から必要なオプションを選択できます。

[同期] を選択すると、新規パートナー関係のウィザードが起動し、hp jornada がデスクトップ PC のパートナーとして指定されます。連絡先、予定表、仕事などの情報、また同期対象として新たに選んだ情報がデスクトップ PC から hp jornada にコピーされます。

［参照］を選択すると、hp jornada は「ゲスト」として接続されます。ゲストで接続すると、hp jornada のファイルやフォルダの表示、手動でのバックアップや復元は行えますが、データの同期、自動のバックアップおよび復元は行えません。

［復元］を選択すると、デスクトップ PC の既存のバックアップ ファイルからデータを復元することができます。この方法でデータを復元すると、hp jornada 上にあった既存のデータはすべて PC に保存されていたバックアップ ファイルに書き換えられます。



万が一、hp jornada を紛失してしまったり、別の hp jornada と交換することになっても、デスクトップ PC へのフルバックアップを行っていれば、復元機能を使って、元の hp jornada に保存されていたデータと設定を新しい hp jornada に復元してセットアップを行うことができます。この場合、新しい hp jornada をデスクトップ PC にはじめて接続する際に、［同期］、［参照］ではなく［復元］を選択します。詳しくは、第 5 章の「バックアップと復元を行う」を参照してください。

# 8）hp jornada デスクトップを参照する

hp jornada がデスクトップ PC に接続されている間、hp jornada の内容は、Microsoft ActiveSync を使ってデスクトップから参照できます。ActiveSync ウィンドウのツールバーに、［エクスプローラ］アイコンがあります。［エクスプローラ］アイコンをクリックすると、hp jornada のフォルダがデスクトップ PC の他のフォルダと同じように表示されます。hp jornada のフォルダ間でファイルの切り取り、コピー、貼り付けができる他、hp jornada とデスクトップ PC 間でもコピー元のフォルダからコピー先のフォルダへファイルのアイコンをドラッグするだけで、ファイルを転送できます。



Pocket Office と Office 2000 間でファイルの種類を変換する方法を含め、ファイルの転送に関する詳細な情報は、この章後半の「ファイルを転送する」を参照してください。

［モバイル デバイス］ウィンドウに表示されるアイコンをダブルクリックしても、hp jornada に保存されているファイルを開いたりプログラムを開始することはできません。hp jornada に保存されているファイルやプログラムのアイコンをダブルクリックすると、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックしたときと同じように、そのファイルまたはプログラムのプロパティが表示されます。




デスクトップ PC の［モバイル デバイス］ウィンドウに表示された hp jornada の内容

# 9）データを同期する

Microsoft ActiveSync では、hp jornada とデスクトップ PC 間でデータを同期できます。このため、出先で連絡先データベースに加えた名前や予定表に追加した予定も、帰社後デスクトップ PC に自動的に更新できます。hp jornada 受信トレイのメッセージも、デスクトップ PC の Microsoft Outlook や Microsoft Exchange と同期させることができます。また、hp jornada の［同期するファイル］フォルダにあるファイルと、デスクトップ PC の My Documents フォルダ内の［同期するファイル］フォルダ (Windows 95 または 98)、または 個人用フォルダ(Windows NT および Windows 2000）のファイルも同じように同期させることができます。

ActiveSync の設定では、hp jornada をデスクトップ PC に接続するたびに自動的に同期を行うか、2 台の PC が接続されている間、常に同期情報を監視して、変更があるたびに同期を行うかのどちらかを指定できます。また、［モバイル デバイス］ウィンドウの［ツール］メニューから［同期］を選択すれば、いつでも同期を開始できます。

同期を行っている間は、hp jornada をドッキング クレードルから取り外さないでください。また PC ケーブルを外したり、電源を切ったりしないでください。



# データを選択して同期する

以下の項目の一部または全部を選択して同期できます。

- **Pocket Outlook のデータ**: hp jornada の予定表、連絡先、仕事の情報と、デスクトップ PC の Outlook 2000 に保存されている情報を同期します。
- **電子メール メッセージ**: hp jornada の受信トレイと、デスクトップ PC の Exchange または Outlook 2000 の間で、選択したフォルダ内のメッセージを共有できます。詳しくはこの章の「電子メールのメッセージを同期する」を参照してください。
- **ファイル**: hp jornada の My Documents の［同期するファイル］フォルダと、デスクトップ PC の My Documents フォルダ（Windows 95 または 98）または個人用フォルダ（Windows NT）のファイルを同期します。

## 同期するデータを指定するには

1. デスクトップ PC で［ActiveSync］ウィンドウを開きます。
2. ［ツール］メニューで、［オプション］をクリックします。
3. ActiveSync の［オプション］ダイアログ ボックスの［同期のオプション］タブで、同期するサービスのチェックボックスをオンにします。
4. 特定のオプションを設定するには（例えば、予定表の何週分のデータを同期するか、実行中のタスクだけを同期するかなど）、指定するサービスを選択し、［設定］をクリックします。

同期するデータ量を必要最小限にするために、例えば予定表の 1～2 週間分のデータだけを同期するように指定すれば、同期にかかる時間が格段に短くなります。Microsoft Outlook を使用する場合、Microsoft ActiveSync はデフォルトで予定表の過去 2 週間分のデータだけを同期する設定になっています。



# 同期の競合を解決する

同一の項目（例えば、予定や仕事など）をデスクトップ PC と hp jornada の両方で変更した場合、ActiveSync は同期の競合が発生したことを知らせます。下の図のような ［競合の解決］ダイアログ ボックスが表示されたら、優先する一方の項目を置き換え先として選択する項目、または、競合を無視して両方のコンピュータのデータをそのままにしておく項目のどちらかを選択して、競合を解決します。




競合の解決方法として、同期を実行したときに手動で解決する方法と、デフォルトとして指定しておいて自動的に解決する方法があります。

### 競合の解決方法をデフォルトとして指定するには

1. [ActiveSync] ウィンドウを開きます。
2. [ツール] メニューで、[オプション] をクリックします。
3. [オプション] ダイアログ ボックスの [規定] タブをクリックします。
4. [競合の解決] の中から、競合を解決する際のオプションを選択します。

## 電子メールのメッセージを同期する

hp jornada の受信トレイは、デスクトップ PC パートナーの Microsoft Outlook や Exchange などのメール プログラムと同期できます。同期しておけば、外出先に重要なメールを携帯できたり、hp jornada で作成したメッセージをデスクトップ PC から送信できたりするため非常に便利です。

同期を行うと、次のようなことが可能になります。

- デスクトップ PC の受信トレイのメッセージが hp jornada の受信トレイへとコピーされます (デフォルトでは、同期されるメッセージは過去 3 日間に受信したメッセージに限られ、添付ファイルはコピーされません)。
- 2 台のコンピュータ間でメッセージがリンクされます。例えば、hp jornada であるファイルを削除すると、次の同期を行ったときにデスクトップ PC の同じファイルも削除されます。
- hp jornada の送信トレイ内のメッセージがデスクトップ PC の送信トレイに送られ、メール プログラムによって送信されます。

## 離れた場所から同期する

hp jornada の ActiveSync を使えば、出先からでもファイル、電子メール メッセージ、Pocket Outlook データをデスクトップ PC と同期できます。これを行うには、リモート ダイヤルアップまたは LAN でデスクトップ PC に接続します。ネットワークに接続されていない PC (例えば、自宅の PC) の場合は、モデムで接続して同期することもできます。

HP ダイヤルアップを使用すれば、離れた場所からインターネットや社内ネットワークに、簡単にすばやく接続できます。HP ダイヤルアップの詳細については、第 6 章の「接続を行う」を参照してください)。



離れた場所から同期を実行するには、あらかじめデスクトップ PC またはネットワーク サーバーにリモート アクセス サービス（Windows NT）またはダイヤルアップ ネットワーク（Windows 95 または 98）を設定し、hp jornada ダイヤルアップ アプリケーションまたはリモート ネットワークのどちらかで接続を作成しておく必要があります。hp jornada ダイヤルアップ アプリケーションで接続をセットアップする方法は、第 6 章の「ネットワークへのリモート接続をセットアップする」を参照してください。リモートネットワークについては、この章の「ネットワーク上にないコンピュータにアクセスする」を参照してください。どちらかの方法で接続をセットアップしたら、データの同期を開始できます。この章後半の「リモート同期を開始するには」を参照してください。

### 社内ネットワーク上の PC にアクセスする

社内ネットワーク上の PC にリモートアクセスするには、ネットワーク管理者からアカウントを取得し、hp jornada ダイヤルアップ アプリケーションでネットワーク サーバーへの接続をセットアップする必要があります（第 6 章を参照)。また以下の手順で、接続先の PC が呼び出しを受信できるように、あらかじめセットアップしておく必要があります。

- 接続先のデスクトップ PC の電源をオンにしておきます。
- 接続先の PC に Microsoft ActiveSync をセットアップしておきます（操作手順については、この章の「Microsoft ActiveSync をセットアップする」を参照してください)。また、ActiveSync の[オプション] で、［同期モード］タブの同期設定を［自動］に設定しておきます。
- Microsoft ActiveSync が実行中で、[ActiveSync]ウィンドウに、「モバイル デバイスとの接続待機中」というメッセージが表示された状態にしておきます。
- Microsoft ActiveSync の［接続設定］ダイアログ ボックスで、[このデスクトップ PC でネットワーク（Ethernet）およびリモート アクセス サービス（RAS) サーバー接続を許可する］チェックボックスをオンにしておきます。

- アクセス先のフォルダやドライブはすべて共有に設定しておきます。



Windows 95 を実行中のデスクトップ PC にダイヤル接続する場合は、接続先のデスクトップ PC の［ダイヤルアップ ネットワーク］も設定する必要があります。

## ネットワーク上にないコンピュータにアクセスする

ネットワーク上にない PC にダイヤル接続する場合は(例えば、Windows 95 または 98 を搭載した自宅の PC など)、接続先の PC が呼び出しを受信できるように、以下の手順であらかじめセットアップしておく必要があります。

- 接続先のデスクトップ PC の電源をオンにしておきます。
- 接続先のデスクトップ PC にモデムをインストールし、呼び出しを受信できるように設定しておきます（設定方法については、デスクトップ PC のモデムのマニュアルを参照してください)。
- ダイヤルアップ ネットワーク（Windows 95 または 98）またはリモート アクセス サービス（Windows NT）をセットアップし、接続先の PC がサーバーとして機能するように設定しておきます（詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください)。
- 接続先の PC に Microsoft ActiveSync をセットアップしておきます（操作手順については、この章の「Microsoft ActiveSync をセットアップする」を参照してください)。また、ActiveSync オプションの［同期モード］タブの設定を、［自動］に設定しておきます。
- Microsoft ActiveSync が実行中で、［ActiveSync］ウィンドウに、［モバイル デバイスとの接続待機中］というメッセージが表示された状態にしておきます。
- ［Microsoft ActiveSync 接続設定］ダイアログ ボックスで、［このデスクトップ PC でネットワーク（Ethernet）およびリモート アクセス サービス（RAS）サーバー接続を許可する］チェックボックスをオンにします。
- アクセス先のフォルダやドライブはすべて共有に設定しておきます。

リモート ネットワーク接続を設定するには、次の情報が必要です。

- PC へログオンする際、パスワードを設定している場合は、Windows のユーザー名とパスワード
- モデムの電話番号

ネットワーク上にない PC への接続設定を作成するには（例えば自宅の PC など)、hp jornada のリモート ネットワークを使って新しい接続を作成する必要があります。

## リモート ネットワーク接続を作成するには



1. [スタート] – [プログラム] – [通信] をポイントし、次に [リモート ネットワーク] をタップします。

2. [リモート ネットワーク] フォルダで、[新しい接続] をダブルタップします。

3. [新しい接続] ダイアログ ボックスで [ダイヤルアップ接続] – [次へ] をタップします。

4. hp jornada 内蔵モデムを使用する場合は、モデムのリストから [内蔵モデム] を選択します。PC カード モデムを使用する場合は、インストールした PC カードを選択します。

5. [TCP/IP の設定] をタップし、[全般] をタップします。[サーバーが割り当てた IP アドレスを使用する] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

6. [ネーム サーバー] タブで [サーバーが割り当てたアドレス] をタップし、[OK] をタップします。

7. [次へ] をタップして、ダイヤル先の電話番号を入力し、[終了] をタップします。[リモート ネットワーク] フォルダに、指定した接続名が付いた新しいアイコンが表示されます。この接続は、[リモート同期] ダイアログ ボックスにも表示されます。

---



リモート ネットワーク接続の発信元を設定するには、[リモート ネットワーク] フォルダで使用する接続のアイコンをダブルタップします。[ダイヤルアップ接続] ダイアログ ボックスが表示されるので、[ダイヤルのプロパティ] をタップし、hp jornada ダイヤルアップ アプリケーションを使って、ネットワーク接続、ISP 接続の発信元を入力します。

---

## リモート同期を開始するには



1. hp jornada で [スタート] – [プログラム] – [通信] をポイントし、次に [ActiveSync] をタップします。

2. モデムまたはダイヤルアップで接続している場合は、一覧から使用する接続名を選択します。この一覧には、hp jornada ダイヤルアップ アプリケーションまたはリモート ネットワークで作成したすべての接続名が表示されます。
   または

ネットワーク経由で接続している場合は、[ネットワーク接続] をタップします。

3. 接続先一覧で、接続先のデスクトップ PC を選択します。接続先一覧には、パートナー関係を確立した PC しか表示されません。

4. [ユーザー ログオン] ダイアログ ボックスで、ユーザー名、パスワード、必要ならばドメイン名を入力し、[接続] をタップします。

* モデムを別途購入する必要があります。

# 10)ファイルを転送する

hp jornada とデスクトップ PC 間でファイルをコピーするには、[モバイル デバイス エクスプローラ] ウィンドウのフォルダを、コピーするファイルのアイコンまでドラッグするか、コピーするファイルのアイコンを hp jornada アイコンまでドラッグします。[編集] メニューの [切り取り]、[コピー]、[貼り付け] コマンドを使っても同じ操作ができます。

ファイルの種類によっては、hp jornada で使用する前に変換作業が必要な場合があります。Microsoft ActiveSync は、デフォルトでファイルを転送先のファイル形式に自動変換しますが、ファイルを変換しないように設定したり、ファイルの種類ごとに変換形式を指定することもできます。これらの変更は、 [ファイル変換のプロパティ] ダイアログ ボックスで行います。

### ファイルの変換方法を設定するには

1. [ActiveSync] ウィンドウを開きます。
2. [ツール] メニューで [オプション]、[規則] タブ、[変換設定] の順にクリックします。
3. [H/PC→PC] または [PC→H/PC] タブをクリックします。
4. リスト ボックスでファイルの種類を選択し、[編集] をクリックして変換する形式を変更します。通常、変換形式はそのままの形式か、他の形式 (1 種類) かのどちらかです。

Microsoft Office のアプリケーションで作成したファイルを、対応する Pocket Office アプリケーションのファイル形式に変換すると、ファイルが圧縮されるため、デスクトップ PC で保存するよりも大幅にメモリの使用スペースを節約できます。Pocket Office ファイルへの変換中に、一部の書式や属性が失われることがありますが、デスクトップ PC に戻した時点でそれらの属性は復元します。詳しくは、第 5 章の Microsoft Office プログラムの各項を参照してください。または、hp jornada で各プログラムのオンラインヘルプを参照してください。Pocket PowerPoint に変換できるのは、Microsoft PowerPoint® 97 および 2000 ファイルのみです。

# 4 | 情報の整理

hp jornada ハンドヘルド PC（H/PC）を携帯していれば、電子メールやインターネットを使って、いつでもどこでもオフィスや自宅、取引先などに連絡を取れます。hp jornada と各種アクセサリを組み合わせれば、様々な方法での接続が可能です。この章では、ご利用になる環境に最も適した接続方法が見つかるように、様々なオプションを紹介しています。

Pocket Outlook では予定や会議を忘れることがないようにアラームをセットしておくことができます。また、自分専用のアラームを作成したい場合は、Microsoft ボイス レコーダを使ってボイス メモを録音することもできます。

この章では、以下の項目とその基本手順について説明します。

- Pocket Outlook
- HP ビューア
- HP クイック パッド
- Microsoft ボイス レコーダ

これらのプログラムと、その他 hp jornada 内蔵プログラムの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

## Microsoft Pocket Outlook を使う

hp jornada 付属の Microsoft Pocket Outlook には、予定表、連絡先、仕事、受信トレイがあります。Microsoft ActiveSync では、デスクトップ PC の Microsoft Outlook または Microsoft Exchange の情報を hp jornada と同期させることができます。Microsoft ActiveSync は、同期のたびに hp jornada とデスクトップ PC との変更点を比較し、両方とも更新します。

受信トレイで電子メール メッセージを送受信するには、デスクトップ PC の電子メール プログラム（Outlook または Exchange）と同期してデスクトップ PC 経由でメールを送受信する方法と、インターネットやネットワーク アカウントで直接メール サーバーに接続する方法があります。

### Pocket Outlook を実行するには

- [スタート] – [プログラム] – [Pocket Outlook] をポイントし、[予定表]、[連絡先]、[受信トレイ]、[仕事] のいずれかをタップします。

  または

  [予定表]、[連絡先]、[受信トレイ]、[仕事] のいずれかのホットキーを押します。



Pocket Outlook 上のアプリケーションを切り替えるには、ツールバーで [移動] メニューをタップしてください。

## 「予定表」に予定を記録する

予定表を使って予定、会議、イベントのスケジュールを作成します。複数の表示形式（日単位、週単位、月単位、年単位、計画表）の中から必要なものを選び、簡単に予定を確認できます。



### 新しい予定を作成するには

1. [スタート] – [プログラム] – [Pocket Outlook] をポイントし、[予定表] をタップします。

   または

   [予定表] ホットキーをタップします。

2. [ファイル] メニューで [新しい予定] をタップします。
3. 予定の内容と場所を入力します。
4. 予定の日時を選択します。
5. メモを追加するには、[メモ] ボタンをタップし、次にメモ領域を再度タップして入力します。
6. 予定を分類するには、[分類項目] ボタンをタップし、割り当てる分類項目を一覧から選択します。
7. その他の必要なオプションを選択し、終了したら [OK] をタップします。

Outlook または Pocket Outlook を使っているユーザーと会議を行う場合は、予定表を使ってスケジュールを設定できます。予定表で会議出席依頼を作成し、出席を依頼するユーザーに送信します。会議出席依頼を受け取ったユーザーは、会議への出欠を選択します。出席を選択すると、その会議は自動的にその出席者のスケジュールに入れられます。また、会議出席依頼を送信したユーザーにも自動的に返信され、ユーザーの予定表が更新されます。

会議出席依頼を送信する前に、出席者のメール アドレスを連絡先に入力し、受信トレイをメッセージの送受信ができるように設定しておいてください（第 6 章の「受信トレイを使う」を参照してください)。

### 会議出席依頼を作成するには



1. [スタート] – [プログラム] – [Pocket Outlook] をポイントし、[予定表] をタップします。

   または

   [予定表] ホットキーをタップします。

2. [ツール] メニューで [オプション] をタップし、メールの転送方法を選択します。

   - 同期を使ってメッセージの送受信を行う場合は、[ActiveSync] を選択します。
   - ISP またはネットワークに接続する場合は、受信トレイまたは hp jornada ダイヤルアップ アプリケーションでセットアップしたサービスを選択します。

3. [OK] をタップします。
4. [ファイル] メニューで [会議の作成] をクリックします。
5. 会議の情報を入力します。
6. 一覧から出席者の連絡先を選択します。

その他の必要なオプションを選択し、[OK] をタップします。

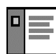
受信トレイに自動的に会議出席依頼が作成され、そのメールは出席者に、次回メール サーバーに接続する際、またはデスクトップ PC と同期する際、送信されます。

hp jornada は、アラーム音、通知ランプの点滅、画面へのメッセージ表示などにより、予定や会議を事前に知らせます。通知方法を選択するには、予定や会議を開き、 をタップし、[アラームの設定] をタップします。アラームが鳴った場合は、hp jornada を開かなくても、カバー上で点滅するアラーム通知 LED を押せばオフにできます。

## 「連絡先」を使って名前やアドレスを管理する

連絡先を使うと、友人や同僚に関する情報を管理でき、自宅にいるときや外出先でも、必要な情報をすぐに見つけることができま

す。赤外線ポートを使えば、他の MS Windows for H/PC 2000 搭載モバイル デバイスを使用しているユーザーと、連絡先を簡単に交換できます。



### 新しい連絡先を作成するには

1. ［スタート］–［プログラム］–［Pocket Outlook］をポイントし、［連絡先］をタップします。

   または

   ［連絡先］ホットキーをタップします。

2. ［ファイル］メニューで［新規作成］をタップします。
3. 名前を入力します。
4. ［勤務先］または［個人情報］をタップし、適切なフィールドに情報を入力します。会議出席依頼や電子メール メッセージを送る場合は、必ず電子メール アドレスも入力してください。
5. メモを付けたり、連絡先を分類するには、［メモ/分類項目］をタップします。メモを付ける場合は、メモ領域をタップしてメモを入力します。連絡先を分類する場合は、割り当てる分類項目を一覧から選択します。
6. 設定が終了したら、［OK］をタップします。



他の赤外線対応の H/PC 2000 搭載デバイスへ連絡先グループを送信できます。これを行うには、2 台のデバイスを 1 メートル以内に、赤外線ポートを向かい合わせにして並べます。連絡先リストから送信する項目を選択し、［ファイル］メニューで［送信］をタップします。受信側のデバイスでは、連絡先を受信したら、［受信］をタップします。分類項目情報とメモは連絡先に添付されません。

## 「仕事」を使って作業スケジュールを管理する

「仕事」を使用すると、ある一定期間に行わなければならない作業や用件を管理できます。仕事カードに仕事の内容の詳細を入力し、分類項目を割り当てます。日付と関連付けたり、アラームをセットすることもできます。

ここをタップして、分類された仕事をフィルタ処理します。

ファイル(F)　編集(E)　移動(G)　ツール(T)　個人用

| 状態 | ! | 仕事 | 開始日 | 期限日 | 分類項目 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ここを選択して新しい仕事を追加します | | | |
| □ | | Renew Passport | なし | なし | 個人用 |

リストを並べ替えるには、並べ替えを行う列の見出しをタップします（タップした列見出しに三角印が付きます）。状態順に並べ替えると、作業中の仕事が完了した仕事よりも前にリストされます。また、特定の状態の仕事やある基準で分類された仕事だけを表示するようにフィルタ処理をすることも可能です。フィルタ処理を行うと、[フィルタ] ボタンが選択されます。期限が過ぎた仕事は赤の太字で表示されます。

### 新しい仕事を作成するには



1. [スタート] – [プログラム] – [Pocket Outlook] をポイントし、[仕事] をタップします。

   または

   [仕事] ホットキーをタップします。

2. [ファイル] メニューで [新しい仕事] をタップします。
3. 仕事の内容を入力します。
4. 開始日、期限日、その他の情報を入力します。
5. メモを追加するには、[メモ] ボタンをタップし、次にメモ領域を 1 回タップします。メモを入力し、[OK] をタップします。
6. 終了したら、[OK] をタップします。

## 受信トレイで電子メールを管理する

受信トレイを使って、電子メール メッセージを送受信します。自分のメールにアクセスするには、デスクトップ PC と同期してデスクトップ PC 経由でメールを送受信する方法と、インターネットまたはネットワークアカウントでメール サーバーに接続する方法があります（詳しくは、第 6 章の「受信トレイを使う」、第 3 章の「電子メール メッセージを同期する」を参照してください）。

## HP ビューアを使う

HP ビューアを使うと、Pocket Outlook の予定表、連絡先、仕事のデータベース情報を、すばやく様々な方法で表示できます。HP ビューアでは、必要な情報を任意の詳細度で表示できます。たとえば、詳しい連絡先の情報、仕事、メモを同じ画面に表示したり、同じ日、週、月（最大 6 ヶ月間まで）別にスケジュールされている予定や仕事をひとつの画面に表示できます。また、任意のデータからあるひとつのフィールドだけを表示したり、Pocket Outlook に切り替えて、編集することも可能です。

HP ビューアのアイコンは、標準の設定で MS Windows for H/PC 2000 のデスクトップに表示されています。

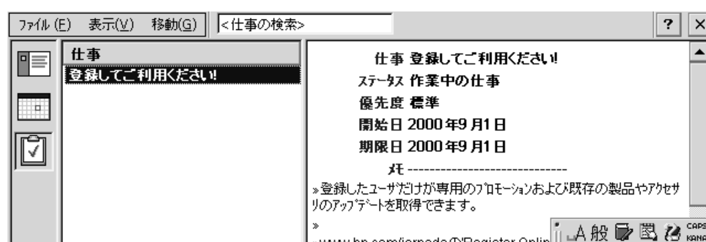


### HP ビューアを起動するには

- [スタート] – [プログラム] – [HP アプリケーション] をポイントし、[HP ビューア] をタップします。

  または

  [HP ビューア] ホットキーを押します。




HP ビューアでは、Pocket Outlook のデータをすぐに表示できます。



HP ビューアは Internet Explorer と同じフォント設定を使用します。Internet Explorer でフォントやフォント サイズを変更すると、HP ビューアの表示も変わります。

HP ビューアからは Pocket Outlook に簡単に切り替えられ、予定表ビューで選択した日付の内容を確認できます。

### Pocket Outlook に切り替えるには

- [移動] メニューで、移動先のプログラムまたは表示モードをタップします。

HP ビューア ウィンドウの [今日のバナー] には、現在の日付と、次にスケジュールされている予定が表示されます。予定の詳細情報を表示するには、[今日のバナー] にある予定の見出しをタップします。

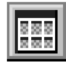
### 予定表、連絡先、仕事の情報を切り替えるには

- HP ビューア ウィンドウの左側にある、それぞれのアイコンをタップします。

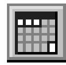
## 予定表の情報を表示する

HP ビューアでは、予定表を日単位、週単位、月単位、または n ヶ月単位で表示できます。

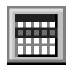
- ［予定表］の情報を表示するには、HP ビューア ウィンドウ左側の［予定表］アイコンをタップします。
- 表示モードを変えるには、ツールバーの［表示］ボタンをタップします。
- 特定の日付の情報を見るには、ツールバーの［指定の日にジャンプ］ボタンをタップします。



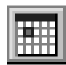
n ヶ月（6 ヶ月まで表示）



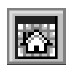
月



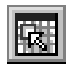
週



日



今日（［今日］コマンド）



日付（［指定の日付にジャンプ］コマンド）

日単位の表示では、表示日数を当日から最大 7 日間まで選択して、スケジュールを表示できます。

n ヶ月、月、週単位の表示で、日単位の詳細表示を有効にするには、スペース バーを押して、必要な日付の予定と仕事を表示します。予定やイベントの横にあるアイコンをタップすると、それらに関する詳しい情報、またはメモが表示されます。

指定した日付の詳細を常に画面に表示させておくには、ツールバーの  ボタンをタップします。

月単位の表示では、5 週間分のデータをひとつの画面に表示できます。6 ヶ月までの予定表を一度に表示したい場合は、n ヶ月単位の表示を使いま

す。日付をタップしてスペース キーを押すと、その日にスケジュールされている予定やイベントに関する詳しい情報が表示されます。



n ヶ月単位の表示で、6 ヶ月まで表示するには、タスクバーを［自動的に隠す］に設定します。［スタート］–［設定］–［タスクバー］をタップし、［タスクバー設定］ダイアログを開きます。

## 連絡先情報を表示する

HP ビューアでは、特定の連絡先に関するすべての情報をひとつの画面に表示できます。

- ［名前を検索］ボックスに検索する文字を入力すると、その文字と一致する連絡先が表示されます。
- 連絡先一覧の左にあるタブをタップすると、その文字から始まる連絡先にジャンプできます。タブの次の文字に移動するには、そのタブをもう一度タップします。
- 連絡先一覧をある特定の列（キー）を基準として並べ替えるには、一覧の一番上の列見出しをタップし、次に［主キーの選択］ダイアログ ボックスから列を選択します。

## 「仕事」情報を表示する

HP ビューアでは、メモを含め、どのフィールドの仕事でも表示できます。

- ［仕事の検索］ボックスに検索する文字を入力すると、その文字と一致する仕事が表示されます。

# HP クイック パッドを使ってデータを取り出す

HP クイック パッドに必要な情報やメモを入力しておけば、外出中でも簡単に情報を取り出せます。HP クイック パッドに名前、電話番号、覚え書きなどの情報を手軽に記録してください。ただ保存するだけでなく、HP クイック パッドでは、予定、仕事、電子メール、さらには Pocket Word 文書までも作成できます。

ページまたは選択されたページのデータを新しい電子メールとして、予定表、連絡先、仕事、または新しい Microsoft Pocket Word ファイルに送信します。



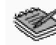

左側のウィンドウにページのタイトルが表示されます。

右側のウィンドウにページの詳細が表示されます。

クイック パッドでは、日付や時間をはじめ、予定、仕事、連絡先リストの電話番号や住所などが一目でわかります。

メモ領域に簡単なメモや覚え書き、連絡先などを書きとめてください。これをクイック パッドに保存したり、必要な情報を選択して連絡先または仕事リストなど他のデータベースに送信したりできます。

### HP クイック パッドを起動するには



- [スタート] – [プログラム] – [HP アプリケーション] をポイントし、[HP クイック パッド] をタップします。

  または

  [HP クイック パッド] ホットキーを押します。

### HP クイック パッドに情報を保存するには

## [ファイル] メニューで [新しいページ] をタップし、任意の説明を入力し空白のノートパッド ページを作成します。

- メモ領域をタップして保存したい情報を入力します。
- [ [ファイル] メニューで、[上書き保存] をタップします。

ページは必要な分だけ作成できます。情報を取り出すには、必要なページのタイトルをドロップダウン リストから選択します。または、[ファイル] メニューで、[ページの検索] をタップし、検索する文字を入力します。

### 他のプログラムで使うために情報を整理するには

1. HP クイック パッドで必要な情報を含むページを開き、エクスポートするテキストを選択します。
2. [送る] メニューで、送信先のプログラム名を選択します。
    - 選択したテキストを含む電子メールを作成するには、[新しいメール] をタップします。
    - Pocket Outlook のデータベースのエントリを作成するには、[予定表]、[連絡先]、または [仕事] のいずれかをタップします。
    - 選択したテキストを含む Pocket Word 文書を作成するには、[新規 Pword 文書] をタップします。
3. ダイアログ ボックスが表示されるので、仕事や予定の開始日と終了日、メール送信先のアドレスなど、必要な情報があれば追加し、[OK] をタップします。

## ボイスメモの録音と再生

Microsoft ボイス レコーダでは、アイデア、アラーム、覚え書きなどをすばやく記録できます。ボイス レコーダで取り込んだデータは、Wave 互換フォーマット (.wav) で保存されるため、個人的なボイス メッセージとして電子メールに添付して親しい友人や同僚に送ることができます。送られたボイス メッセージはデスクトップ PC 上でブラウザを使って開くことができます。



ボイス レコーダは簡単な個人用のメモを録音するためのもので、プレゼンテーション、音楽、講義などの録音には適していません。再生中は、小さなノイズが聞こえる場合があります。



### ボイス レコーダを使用してボイス メモを録音、再生するには

1. [スタート] – [プログラム] – [アクセサリ] をポイントし、[ボイス レコーダ] をタップします。
   または
   [ボイス レコーダ] ホットキーを押します。
2. ツールバーの [録音] ボタンをタップします。録音の開始を知らせるビープ音が鳴ります。録音中は、ステータス LED ランプが赤く点灯しています。
3. マイクが口の前または音源の近くに来るように hp jornada を持ち、録音します。

4. 録音を止めるには、ツールバーの［停止］ボタンをタップします。新しい録音音声が保存され、一覧に表示されます。

5. 録音音声を再生するには、録音音声一覧の項目をダブルタップします。再生を中断するには、［再生/一時停止］をタップします。再生を再開するには、もう一度［再生/一時停止］をタップします。

すべての録音音声を 1 つずつ順に再生するには、最初に再生する録音音声を選択し、[コントロール] – [連続再生] をタップします。選択した録音音声から順に再生され、各録音音声の間には短いビープ音が鳴ります。



## 録音フォーマット

hp jornada は、音声記録用に、いくつかのフォーマットをサポートしています。録音の品質とサウンド ファイルの大きさは、フォーマットによって異なります。録音フォーマットを選択する際には、必要な品質はどの程度か、hp jornada のデータ記憶用メモリをどのくらい消費するかを考慮に入れてください。

また、必ずしもすべての録音フォーマットが他の PC やソフトウェアに適合するわけではありません。録音を他の人と共有したり、デスクトップ PC に転送したりする場合は、録音再生に使用するソフトウェアがサポートしている録音フォーマットを選択してください。

### 録音フォーマットを選択するには

1. [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] をポイントし、[Microsoft ボイス レコーダ] をタップします。
   または
   hp jornada キーボードの［ボイス レコーダ］ホットキーを押します。

2. [ツール] メニューで、[録音フォーマット] をタップし、ドロップダウン リストから録音フォーマットを選択します。

次の表は、それぞれの録音フォーマットについて、他のコンピュータとの互換性を示しています。hp jornada の録音フォーマット リストには、サンプル レート、ステレオかモノラルか、データ記憶用メモリを録音 1 秒間につきどのくらい消費するかが表示されています。どのフォーマットがご自分の声を録音するのに最も適しているか、サンプル レートや録音フォーマットを変えて試してみると良いでしょう。

| フォーマット | 品質 | 互換性 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | hp jornada 700 シリーズ | Windows CE 2.0 デバイス | ActiveSync をインストールした PC | Windows 95/98/NT |
| PCM | 高品質 | 有 | 有 | 有 | 有 |
| GSM 6.10 | 中程度 | 有 | 有 | 無 | 無 |

## メモリを確保する

ボイス メモは、hp jornada のデータ記憶用メモリを大量に消費します。ボイス メモを大量に録音または保存する場合は、次のようなメモリを維持するための対策を取る必要があります。

- 不要になったボイス メモを削除します。リストから削除したいボイス メモを選択し、[ファイル] メニューで [削除] をタップします。ボイス メモの削除はやり直しが効きません。[ごみ箱] に一時保管されずに削除されますのでご注意ください。
- [システム] コントロール パネルにある [メモリ] タブで、hp jornada で使用可能なデータ記憶用メモリの容量を調整します。
- CompactFlash カードまたは PC カードを使ってメモリを増設します (推奨カードについては、HP Web サイト www.jpn.hp.com/hho/jornada に掲載された一覧を参照してください)。



# 5 | ビジネスでの活用

hp jornada ハンドヘルド PC があれば、デスクトップ PC やノートブック PC がない外出先でもオフィスと同じ生産性を保ちながら効率的に作業を続けることができます。内蔵の Microsoft® Pocket Office やその他のソフトウェアにより、費用を計算したり、各種検索を実行できるほか、データ バックアップ ユーティリティの hp jornada バックアップにより、円滑に作業が続けられます。

この章では、以下の項目について詳しく説明します。

- Microsoft Pocket Office: 以下のアプリケーションが含まれます。
  - Microsoft Pocket Word
  - Microsoft Pocket Excel
  - Microsoft Pocket PowerPoint
  - Microsoft Pocket Access
- Microsoft InkWriter
- hp jornada バックアップ アプリケーション
- LandWare OmniSolve

# Microsoft Pocket Office を使う

Microsoft Pocket Office は、デスクトップ PC やノートブック PC がない場所でも、オフィスにいるときと同じ環境で作業ができます。Pocket Office の各プログラムを使うには、デスクトップにあるそれぞれのアイコンをダブルタップするか、プログラムを割り当てた hp jornada ホットキーを押します。これらのプログラムについて、詳しくはオンライン ヘルプの Microsoft Pocket Office の項目を参照してください。

## Microsoft Pocket Word を使う

Pocket Word を使うと、デスクトップ PC の Microsoft Word と同じように、文書やテンプレートの作成と編集ができます。文字を入力するページにカーソルを置き、アウトライン モードか標準モードで入力を開始します。Pocket Word には、入力した文字の校正を行うスペルチェッカーや Microsoft Word でおなじみのボタンやメニューを使用したフォーマット機能が付属しています。欧文文字や通貨記号は、[ツール] メニューから入力します。

Pocket Word には他のユーザーやプログラムとの互換性をサポートするため、数種類のファイル保存形式が用意されています。また、hp jornada とデスクトップ PC 間でファイルの転送を行うときは、Microsoft ActiveSync によって適切なファイルタイプに自動変換されます。ただし、電子メールでファイルを送る場合は、受信者側のアプリケーションで開けるファイル形式で保存しておく必要があります。

| ファイル タイプ | 拡張子 | 対応するプログラム |
|---|---|---|
| Pocket Word 文書 | .pwd | Pocket Word |
| Pocket Word テンプレート | .pwt | Pocket Word |
| Word 6.0/95/97/2000 文書 | .doc | Microsoft Word 2000 |
| Word 6.0/95/97/2000 テンプレート | .dot | Microsoft Word 2000 |
| Rich Text Format | .rtf | ほとんどのワープロ ソフト |
| ASCII テキスト | .txt | すべてのテキスト エディタ |

### Pocket Word を実行するには



- [スタート] – [プログラム] – [オフィス] をポイントし [Microsoft Pocket Word] をタップします。
  または
  [Microsoft Pocket Word] ホットキーを押します。

### Pocket Word で文書を作成するには



1. [ファイル] メニューで [新規作成] をポイントし、[文書] をタップします。
2. 文書を作成します。
3. [ファイル] メニューで [保存] をタップします。
4. ファイル名を入力し、[OK] をタップします。

---

文書を全体表示するには、[表示] メニューの [ウィンドウ幅に合わせる] をタップします。



---

## Microsoft Pocket PowerPoint を使う

Pocket PowerPoint を使うと、プロフェッショナルなオンライン プレゼンテーションが行えます。操作は、デスクトップ PC の Microsoft PowerPoint 97 でプレゼンテーション ファイルを作成し、それを hp jornada に転送するだけです。hp jornada にはスライド作成機能はありませんが、プレゼンテーション中にタイトル スライドをカスタマイズしたり、ニーズに合わせてスライドの上映順を変えたりできます。

プレゼンテーション ファイルは、hp jornada に直接表示することも、HP VGA out カードを hp jornada にセットして、外部モニタやプロジェクタに映し出すことも可能です。この場合、プレゼンテータは、hp jornada に PowerPoint で作成したスピーチメモを表示しながら、外部モニタでプレゼンテーションを行うことができます。なお、Pocket PowerPoint ファイルには、元の Microsoft PowerPoint ファイルが持つテキスト、画像、メモ、レイアウト位置がそのまま維持されますが、アニメーションは、一枚の静止画として表示されます。



## Pocket PowerPoint を起動するには

- ［スタート］–［プログラム］–［オフィス］をポイントし［Microsoft Pocket PowerPoint］をタップします。
  または
  デスクトップの［Microsoft Pocket PowerPoint］アイコンをダブルタップします。



## プレゼンテーションを行うには

1. Microsoft ActiveSync を使って、デスクトップ PC から hp jornada にプレゼンテーション ファイルをコピーします。
2. ［スタート］–［プログラム］–［Office］をポイントし、［Microsoft Pocket PowerPoint］をタップします。
3. ［ファイルを開く］ダイアログ ボックスが表示されたら、表示するプレゼンテーション ファイルを選択し、［OK］をタップします。
4. プレゼンテーションの表示方法とスライドの切り替え方法を変更するには、［ツール］メニューで［スライドショーの設定］をタップします。
5. プレゼンテーションを行うには、［表示］メニューの［実行］をタップします。ステップ 4 の［プレゼンテーションの表示］で［手動］を選択した場合は、［前へ］と［次へ］ボタンを使ってスライドを動かします。



新しいタイトル スライドを追加して、プレゼンテーションをカスタマイズすることも可能です。これを行うには、［ツール］メニューの［タイトル スライド］をタップします。



## VGA 互換モニタでスライド プレゼンテーションを行うには

1. HP VGA 出力 PC カードを hp jornada に差し込み、カードに付属の使用手順にしたがってモニタまたはプロジェクタを接続します。
2. PowerPoint を起動し、プレゼンテーション ファイルを開きます（この章前半の「プレゼンテーションを行うには」を参照してください）。
3. ［ツール］メニューで［スライドショーの設定］をタップします。
4. ［スライドショーの表示］一覧から、VGA の出力オプションを 1 つ選択します。
5. スライドショーを開始するには、［表示］メニューの［実行］をタップします。



プレゼンテーション中は、モニタ画面を一時的に真っ暗にしたり、白くフェードアウトしたりできます。暗くするには、B キー、白くフェードアウトさせるには、W キーを押します。プレゼンテーション画面に戻るには、もう一度 B または W キーを押してください。

## Microsoft Pocket Excel を使う

Pocket Excel を使うと、経費明細書や出張旅費精算用紙などを作成できます。Pocket Excel は、数式、関数、並べ替え、フィルタなど、基本的なスプレッドシート ツールを備えています。1 つのワークシート上の離れた位置にあるデータを同時に見るには、ウィンドウ枠を分割すると便利です。また、シートをスクロールしても行ラベルと列ラベル、またはその他のデータが常に表示されるように、ワークシートの先頭と左端のウィンドウ枠を「固定」することも可能です。

Pocket Excel には他のユーザーやプログラムとの互換性をサポートするため、数種類のファイル保存形式が用意されています。また、hp jornada とデスクトップ PC 間でファイルの転送を行うときは、Microsoft ActiveSync によって適切なファイル タイプに自動変換されます。ただし、電子メールでファイルを送る場合は、受信者側のアプリケーションで開けるファイル形式で保存しておく必要があります。

### Pocket Excel を起動するには



- [スタート] – [プログラム] – [Office] をポイントし、[Microsoft Pocket Excel] をタップします。
  または
  デスクトップの [Microsoft Pocket Excel] アイコンをダブルタップします。

### Pocket Excel でブックを作成するには



1. [ファイル] メニューで [新規作成] をポイントし、[ブック] をタップします。
2. ワークシートを作成します。
3. [ファイル] メニューで [保存] をタップします。
4. ファイル名を入力し、[OK] をタップします。



ブックに部外秘の重要事項が含まれている場合は、パスワードで保護できます。保護するには、ブックを開き、[ファイル] メニューの [パスワード] をタップします。パスワード保護付きのブックは、同期できません。

## Microsoft Pocket Access を使う

Pocket Access を使うと、Microsoft Access、Microsoft SQL Server、その他の ODBC データベースで作成されたデータを hp jornada で表示し、更新できます。既存のデータベースを開いて該当するテーブルのデータを更新することも、電子フォームに記入することも可能です。どちらの場合も、更新された情報はデスクトップ PC または社内ネットワークのデータベースと随時同期させてください。Pocket Access では、直接新しいデータベース、テーブル、SQL プロシージャを作成することも可能です。



MS Windows for H/PC 2000 用 Microsoft ActiveX™データ オブジェクト（ADOCE）と Microsoft Visual Basic™または Microsoft Visual C++™を使って、独自のデータベースを開発することもできます。データベース開発について、詳しくは Microsoft Web サイト（www.microsoft.com/mobile)を参照してください。



### 新しいデータベースとテーブルを作成するには

1. [スタート] – [プログラム] – [オフィス] をポイントし、次に [Microsoft Pocket Access] をタップします。
   または
   デスクトップの [Microsoft Pocket Access] アイコンをダブルタップします。
2. [表示] メニューで [データベース ビュー] をタップします。次に、[ファイル] メニューで [開く] または [新規作成] をタップします。
3. データベース名を入力し、[OK] をタップします。
4. [新規テーブルの作成] アイコンをダブルタップします。
5. [フィールド名] ボックスに名前を入力します。
6. [データ タイプ] リストから使用するデータ タイプを選択します。

- テーブルを保存した後は、フィールドのデータ タイプを変更することはできません。
- テキストボックスに入力できる文字は 255 文字までです。もっと長い記述が必要な場合は、[メモ]を選択してください。
- 小数点付きの数字を入力する場合は、[浮動小数点データ]を選択します。
- -32,768 から+32,767 までの数字を入力する場合は、[整数データ]を選択します。
- より小さい数字を入力するには、[小さい整数データ] を選択します。

7. フィールドのサイズの上限を設定するには、[フィールド サイズ] ボックスに容量を入力します。テーブルを保存した後は、フィールドのサイズを変更することはできません。
8. フィールドにインデックスを付けるには、[インデックス] で [はい] を選択します。フィールドにインデックスを付けると、Pocket Access でのフィールドの検索とソートが速くなります。

9. テーブルに含めるすべてのフィールドについて、上記の手順を繰り返します。
10. [ファイル] メニューで [テーブルの保存] をタップします。



hp jornada 側に更新したくないテーブル (製品カタログなど) がある場合は、デスクトップから転送する際読み取り専用にすると、それ以後同期にかかる時間を短縮できます。Microsoft ActiveSync は読み取り専用データの更新チェックは行いません。

## Pocket Office 文書を印刷する

Pocket Office やその他のプログラムで作成した文書を hp jornada から印刷するには次の 3 通りの方法があります。

- オプションの HP パラレル プリンタ ケーブル (F1274A) を使って、直接 PCL プリンタに接続する。hp jornada 付属の『HP パラレル プリンタ ケーブル ユーザーズ ガイド』に、互換性のあるプリンタのリストが記載されています。
- 赤外線ポートを使って接続する (赤外線内蔵 PCL プリンタのみ)
- ファイルをデスクトップ PC に転送してデスクトップ PC のプログラムから印刷する

パラレル プリンタ ケーブルを使って直接プリンタに接続する方法については、HP パラレル プリンタ ケーブルのユーザーズ ガイドを参照してください。

### 赤外線ポートを介して直接プリンタに出力するには

1. 印刷するファイルまたは文書を開きます。
2. [ファイル] メニューで [印刷] をタップします。[印刷] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. 印刷する PCL プリンタを選択して、[IrDA] ポート オプションを選択します。
4. 必要に応じてその他の印刷オプションを設定します。
5. [OK] をタップし、hp jornada の赤外線ポートとプリンタの赤外線ポートを向かい合わせに並べます。

## Microsoft InkWriter を使う

Microsoft InkWriter®は、Rich Ink テクノロジーを駆使したテキスト、グラフィックス、手書き入力ツールです。紙に描くのと同じように簡単に手書き入力でき、しかも描いたものを後で編集、書式化できます。InkWriter へは、キーボードからの入力、またはスタイラス ペンを使った手書きのどちらか簡単な方法で情報を入力できます。



### InkWriter 文書を作成するには

1. [スタート] – [プログラム] – [アクセサリ] をポイントし、次に [InkWriter] をタップします。
2. 以下の手順で文書を作成します。

- 文字を入力するには、[表示] メニューの [手書き入力] をタップして、キーボードから入力します。
- 図を描くには、[表示] メニューの [描画] をタップします。スタイラス ペンを使ってタッチスクリーンに描画します。手書き入力表示にしても図を描くこともできます。これを行うには、描画のはじめに、3 本の基準線を引きます。

3. 終了したら、[ファイル] メニューで [保存] をタップします。

# データのバックアップと復元を行う

データの損失を防ぐため、hp jornada のデータは頻繁にバックアップを取るようにしてください。hp jornada のバックアップには次の 2 通りの方法があります。

- Microsoft ActiveSync を使って、すべてのデータをデスクトップ PC にバックアップする
- hp jornada バックアップ アプリケーションを使って、すべてのデータまたは PIM データのみ（連絡先、予定表、仕事、受信トレイのデータベース）を、PC カード、CompactFlash カード、または内部メモリにバックアップする

## Microsoft ActiveSync のバックアップ機能を使う

Microsoft ActiveSync のバックアップ機能は、hp jornada に保存されているすべてのデータの複製を PC 上に作成するものです。デスクトップ PC に接続することが多い場合は、データのバックアップ方法として最も適しています。バックアップ ファイルは、デスクトップ PC のハードディスクに保存されます。

### デスクトップ PC の ActiveSync でデータをバックアップする

hp jornada とデスクトップ PC の間にパートナー関係を結んでいる場合は、ActiveSync を、接続するたびに自動的にデータをバックアップするように設定することができます。また、いつでも hp jornada を手動でバックアップすることができます。ActiveSync は、毎回すべての情報をバックアップするように設定することも、新規または更新情報のみバックアップするように設定することもできます。

### ActiveSync でデータをバックアップするには

1. hp jornada をデスクトップ PC に接続します。
2. デスクトップ PC の［ActiveSync］ウィンドウで、[ツール］メニューから［バックアップ/復元］をタップし、[バックアップ］タブをタップします。
3. [すべてバックアップ] (毎回すべての情報をバックアップする）または［増分バックアップ] (新規または更新情報のみバックアップする）を選択します。
4. バックアップ ファイルの名前を変更したり、バックアップ ファイルの保存場所を指定する場合は、[変更］をクリックします。
5. [バックアップする］をタップします。

## ActiveSync でデスクトップ PC からデータを復元する

Microsoft ActiveSync で作成したバックアップ ファイルからデータを復元すると、これまで作成したファイル、インストールしたプログラム、システム設定やオプションなど、hp jornada 上のすべてのデータがバックアップ ファイルのデータに書き換えられます。

ActiveSync でデータを復元すると、hp jornada に保存されたすべての情報が書き換えられます。バックアップ ファイル作成以降に加えられたデータはすべて失われます。



### ActiveSync でデータを復元するには

1. hp jornada をデスクトップ PC に接続します。
2. hp jornada で実行中のすべてのアプリケーションを終了します。
3. デスクトップ PC の［ActiveSync］ウィンドウで、[ツール］メニューから［バックアップ/復元］をクリックし、[復元］タブをクリックします。
4. [復元する］をクリックします。復元の処理が完了するまで、hp jornada を使用しないでください。
5. シリアルの PC 接続ケーブルを外すかあるいは hp jornada をクレードルから取り外し、CompactFlash カードがインストールされている場合は取り出し、hp jornada のソフト リセットを行ってください。第 9 章の「hp jornada をリセットする」を参照してください。

# hp jornada バックアップを使う

大切なデータを確実に保持するには、hp jornada バックアップ アプリケーションを使って、HPCompactFlash カードにバックアップをとることをお勧めします。CompactFlash カードにバックアップすることにより、外出時やデスクトップ PC がない環境でも確実にデータを消失から守ることができます。HP バックアップではバックアップ対象として、すべてのデータか、予定表、連絡先、仕事、受信トレイなどの PIM データだけのどちらかを選択できます。CompactFlash カードの使用方法について詳しくは、第 7 章の「PC カード、CompactFlash カードおよび Smart カードを使う」を参照してください。



CompactFlash カードと PC カードの両方がインストールされている場合は、[マイ ハンドヘルド PC] フォルダに 2 つのフォルダが表示されます。これらのフォルダは、[マイ ハンドヘルド PC] に、カードが挿入された順に表示されます。

hp jornada のフォルダにデータをバックアップすることも可能ですが、この方法では電源が切れた場合や、ファクトリー デフォルト リセットを行う場合にデータを保持できません（詳しくは、第 8 章の「リセットする」を参照してください)。

## HP バックアップでデータをバックアップする

### データをバックアップするには



1. [スタート] – [プログラム] – [HP アプリケーション] をポイントし、[HP バックアップ] をタップします。
2. [バックアップ] をタップします。
3. バックアップの対象を選択します。

- [一括バックアップ]: 作成したファイルやインストールしたプログラムなど、RAM に保存されているすべての情報をバックアップします (一部のシステム設定やパスワードはバックアップされません)。
- [データベースのバックアップ]: 連絡先、仕事、予定表のデータベース、受信トレイのデータベースだけをバックアップします。

4. バックアップ ファイルをパスワードで保護したり、暗号化したりするには、[バックアップのオプション] から選択します。
5. [バックアップする] をタップし、バックアップ ファイルのファイル名とフォルダの格納場所を選択します。次に [OK] をタップしてバックアップ処理を完了します。

バックアップ ファイル（*.dbe または*.dbb）をデスクトップ PC にコピーしておくと、より確実にデータを保持できます。



## HP バックアップでデータを復元する

### バックアップ ファイルから復元するには



1. 最初に、バックアップ用バッテリを取り外し、さらにメイン バッテリ、AC 電源アダプタを取り外します。5 分間待った後、AC 電源とバッテリを先程と逆の順序で取り付けます。
2. ［スタート］-［プログラム］–［HP アプリケーション］をポイントし、［HP バックアップ］をタップします。
3. ［すべて復元］または［データベースのみ復元］のいずれかを選択し、［復元する］をタップします。
4. 復元するバックアップ ファイルを選択し、［OK］をタップして復元処理を完了します。
5. 復元が完了したら、hp jornada を使用する前にソフト リセットを行ってください（第 8 章の「復元する」を参照してください）。



復元するときの「地域」の設定は、バックアップしたときの「地域」の設定と同じでなければなりません。設定が異なっているとファイルの復元が行えません。「地域」の設定を変更するには、［スタート］–［設定］をポイントし、［コントロール パネル］をタップして、［地域］アイコンをダブルタップします。ドロップダウン リストから自分の住んでいる地域を選択します。

# LandWare OmniSolve を使う

OmniSolve は、HP ビジネス電卓と同様の機能を備えた財務アプリケーションです。OmniSolve は、不動産業や、小売業や、ビジネス用に開発されたアプリケーションで、財務上の決定を迅速かつ正確に下すのに役立ちます。OmniSolve は、「フォーム記入」方式を採用しており、使用の簡便性、パワー、柔軟性において比類のない、問題解決環境を提供します。



### OmniSolve を起動するには

- ［スタート］–［プログラム］–［アクセサリ］をポイントし、［OmniSolve］をタップします。

OmniSolve の使用方法の詳細については、OmniSolve オンライン ヘルプを参照してください。

# 6 | 電子メールへのアクセス

hp jornada ハンドヘルド PC (H/PC) を携帯していれば、電子メールやインターネットを使って、いつでもどこでもオフィスや自宅、取引先などに連絡を取れます。hp jornada と各種アクセサリを組み合わせれば、様々な方法での接続が可能です。この章では、ご利用になる環境に最も適した接続方法が見つかるように、様々なオプションを紹介しています。

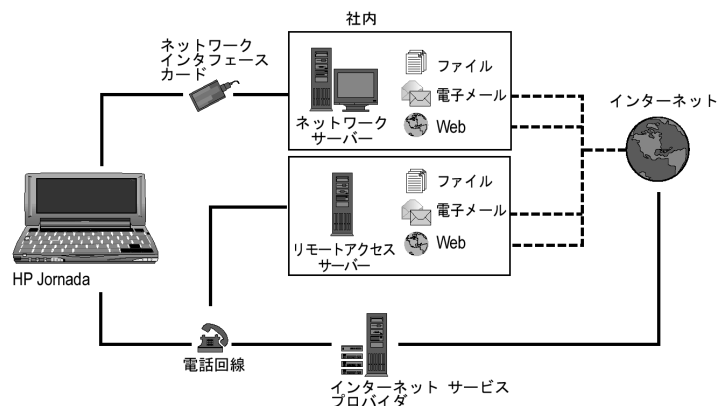
この章では以下の項目について説明します。

- 接続の目的と方法を決める
- 個人的アクセスで、電子メール、インターネットを利用できるように、hp jornada をセットアップする
- 社外から会社のメールや社内ネットワーク、または PC にアクセスできるように、hp jornada をセットアップする
- 社内から会社のメールや社内ネットワーク リソースにアクセスできるように、hp jornada をセットアップする
- HP ダイヤル アップまたはリモート ネットワークを使った接続をセットアップする
- 受信トレイと Microsoft Internet Explorer 4.01 for H/PC を使う

## 接続の方法と目的を決める

メールの送受信とインターネットのブラウズ、遠隔地のリソースへのリモート アクセスを行う方法は、その目的と環境によって異なります。以下の項目を確認してください。

- 個人用（会社用でない）メールやインターネットにアクセスしたい。
- 外出先または社外から、社内メールやネットワーク サービスにアクセスしたい。
- オフィス内で社内メールやネットワーク サービスにアクセスしたい
- 個人用または仕事用など、複数の電子メール アカウントを持っている




使用目的をはっきりさせることで、どの接続方法が最も適し、どのような準備が必要であるかがわかります。それぞれのニーズに適した接続方法を示します。



本章内や HP ダイヤルアップ アプリケーションで使われている用語の一部は、本書巻末の用語集で詳しく解説されています。

# 電子メール、インターネット、企業のイントラネットにアクセスする

標準的な個人用インターネット接続

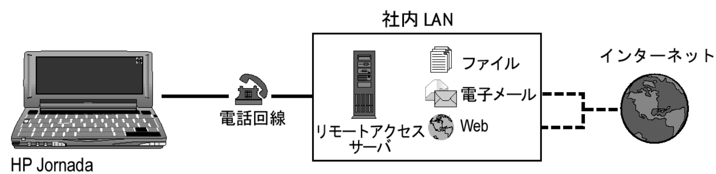



個人用のメールとインターネット サービスだけを使う（社内ネットワークにはアクセスしない）場合は、次の準備が必要です。

- **モデム**:PC カード モデムやカード型 PHS、Bluetooth デバイス、および LAN カードから選択することもできます（推奨 PC カード モデムや PC カード通信デバイスの詳細については hp jornada Web サイトwww.jpn.hp.com/hho/jornadaの「hp jornada 技術情報」をご覧ください)。
- **PPP (Point-to-Point Protocol) または SLIP (Serial Line Internet Protocol) アカウント**: 契約した ISP (インターネット サービス プロバイダ) から、ユーザー名、パスワード、ダイヤルアップ電話番号、サーバー名など、重要な基本情報を入手します。

- **ダイヤルアップ接続のセットアップ**: HP ダイヤルアップを使うと、簡単にセットアップできます。
- **電話回線へのアクセス**: PC カード モデムを使用する場合は、付属の取扱説明書で、使用可能な電話回線の種類を確認してください。

## 社外から会社の電子メールとネットワークに接続する



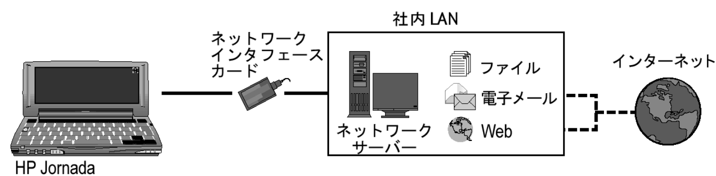

標準的な、企業 LAN へのリモート接続

社外から、会社のメールとインターネット サービスにダイヤルアップ接続するには、前述の個人的なインターネット接続で必要な項目に加え、以下の準備が必要です。

* モデムを別途購入する必要があります。Web サイト/コンテンツによっては、提供されていないものもあります。

- **社内ネットワーク サーバーにダイヤル接続するためのアカウント**: ネットワーク管理者から、ユーザー名、パスワード、ダイヤルアップ電話番号、サーバー名など、重要な基本情報を入手します。

## 社内で会社の電子メールとネットワーク リソースに接続する




標準的な、会社の LAN への接続（社内）

社内メールとインターネット サービスだけを使う（社外からはアクセスしない）場合は、以下の準備が必要です。

- **ネットワーク インタフェース カード (NIC)**: 使用する DNS や WINS サーバーの IP アドレスを指定して、NIC を正しく設定しておく必要があります (アドレス情報はネットワーク管理者から入手します)。
- **社内ネットワークのアカウント**: hp jornada 用の IP アドレスを含む (動的に割り当てない場合)
- **ネットワーク (LAN) 接続用ケーブル**: ご使用のネットワーク インタフェースカードに適したコネクタ付きのケーブル
- hp jornada を LAN ケーブルでネットワークに接続する方法の詳細については、この章後半の「会社の電子メールおよびネットワーク リソースにネットワーク インタフェース カードを使用して接続する」を参照してください。

# 接続を作成する

接続方法が決まれば、以下の説明に従って、インターネットやイントラネット、ネットワーク接続を簡単に作成し、設定できます。

個人的インターネット接続と社外から会社へのダイヤルアップ接続の方法は非常に似通っており、最初に説明しています。次に、社内からの LAN 接続の作成方法を説明します。

個人用および会社のダイヤルアップ接続
hp jornada は各種の PC カード モデムをサポートしています (推奨 PC カード モデム、カード型 PHS の詳細については www.jpn.hp.com/hho/jornadaをご覧ください)。PC カード モデムをインストールおよび設定する際は、PC カード モデム付属の取扱説明書に従ってください。

## ISP (インターネット サービス プロバイダ) のアカウントを取得する

インターネットと電子メールにアクセスするには、ISP から情報を取得して PPP アカウントをセットアップする必要があります。ISP によっては、PPP のかわりに SLIP アカウントを使用する場合もあります。hp jornada は、PPP、SLIP ともにサポートしています。

* モデムを別途購入する必要があります。Web サイト/コンテンツによっては、提供されていないものもあります。

hp jornada をインターネットと電子メール サービスに接続するために必要な設定情報は、すべて ISP から入手できます。以下の項目を確認してください。

- アカウントのユーザー名
- アカウントのパスワード
- ISP アクセス ポイントの電話番号
- IP および DNS アドレス（必要な場合。多くのダイヤル アップのアカウントは接続時に動的にアドレスを割り当てます）。
- 電子メール用ユーザー名または ID (ISP アカウントのユーザー名と同じ場合があります)
- 電子メールのパスワード（ISP アカウントのユーザー名と同じ場合があります)
- ISP の POP3 または IMAP4 ホスト名
- ISP の SMTP ホスト名（ISP から指定された場合）

## ISP へのダイヤルアップ接続をセットアップする

HP ダイヤルアップを使用して、インターネットや社内ネットワークへのダイヤルアップ接続を作成したり、電子メールや Web サービスを設定したりできます。

ISP のアカウントを取得したら、hp jornada で接続を設定することができ、いつでもインターネットと電子メールにアクセスできます。HP ダイヤルアップを使用すると、この設定が簡単に行えます。HP ダイヤルアップの [セットアップ ウィザード] に従って、接続設定を行います。

HP ダイヤルアップを最初に起動する時、[セットアップ ウィザード] 画面が表示されます。画面の指示に従って、段階的に接続の作成と設定を行います。

- サービス プロバイダへの接続
- 発信元
- 電子メール サービス
- Web サービス

HP ダイヤルアップで設定した内容は、[リモート ネットワーク]、[受信トレイ]、[Internet Explorer] などいくつかのプログラムで使用します。

### HP ダイヤルアップを起動する



HP ダイヤルアップを起動するには

- jornada のデスクトップで、HP ダイヤルアップ アイコンをダブルタップします。

  または

  [スタート] メニューから、[プログラム] – [HP アプリケーション] – [HP ダイヤルアップ] の順にタップします。



すでに接続を作成してある場合は、サービス プロバイダに接続したり、あるいは接続や発信元を追加または変更したりするのに、[接続] 画面を使用します。

## HP ダイヤルアップ セットアップ ウィザードを実行する

HP ダイヤルアップを最初に使用する場合は、[セットアップ ウィザード] 画面の指示に従って、インターネット サービス プロバイダや社内ネットワークへの接続を作成し、電子メールや Web サービスをセットアップします。セットアップ ウィザードでは、HP ダイヤルアップ ウィンドウのそれぞれのタブを、別々にセットアップします。




### サービス プロバイダ

同じサービス プロバイダに、いくつかの発信元から接続する場合は、それぞれの発信元設定を含むサービス プロバイダ 設定を 1 つだけ作成します。



## ドメイン

サービス プロバイダにログオンする際に、ドメインの明示が必要な場合は（例えば、Windows® NT® ネットワークに接続する場合)、[ ネットワーク ドメイン］チェック ボックスをオンにし、ドメイン名を入力します。

## インターネット サービス プロバイダ（ISP）

［サービス プロバイダ］にリストアップされている ISP をご利用になる場合は、まず ISP を選択し、次に最寄りのアクセス ポイントを使用できるように、国、都市を選択します。

ISP をリストから選択すると、国コード、エリア コード、電話番号のフィールドには自動的に値が表示されます。必要な場合は、値を変更することもできます。

社内ネットワークに接続したり、リストに記載されていない ISP を使用したりする場合は、[リスト以外］を選択し、国コード、エリア コード、サービス プロバイダの電話番号を該当する欄に直接入力します。

国名や都市名（エリア コード）がリストに記載されていない場合は、[世界時計］のデータベースを修正できます。[コントロール パネル］を開き、[世界時計］のアイコンをダブル タップします。[オプション］タブを開き、[追加］をタップします。ダイアログ ボックスの指示に従って、データベースに都市情報を追加します。





HP ダイアルアップは、世界各国で柔軟に接続が可能なように設計されております。しかしながら、一部日本のダイアル設定とは異なる部分があります。日本国内での詳細設定は付録 C をご覧ください。

## モデム設定

[ポート設定］のタブで、接続時に優先的に使用するポートを入力します（これらの設定が不明な場合は、サービス プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください)。

[呼び出しのオプション］タブで、呼び出しのキャンセルを設定し、ダイヤル文字列を追加するモデム コマンドがあれば入力します。さらに、一部 NTT DoCoMo 社製 PHS では、[発信音がしてからダイヤルする]の秒数を、58 秒以下に変更する必要があります。

## TCP/IP

[TCP/IP］をタップして、hp jornada の IP アドレスや、サービス プロバイダの DNS および WINS サーバーを設定します。

ISP が接続のたびに IP アドレスを割り当てる場合（動的接続）は、IP アドレスに［サーバーが割り当てた IP アドレス］を選択し、[ネーム サーバー設定］で［サーバーが割り当てたアドレス］を選択します。



ISP をリストから選択する場合は、IP アドレスの値が自動的に表示されます。

社内ネットワークに接続したり、リストに記載されていない ISP を使用したりする場合は、IP アドレスが必要です。詳細については、ISP またはネットワーク管理者にお問い合わせください。セットアップ ウィザードに戻るには、[OK］をタップします。

ソフトウェア圧縮と IP ヘッダ圧縮のオプションも指定できます。オプションを有効にすべきかどうかは、ISP に確認してください。



HP ダイヤルアップを使用して 1 つめのサービス プロバイダ設定を作成し、2 つめ以降を作成する場合は、HP ダイヤルアップの[サービス プロバイダ］タブで［新規］ボタンをタップします。次に、セットアップ ウィザードに従って、新規の ISP 接続を作成します。

## 電子メール サービス

ドロップ ダウン リストから、サービス プロバイダの電子メール プロトコルを選択します。[受信トレイ］は、POP3 と IMAP4 の両方のプロトコルをサポートしています。ただし POP3 の OpenMail はサポートしていません。

HP ダイヤルアップでは、多くの ISP で使用している設定を、デフォルトのオプションに指定しています。設定方法がわからない場合、または ISP から必要な情報が得られなかった場合は、デフォルトの設定を使用してください。



サービス プロバイダにログオンする際に、ドメインの明示が必要な場合は（例えば、Windows NT ネットワークに接続する場合）、[ネットワーク ドメイン］チェック ボックスをオンにし、ドメイン名を入力します。

サービス プロバイダによっては、受信メール（POP3 または IMAP4）サーバーと送信メール（SMTP）サーバーのアドレスが異なる場合もあります。

[接続のオプション］には、電子メール アカウントへの接続に関する様々な設定項目があります。

デフォルトの設定では、[受信トレイ］は、接続中 15 分ごとに新しいメッセージをチェックします。この設定や、その他の接続オプションを変更する場合は、[変更］をクリックして［接続のオプション］ダイアログ ボックスを開きます。

[受信トレイ] プログラムを使用して、後で接続設定やダウンロード設定を変更することもできます。詳しくは、受信トレイのヘルプを参照してください。



[ダウンロードのオプション] では、メッセージのヘッダーや全文、会議出席依頼、添付ファイルなどから、ダウンロードの対象を選択します。デフォルトの設定では、[受信トレイ] はメッセージのヘッダーとテキストの最初の 100 行、および添付ファイルをダウンロードします。設定を変更する場合は、[変更] をタップして [ダウンロードのオプション] ダイアログ ボックスを開きます。

## Web サービス

プロキシサーバーが必要な場合は、[プロキシサーバーを使用する] チェックボックスをオンにし、サーバーアドレスとポート番号を入力し、[次へ] をタップします。

社内ネットワークを介してインターネットに接続する場合、プロキシサーバーが必要な場合があります。プロキシサーバーが必要かどうか、また必要な場合のサーバーアドレスとポート設定についての情報は、ネットワーク管理者から得ることができます。



[スタートページ] : Web サービスに接続し、Internet Explorer を起動するとこのページが表示されます。インターネットあるいは会社のイントラネットから、ページを指定します。

[検索ページ]: Internet Explorer のツールバーで、[検索] ボタンをタップするとこのページが表示されます。

## 接続

[セットアップ ウィザード] を終了したら、HP ダイヤルアップで発信元、接続先を選択し、サービス プロバイダに接続します。また、HP ダイヤルアップを使用して、接続や、発信元や、電子メールあるいは Web サービスを、追加したり変更したりできます。

## 電話回線に接続する

ISP または LAN への接続設定が完了したら、次に電話コードを PC カード モデムに接続してダイヤルします。ここで説明する手順は、アナログ電話回線への接続方法です。PC カード モデムは、モデムが対応する電話回線に、モデムのマニュアルの指示に従って接続してください。

### アナログ電話回線を hp jornada に接続するには

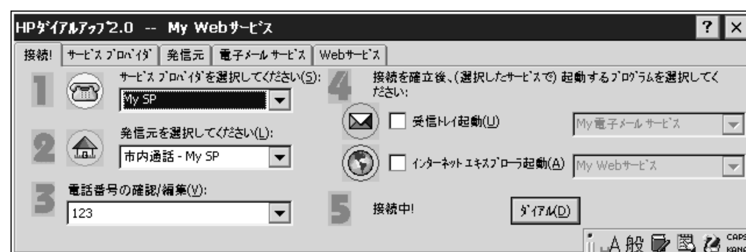
1. 電話コードの一端を電話用ジャックに接続します。
2. 電話コードのもう一端をPCカード モデムの電話用コネクタに接続します（モデムのマニュアルの指示に従ってください)。

## サービス プロバイダに接続する

### 接続を行うには



1. jornadaのデスクトップにある ［HPダイヤルアップ］アイコンをダブルタップします。




2. リストから、サービス プロバイダを選択します（サービス プロバイダとは、ISP あるいは会社のネットワークを指します)。
3. リストから発信元を選択します。
4. 電話番号ボックスに表示されたダイヤル文字列を、特別なダイヤル コード(例えば、外線番号や呼び出し待機を無効にするコード)も含めて確認します。

---

ダイヤル コードの詳細については、HP ダイヤルアップ オンラインヘルプの「ダイヤル文字列」を参照してください。また、日本国内での詳細設定は、付録 C もご覧ください。



---

5. 接続時に電子メールをチェックする場合は、［受信トレイの起動］チェック ボックスをオンにし、リストから電子メール サービスを選択します。ダイヤルアップ接続が確立すると、自動的に［受信トレイ］が起動し、新しいメールをダウンロードします。

6. Internet Explorer で Web あるいは会社のイントラネットを閲覧する場合は、[Internet Explorer の起動] チェックボックスをオンにし、Web サービスを選択します。ダイヤルアップ接続が確立すると、Internet Explorer が、この Web サービスに関連づけられたホームページを自動的に表示します。

7. [ダイヤル] をタップします。



HP ダイヤルアップを使って ISP に接続する場合、HP ダイヤルアップで設定した Web オプション設定が、Internet Explorer で設定したオプションに優先して使用されます。

ネットワークに接続したら、受信トレイを使って電子メールの送受信を行ったり、Internet Explorer で Web をブラウズしたりします (詳しくは、この章の「電子メールを送信、受信、処理する」、および「MS Internet Explorer 4.01 for H/PC で Web または社内イントラネットをブラウズする」を参照してください)。



同期の途中や、同期は完了してもまだデスクトップ PC に接続されていて、オートダイヤルのオプションが有効の場合、ダイヤルアップ接続ができません。接続するには、デスクトップ PC との接続を切断する必要があります。

### ISP またはダイヤルアップ LAN 接続を切断するには

1. タスクバーのステータス領域に表示される [接続] アイコンをダブルタップします。

2. [HP ダイヤルアップ] ウィンドウで、[切断] をタップします。

[接続] アイコンがタスクバーに表示されている間は、hp jornada とサービス プロバイダとの接続は続いています。ご使用時以外はサービス プロバイダとの接続を解除し、モデムの電話線を外しておいてください。



HP ダイヤルアップを使ってすでに接続プロファイルを作成している場合、他の接続プロファイルを追加するには、[HP ダイヤルアップ] ウィンドウの [サービス プロバイダ] タブで [新規] ボタンをタップします。

## ネットワーク インタフェース カード（NIC）で会社の電子メールとネットワーク リソースに直接接続する

hp jornada を直接 LAN に接続するには NIC を使う必要があります。NIC は PC カード アクセサリと同様に複数のメーカーから発売されています (推奨するネットワーク インタフェース カードについては、HP Web サイト www.jpn.hp.com/hho/jornada にある一覧を参照してください)。hp

jornada の PC カード スロットに NIC を挿入し、カードのマニュアルの指示に従って、ネットワーク ケーブルを取り付けます。

NIC を使用するには、適切なドライバ ソフトウェアをインストールして設定を行う必要があります。次の LAN カード用のドライバは hp jornada にあらかじめインストールされています。

Socket LP-E LAN カード

Proxim RangeLAN2 無線 LAN カード

NE2000 互換 LAN カード

その他のカードのドライバは、カードの製造元から入手してください。ドライバ ソフトウェアのインストールは、他の第三者の開発したプログラムのインストールと同様の方法で行います (詳しくは、第 7 章の「プログラムをインストールする」を参照してください)。

## ネットワークのアカウントまたはゲストアクセス権を設定する

ネットワーク管理者に問い合わせて、社内ネットワークへのアカウントまたはゲストアクセス権をセットアップします。ユーザー名、パスワード、ドメイン名、IP アドレス（必要な場合）など、ログオンに必要な情報はネットワーク管理者から入手します。

ネットワーク管理者から入手した情報を使って、[コントロール パネル] の［ネットワーク］で NIC を設定します。

### NIC を設定するには

1. [スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップします。
2. [ネットワーク] アイコンをダブルタップします。[ネットワークの設定] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [アダプタ] タブでドライバまたはアダプタを選択し、[プロパティ] をタップします。どの設定を使用したらよいかわからない場合は、社内のネットワーク管理者に確認してください。
4. [ユーザー情報] タブで、ユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力します。この情報は hp jornada に保存されるので、ネットワーク リソースに接続するたびに入力しなおす必要はありません。

## ネットワーク ケーブルを接続し、ログオンする

NIC をネットワーク ケーブルに接続します。手順については PC カードのマニュアルの指示に従ってください。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねください。

### hp jornada からネットワークにログオンするには

1. hp jornada の PC カード スロットに NIC を挿入し、ネットワーク ケーブルを接続します。自動的にネットワークとの接続が確立します。
2. 接続と同時にタスクバーのステータス領域に［接続］アイコンが現れます（詳しくは、第 7 章の「PC カードを挿入する」を参照してください）。

hp jornada がネットワークに接続した後、ネットワーク ファイル サーバーのファイルにアクセスするには、Windows Explorer アドレス バーにファイルへのフルパスを入力します。

### ネットワーク上のファイルにアクセスするには

1. ［スタート］–［プログラム］をポイントし、［Windows エクスプローラ］をタップします。
2. アドレス バーが表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、［表示］メニューの［アドレス バー］をチェックします。
3. ネットワーク上にある開きたいファイルへのフルパスを、アドレス バーに入力します。形式は、file:///servername/share/filenameです。






Windows エクスプローラには、最近使ったインターネットおよびネットワーク リソースのリストが保持されるので、同じパスを毎回入力する必要はありません。ネットワーク パスまたは URL をドロップダウン リストから選択してください。

## 接続の作成と変更を行う

hp jornada では複数の接続を作成できるので、たとえば個人用の電子メールにアクセスする場合と、ネットワークにアクセスする場合で別の設定を作成できます。電子メールやインターネット、ネットワーク接続の最初のセットアップが完了したら、HP ダイヤルアップでダイヤルする電話番号や発信元を変更するなどして、別の接続を作成します。既存の接続を編集して別の接続を作成することもできます。

### 別の接続先または発信元を作成するには



1. デスクトップにある［HP ダイヤルアップ］アイコンをダブルタップします。［HP ダイヤルアップ］ウィンドウが表示されます。追加する接続先または発信元のタブを選択します。
2. サービス名のリスト ボックスで［新規］をタップして、追加する接続先または発信元のセットアップ ウィザードを起動し、プロンプトに従って情報を入力し、新しいサービスを作成します。
3. すべて終了したら、［終了］をタップします。新しい接続先または発信元が、［HP ダイヤルアップ］ウィンドウの［サービス］タブに表示されます。

### 既存の接続先または発信元を変更するには



1. デスクトップにある［HP ダイヤルアップ］アイコンをダブルタップします。
2. 変更する接続先または発信元を選択します。
3. ［変更］をタップすると、セットアップ ウィザードが起動し、セットアップ画面の指示に従って情報を変更できます。

   または

   選択したタブの入力ボックスで、値を直接変更します。
4. ［HP ダイヤルアップ］ウィンドウを終了すると、変更が自動的に保存されます。

［発信元］タブの［新規］をタップしても、セットアップ ウィザードは起動しません。［新規］をクリックすると、［呼び出しのプレフィックス］の値だけが変わります。



## HP ダイヤルアップを使わずに接続を作成する

ISP またはネットワークへの接続は、必要なプログラムを手動で設定して作成することも可能です。ダイヤルアップの前に、以下の準備が必要です。

- PC カード モデムのインストールおよび設定を行う。インストールおよび設定は、モデム製造元のマニュアルに従ってください。
- ISP または社内のネットワーク管理者からアカウントを取得する（社内ネットワークへのリモートアクセス用)。本章で前述した情報を参考にしてください。
- リモート ネットワークの接続をセットアップする

- ダイヤル パターンと発信元を設定する
- 受信トレイおよび Internet Explorer の Web サービスで電子メール サービスをセットアップする。詳しくは、本章の「受信トレイを使う」、「MS Internet Explorer for H/PC を使って Web やイントラネットをブラウズする」を参照してください。
- hp jornada を電話線に接続する



## リモート ネットワーク接続をセットアップするには

1. PC カード モデムをインストールして使用します。
2. ダイヤルアップのための電話番号、ユーザー名、パスワード、ドメイン名などを ISP またはネットワーク管理者から取得します。
3. [スタート] – [プログラム] – [通信] をポイントし、次に [リモート ネットワーク] をタップします。
4. [新しい接続] アイコンをダブルタップします。[新しい接続] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. 接続名を、たとえば「会社用ダイヤルアップ」のように入力し、[ダイヤルアップ接続] – [次へ] をタップします。

* モデムを別途購入する必要があります。Web サイト/コンテンツによっては、提供されていないものもあります。

6. モデムの種類一覧から使用するモデムの種類を選択します。[設定] または [TCP/IP の設定] ダイアログ ボックスの設定を変更する必要はありません (設定内容がよくわからなければ、ネットワーク管理者に確認してください)。選択したら、[次へ] をタップします。
7. ダイヤルアップする電話番号を入力して、[終了] をタップします。

一度ダイヤルアップ接続を作成したら、いつでも必要なときにその接続先をダブルタップし、ユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力し、[接続] をタップするだけでアクセスできます。

接続したら、Internet Explorer で Web をブラウズしたり、受信トレイを使って電子メールを送受信できます。受信トレイを使う前に、電子メール サービスをセットアップしておいてください。セットアップの方法はこの章後半の「受信トレイを使う」で説明します。



リモート ネットワーク接続の発信元を設定するには、[リモート ネットワーク] フォルダで使用する接続のアイコンをダブルタップします。[ダイヤルアップ接続] ダイアログ ボックスが表示されるので、[ダイヤルのプロパティ] をタップし、HP ダイヤルアップを使って、ネットワーク接続、ISP 接続の発信元を入力します。

# 接続を使う

使用環境に最も適した接続のセットアップが完了したら、いつでも電子メール、インターネットに接続できます。

## 受信トレイを使う

hp jornada でインターネット メールを送受信するには、受信トレイを使います。リモート ダイヤルアップ（モデム使用）または直接接続（NIC 使用）で社内のイントラネット間でのメールの送受信も可能です。

Microsoft ActiveSync では、デスクトップ PC の Microsoft Outlook、または Microsoft Exchange の情報を hp jornada と同期させることができます。Microsoft ActiveSync は同期のたびに hp jornada とデスクトップ PC との変更点を比較し、両方とも更新します。受信ボックスにあるメッセージの変更もこのプロセスに含まれます。詳しくは、第 3 章の「デスクトップ PC に接続する」、またはオンライン ヘルプを参照してください。



受信トレイ サービスは、HP ダイヤルアップ アプリケーションによって自動的にセットアップされますが、受信トレイ内で、手動でセットアップすることもできます。

### 電子メール サービスをセットアップするには

1. [スタート] – [プログラム] – [Pocket Outlook] をポイントします。[受信トレイ] をタップします。
2. [サービス] メニューの [受信トレイ] で [オプション] をタップします。
3. [サービス] タブで [追加] をタップします。
4. [メール サービス] セットアップ ウィザードの指示に従って、メール サービスのセットアップを行います。3 つのセットアップ画面で、適宜に情報を入力していきます（詳細については、受信トレイのオンライン ヘルプを参照してください）。
5. [終了] をタップして、新しいサービスのセットアップを完了します。電子メール サービスの作成が初めての場合、[アドレス発行を有効にする] ダイアログ ボックスで [いいえ] をクリックします。



[受信トレイ] の設定の詳細については、この章後半の「受信トレイの設定」を参照してください。



## 電子メールの送信、受信、処理を行う

メッセージの送信方法としては、ダイヤルアップ接続で hp jornada から直接送信する方法と、受信トレイの同期により hp jornada で作成したメッセージをデスクトップ PC から送信する方法があります（第 3 章の「データを同期する」を参照してください）。

hp jornada から直接メッセージを送信する場合、まず ISP またはネットワークに接続して、電子メール サービスをセットアップしておく必要があります。HP ダイヤルアップ アプリケーションを使えば、接続や電子メール サービスのセットアップを同時に行うことができます。また、[リモート ネットワーク] を使って接続を新しく作成し、受信トレイで電子メール サービスをセットアップすることも可能です。

接続や電子メール サービスの設定が終了すれば、受信トレイを使ってサービス プロバイダに接続し、電子メールをダウンロードできます。

### 受信トレイからサービス プロバイダに接続するには

1. [サービス] メニューでダイヤルする接続名をタップし、再度 [サービス] メニューを開き、[接続] をタップします。
2. 必要に応じて、ユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力します。
3. 発信元を変更するには、[ダイヤルのプロパティ] をタップします。
4. [接続] をタップします。接続状況を示すメッセージが表示されます。接続が確立したら、メールの送受信を行います。



デスクトップ PC (パートナー) の電子メール サービスが Outlook や Exchange 以外を使用している場合（例えば、電子メールのクライアントが Lotus Notes の場合）でも、ほとんどの電子メール サービスに接続して、hp jornada にメッセージをダウンロードできます。ただし、デスクトップ PC の受信トレイと同期できるのは、デスクトップ PC がメール クライアントに Outlook か Exchange を使用している場合だけです。hp jornada は、POP3 OpenMail アカウントでの電子メールへのアクセスはサポートしていません。メールサーバーの情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 受信トレイの設定

メール サーバーに接続すると、hp jornada とメール サーバーのメッセージが同期されます。つまり、新しいメッセージまたはメッセージ ヘッダーが hp jornada の受信トレイ フォルダにダウンロードされ、hp jornada

の送信トレイ フォルダにあったメッセージがサーバーに送信されて、続いて受信トレイから削除されたメッセージがサーバーからも削除されます。

ダウンロードの対象は選択できます。

- 受信トレイでは、すべてのメッセージをダウンロードするように設定することも、新しいメッセージのヘッダーだけをダウンロードするように設定することもできます。
- メッセージのヘッダーだけをダウンロードする方が、接続時間の短縮ばかりでなく、hp jornada のデータ記憶メモリの節約にもなります。
- デフォルトでは、過去 3 日間のメッセージだけがダウンロードされます。
- デフォルトでは、メッセージ ヘッダーと最初の 100 行だけがダウンロードされ、オリジナルのメッセージはメール サーバーにそのまま残されます。メッセージ ヘッダーを読んでメッセージの全文をダウンロードすることに決めたら、［受信トレイ］ツールバーの［全文をサーバーからコピー］ボタンをタップします。次の接続時にメッセージの全文がダウンロードされます。

### デフォルトの設定を変更したり、添付ファイルや会議出席依頼をダウンロードするかどうかを設定するには

1. ［サービス］メニューの［オプション］をタップし、変更したいサービスを選択して［プロパティ］をタップします。
2. ［電子メール サービス定義］ダイアログには、［必要］と［オプション］の、2 つのパネルが表示されます。選択したサービスに、オプションを設定します。

## 添付ファイル

Pocket Word ファイルなどの添付ファイルを送信する場合は、受信者がその形式のファイルを開けるかどうかを確認してから行ってください。Pocket Word ファイル（.pwd）を開けるのは、hp jornada などの H/PC 2000 デバイスだけです。確認できない場合は、ファイルを.txt または.rtf で保存するか、Word ファイル（.doc）で保存します。各プログラムに関連するファイル形式について詳しくは、第 5 章の「Pocket Office」を参照してください。

受信トレイは添付バイナリ ファイルをエンコードする MIME をサポートしていますが、送信者と受信者側のメール サーバーが両方とも MIME をサポートしているかどうか確認する必要があります。もしもお使いのサーバーが MIME エンコードをサポートしていない場合、受信した添付ファイルが破損したり、hp jornada 自体がフリーズしたりする可能性があります。



添付ファイルの送受信中に問題が発生した場合や、お使いのメール サーバーが MIME をサポートしているかどうか不明な場合は、ISP またはネットワーク管理者までお問い合わせください。

デフォルトでは、受信トレイは MIME を使って添付ファイルを送信します。MIME エンコードを無効にするには、[サービス] - [オプション] をタップし、サービスを選択し、[プロパティ] – [次へ] をタップし、続いて [MIME 形式で送信] チェックボックスをオフにします。

添付メールの表示や送信に関する設定について詳しくは、オンライン ヘルプの「受信トレイ」を参照してください。

メッセージと一緒に添付ファイルもダウンロードするように設定する場合は、hp jornada またはメモリ カードに保存できます。メモリ カードに自動的に保存するように設定すると、メモリを節約できます。

### 添付ファイルをメモリ カードに自動保存するには

1. [サービス] メニューで [オプション] をタップします。
2. [保存場所] タブで、[外部メモリ カード] ラジオボタンを選択します。[OK] をタップします。

### メッセージの削除

受信トレイのメッセージを削除すると、そのメッセージはサービス プロバイダの電子メール サーバーからも削除されます。接続していない状態でメッセージを削除すると、次回接続時にサーバーから削除されます。

メッセージの削除はやり直しできません。削除されたメッセージはごみ箱には移動されないため、復元することは不可能です。

メッセージを削除すると、添付ファイルもすべて削除されます。メッセージを削除する前に添付ファイルを保存しておくには、作成元のプログラム (Pocket Word) でそのファイルを開いて [ファイル] メニューの [名前を付けて保存] をタップします。詳しくは、オンライン ヘルプを参照してください。

## Microsoft Internet Explorer 4.01 for H/PC で Web またはイントラネットをブラウズする

hp jornada では、MS Internet Explorer for H/PC を使って Web または社内のイントラネットをブラウズできます。Internet Explorer を使うと、hp jornada 上で Web サイトをそのまま直接表示できます。必要な書類を社内イントラネットからダウンロードして、後で使えるように保存したり、

オフライン時に読めるように、お好みのニュース ページを保存しておくのもよいでしょう。

ISP または社内ネットワーク アカウントで、オンライン接続のセットアップを行ったら、ダイヤルアップ接続して Web またはイントラネットのブラウズを開始できます。Pocket Internet Explorer では、使用のたびに、あらかじめ作成した接続先に自動的にダイヤルするように設定することもできます。



ISP またはネットワーク接続をまだ作成していない場合は、Web をブラウズするために、サービス プロバイダをセットアップする必要があります。接続をセットアップするには、[HP ダイヤルアップ] または [リモート ネットワーク] を使用します ([リモート ネットワーク] を使用する場合は、この章の「HP ダイヤルアップを使わずに接続を作成する」を参照してください)。

HP ダイヤルアップを使って Web サービスをセットアップする場合、接続ごとにそれぞれ異なるブラウズ オプションや接続オプションを設定できます。HP ダイヤルアップで設定したオプションは、Web ページの表示方法に反映されます。

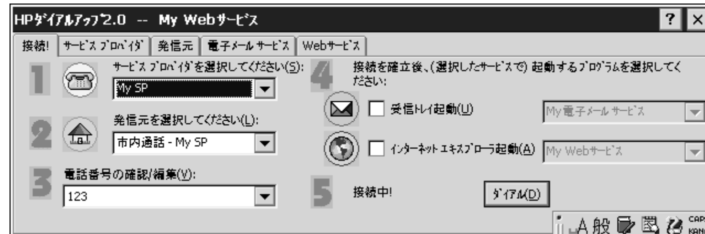
### MS Internet Explorer for H/PC で接続情報を設定または編集するには



1. Internet Explorer の [表示] メニューで [インターネット オプション] をタップします。
2. [オート ダイヤル] の [接続] タブで [オート ダイヤルを使用する] チェックボックスをタップします。
3. ダイヤルアップ ネットワーク接続を選択します。
4. 指定した時間アイドル状態が続くと自動的にインターネットの接続を切断するように設定するには、[自動切断] チェックボックスをオンにします。
5. ネットワークのプロキシサーバーを使用する必要があれば、[プロキシサーバーを使用する] をタップし、サーバー アドレスを入力します。
6. その他の[インターネット オプション] タブを使用して、[デフォルトのページ]、[キャッシュ]、[ヒストリ]、[セキュリティ]、[詳細機能] などを設定します。
7. 終了したら、[OK] をタップして変更を保存します。

Internet Explorer でオートダイヤルを設定すると、プログラムを開始して Web サイトのアドレスを入力するだけでインターネットに接続できます (その前に、電話線が正しく接続されていることを確認してください)。Internet Explorer の開始とダイヤルアップを連動させたくない場合は、[オートダイヤル] オプションを解除し

ます。HP ダイヤルアップを使って接続するには、以下の手順で行います。






## Web または会社のイントラネットをブラウズするには

1. デスクトップにある［HP ダイヤルアップ］アイコンをダブルタップします。［HP ダイヤルアップ］ウィンドウが表示されます。
2. ドロップダウン ボックスからネットワーク サービス プロバイダと発信元を選択します。
3. ［Internet Explorer を起動］チェック ボックスをオンにします。
4. 電話番号を確認し、［ダイヤル］をタップします。進行状況を示すメッセージにより、ISP に接続されたことがわかります。接続が確立するとタスクバーにアイコンが現れ、接続中はそこに表示されています。
5. Internet Explorer が自動的に起動し、Web または会社のイントラネットをブラウズする準備が整います。



HP ダイヤルアップを使わずに接続を作成した場合は、［リモート ネットワーク］で使用する接続を起動する必要があります。［スタート］–［プログラム］–［通信］をポイントし、［リモート ネットワーク］をタップします。次に、［リモート ネットワーク］フォルダで、使用する接続のアイコンをダブルタップします。［接続］をタップしてダイヤルを開始します。

Microsoft Internet Explorer for Handheld PC は、デスクトップ PC 用の Web ブラウザ Microsoft Internet Explorer の優れた機能に基づいて、コンパクトな hp jornada ハンドヘルド PC で効率的に機能するように設計されています。

hp jornada は、ほとんどのアニメーションおよびグラフィカルな要素を表示しますが、サードパーティのアニメーションやグラフィックの中には、静止画として 1 枚だけ表示されるものや、まっ

たく表示されないものもあります。また、ActiveX コントロールやプラグインが必要な Web ページは、表示できない場合があります。

---

MS Internet Explorer 4.01 for H/PC の機能、設定、カスタマイズの詳細については、広範な情報を含む、コンテクストに応じたオンライン ヘルプを参照してください。



---

# 7 | hp jornada のカスタマイズ

この章では、コントロール パネルや HP ユーティリティを用いて、hp jornada をカスタマイズする方法や、ソフトウェアやアクセサリを追加して機能拡張する方法などを詳しく説明します。この他にも、hp jornada を出張や旅行に携帯するとき、盗難もしくは紛失から守るためのアドバイスも提供します。これらのアドバイスを参考にして、hp jornada をより効率的に、また一層楽しく快適に使いこなしてください。

この章では、次のようなことを学習します。

- hp jornada の機能拡張: プログラム、フォント、サウンド、壁紙などを追加する
- アクセサリの使用: CompactFlash カード、PC カード、Smart カードを使用し、hp jornada のデータ記憶メモリを拡張し、セキュリティとパワーを向上させる
- メモリの管理: データ記憶メモリとプログラム用メモリの割り当てをし直してパフォーマンスを最適化する
- バッテリの管理: バッテリの交換方法と寿命を長く保つための効果的な使用
- パフォーマンスの最適化: コントロール パネルを使って、HP ホットキーのカスタマイズや一般的なシステム設定など、様々なオプションを設定する
- hp jornada を携帯する: 携行品リストをはじめ、hp jornada を外出先で使用しやすいように最適化するためのアドバイス
- hp jornada を保護する: hp jornada を盗難やデータ紛失から守る

## プログラム、フォント、サウンド、画像を追加する

ここでは、hp jornada にソフトウェアを追加して、機能を拡張する方法、また MS Windows for H/PC 2000 のデスクトップや作業環境をカスタマイズする方法について説明します。

# プログラムをインストールする

サードパーティ製のソフトウェアをインストールすると、hp jornada の機能がより一層充実します。MS Windows for H/PC 2000 用のプログラムには、カスタム ビジネス アプリケーションからシステム ユーティリティ、ゲーム、娯楽製品まで、多種多様な製品が揃っています。また付属の Microsoft ActiveSync コンパクトディスクにもいくつかのプログラムが収録されています。



Windows 95/98/NT/2000 用のプログラムや、Pocket PC のような他の Windows モバイル プラットフォーム用のプログラムを hp jornada で使うことはできません。hp jornada で使用できるのは、MS Windows for H/PC 2000 用のプログラムだけです。

標準添付品の hp jornada CD-ROM には、次のような生産性向上プログラムが用意されています

- **MusicMatch® Jukebox**：デスクトップ PC でデジタル サウンドを録音、整理および再生するためのソフトウェア。
- **D Money**:jornada 対応お小遣い張ソフトウェア（D Collection 製）
- **PictureShot**：デジタルカメラで撮った画像表示ソフトウェア
- **HP モバイル辞書**：英和・和英辞書

jornada Web サイトでは、この他に Web のさまざまな H/PC に関するリソースへのリンクや hp jornada の幅広いアクセサリに関する情報が掲載されています。



hp jornada Web サイトにアクセスするには、[お気に入り] メニューで [hp jornada 700 シリーズ Web サイト] を選択するか、alt キーと ホットキー (Internet Explorer ホットキー) を同時に押します。

（ご注意：Internet Explorer をご使用の際、スプラッシュ スクリーンまたは IE のお気に入り画面において、ご使用の機種とは関係なく、**hp jornada 720**, というラベルが表示されることがあります。これらのリンクは、**hp jornada Web** サイトにリンクしており、お持ちの機種のオンライン リソースに簡単にアクセスすることができます。）

hp jornada にソフトウェアをインストールするには、最初にデスクトップ PC に目的のソフトウェアのインストール用ファイルをロードします。インストール手順は次のとおりです。



PC への直接インストールに対応しているプログラムの場合、Web からプログラムを直接 hp jornada にダウンロードできるものがあります。プログラムのインストール方法については、プログラムの開発者の Web サイトをご覧ください。

## ソフトウェアをインストールするには

1. hp jornada の StrongARM SA111X プロセッサ互換のプログラムを捜します。



必ず、hp jornada の StrongARM SA111X 用に設計されたプログラムを選択してください。

2. プログラムをデスクトップ PC にダウンロードします。

   または

   プログラムの入った CD またはフロッピー ディスクを挿入します。

3. hp jornada とデスクトップ PC を接続します。
4. *.exe ファイルをダブルクリックします。

- プログラムにインストーラ（通常 Setup.exe または Install.exe という名前が付いている）が含まれている場合は、デスクトップ PC で、インストーラ プログラムをダブルクリックすると、インストールのウィザードが始まります。画面の指示に従ってください。デスクトップ PC にソフトウェアがインストールされると、インストーラは hp jornada にソフトウェアを自動的に転送します。
- プログラムに専用のインストーラまたはセットアップ プログラムが含まれていない場合は、プログラム ファイル（通常、*.exe ファイル）を［モバイル デバイス］ウィンドウの ［hp jornada］アイコンにドラッグします。

5. インストール中に、hp jornada のリセットを求められたら、hp jornada のソフト リセットを行います。詳しくは、第 8 章の「リセットする」を参照してください。



［モバイル デバイス］ウィンドウにドラッグしてソフトウェアをインストールする方法は、インストーラがないときだけ選択してください。この方法でインストールしたソフトウェアは、アプリケーションの削除一覧には表示されないので、削除するときは、手動で行わなければなりません。

インストールしたプログラムの削除と再インストールは、ActiveSync の［プログラム追加/削除］ツールで行います。hp jornada のデータ記憶用メモリに余裕がない場合は、［プログラム追加/削除］を使って、使わなくなったプログラムや使用頻度の少ないプログラムを一時的に削除すると、空き容量を増やせます。

### [プログラム追加/削除] でプログラムを追加または削除するには

1. hp jornada をデスクトップ PC に接続し、[ActiveSync] ウィンドウを開きます。
2. [ActiveSync] ウィンドウの [ツール] メニューで、[プログラム追加/削除] をクリックします。
3. プログラムのリストで、インストールしたいプログラムの隣にあるチェックボックスをオンにします。または、削除したいプログラムのチェックボックスをオフにします。
4. 削除したいプログラムがリスト中にない場合は、手動で削除しなければなりません。

## プログラムを削除する

[プログラム追加/削除] (デスクトップ PC) または hp jornada の [コントロール パネル] の [アプリケーションの削除] でプログラムを削除します。

### [アプリケーションの削除] コントロール パネルで hp jornada からプログラムを削除するには

1. [スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップします。
2. [アプリケーションの削除] アイコンをダブルタップします。
3. プログラム一覧から削除するプログラムを選択します。
4. [削除] をクリックします。



ROM に格納されているプログラムは削除できません (これらのプログラムについては、第 1 章の「hp jornada 内蔵のプログラム」を参照してください)。

# フォントを追加する

hp jornada には、様々なフォントが組み込まれていますが、Pocket Word の文書や Pocket Excel のスプレッドシート用に、Windows フォント (.fon ファイル) や TrueType フォント (.ttf ファイル) を追加できます。ただし、フォントはデータ記憶用メモリを大量に消費するので、使用するフォントだけをインストールし、必要のないフォントは削除してください (組み込みフォントは削除できません)。

### フォントを追加するには

1. hp jornada をデスクトップ PC に接続し、Microsoft ActiveSync を起動します。
2. デスクトップ PC の Windows エクスプローラで、コピーするフォント ファイルを選択します。
3. フォント ファイルを hp jornada の Windows フォント フォルダにドラッグします。Windows フォントをコピーする場合は、ポイントのサイズとスタイルも指定します。

## サウンドを追加する

hp jornada ではサウンド（.wav ファイル）を再生できます。Wave サウンド ファイルは、ファイルの変換なしにデスクトップ PC から hp jornada へコピーできます。サウンド設定ファイル、またはアラームやリマインダの合図としてサウンドを使用する場合は、hp jornada の Windows フォルダにサウンドファイルをコピーします。詳しくは、オンライン ヘルプの「アラームを設定する」を参照してください)。

## デスクトップの壁紙を追加する

hp jornada は、65,536 色のビットマップ画像（.bmp ファイル）または MS Windows for H/PC 2000 ビットマップ（.2bp ファイル）を表示できます。ビットマップ画像は、ファイルの変換なしにデスクトップ PC から hp jornada へコピーできます。コピーした画像は、MS Windows for H/PC 2000 の壁紙として使用できます。

### デスクトップの壁紙を追加するには

1. hp jornada をデスクトップ PC に接続し、[Microsoft ActiveSync] を起動します。
2. デスクトップ PC に保存されているコピー元のビットマップ画像を [モバイル デバイス] ウィンドウの hp jornada アイコンにドラッグします。
3. hp jornada で、[スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップします。
4. [画面] アイコンをダブルタップします。
5. [背景] タブで [参照] をタップし、背景に表示するビットマップ画像を選択します。

# アクセサリ

hp jornada 用に、次のようなアクセサリをオプションで用意しています(部品番号はカッコ内を参照)。サポートするアクセサリに関する最新情報は HP Web サイト（www.jpn.hp.com/hho/jornada）をご覧ください。

- シリアル PC 接続ケーブル（HP F1258A): hp jornada を、Windows 95/98/2000/NT を搭載したデスクトップ PC のシリアル通信ポートに接続します。
- ドッキング クレードル（HP F1822A): シリアル ポート (Windows95/98/2000/NT 搭載の場合)、あるいは USB ポート（Windows 98/2000 搭載の場合のみ）を介して、PC パートナーにすぐ接続できます。シリアル PC 接続ケーブルおよび USB ケーブル付属
- AC アダプタ（HP F1279B): 各種電圧に対応したアダプタで、世界中どこでも AC 電源に接続できます。
- 標準バッテリ（HP F1281A): 充電式リチウム イオン バッテリで、バッテリ寿命は最大１０￥時間です（使用方法によって異なります)。
- 長時間バッテリ（HP F1840A): 充電式の大容量のリチウム イオン バッテリで、バッテリ寿命は最大 24 時間です（使用方法によって異なります)。
- 外付けバッテリ チャージャ（HP F1841A): hp jornada と拡張バッテリの充電を同時に行います（拡張バッテリ別売)。
- レザー ケース（HP F1227A): hp jornada 用のスマートな収納ケース
- パラレル プリンタ ケーブル（HP F1274A): PCL3 プリンタとの接続用（推奨プリンタについては、HP Web サイト（www.jpn.hp.com/hho/jornada）をご覧ください)。
- HP VGA 出力 PC カード（HP F1252A): 外部モニタやプロジェクタに接続して hp jornada からプレゼンテーションを行えます。
- シリアル アダプタ（HP F1295A): 標準の 9 ピン インタフェース
- スタイラス ペン ペン（HP　F1842A): スタイラス ペンを紛失または破損した場合の交換品

## PC カード、CompactFlash カード、Smart カードを使う

PC カードや CompactFlash カード、 および Smart カードを使用することによって、メモリやリムーバブル ストレージの追加、外部モニタやネットワークへの接続、データのセキュリティやユーザー認証など、様々な機能を拡張できます。推奨される互換カードについては、hp jornada Web サイト(www.jpn.hp.com/hho/jornada）に掲載の一覧を参照してください。

拡張カードなどを使用する前に、そのカードに適したソフトウェア ドライバをインストールする必要があります。MS Windows for H/PC 2000 用

のソフトウェア ドライバは、カード製造元か、カード製造元から入手できます。ドライバのインストール方法は、他のソフトウェアやプログラムなどのインストール方法と同じです。詳しくは、この章の「プログラムをインストールする」を参照してください。



メモリ カード以外の CompactFlash カード(ネットワーク インタフェース カード、モデム カードなど)をインストールする場合、ケーブル接続が必要です。また、これらのカードは、CompactFlash カード用スロットではなく、PC カード用スロットに装着するのでご注意ください。そのためには、PC カード アダプタが必要です。、

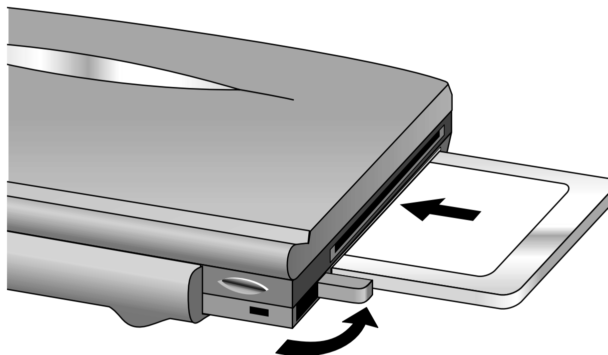
## PC カードや、CompactFlash カード、または Smart カードを装着する

hp jornada では、PC カード、CompactFlash カード、および Smart カードを、別々に、あるいは組み合わせて使用できます。

PC カードの多くは大量に電力を消費し、急速にバッテリを消耗させるので、PC カード使用中は AC 電源に接続してください。



PC カードと CompactFlash メモリ カードは、 マイ ハンドヘルド PC フォルダに、フォルダの形で表示されます。両カードともインストールした場合は、挿入された順にフォルダが表示されます。場合によっては、別のフォルダが表示されます。未使用のフォルダはソフトウェア リセットを行って削除することができます(詳しくは、第 8 章の「リセットする」を参照してください)。



hp jornada に PC カードを装着するところ。曲がった矢印はリリース タブを示す

# PC カード、CompactFlash カード、および Smart カードを使用する

hp jornada は、PC カード スロット、CompactFlash カード コンパートメント、および Smart カード リーダースロットを装備しているので、拡張性に優れており、多目的に使用できます。PC カード、CompactFlash カード、Smart カードは、それぞれ個別に装着することも、すべて同時に装着することもできます。

## PC カード

PC カードは、hp jornada 左側面のスロットに装着します。

### PC カードを装着するには

- カードの表を上にして、PC カード スロットに注意深く差し込みます。

### PC カードを取り出すには

1. PC カード リリース タブを押します。スロットの開口部を塞がないようにしてください。スロットから PC カードがわずかに出ます。
2. PC カードの端を持って、スロットから完全に引き出します。厚みのある PC カード（PCMCIA I/O カードなど）の場合、やや引き出しにくいことがあります。
3. PC カード リリース タブを hp jornada の側面に収めます。

## Smart カード

Smart カード用のスロットは、hp jornada の左側面、PC カード スロットの上に位置しています。

hp jornada の Smart カードの使用方法については、hp jornada Web サイト (www.jpn.hp.com/hho/jornada)にアクセスしてください。



### Smart カードを装着するには

- カードの表を下にして、Smart カード リーダースロットに注意深く差し込みます。

### Smart カードを取り出すには

- Smart カードの端をしっかりと持ち、Smart カード リーダースロットからゆっくりと引き出します。

# CompactFlash カード

CompactFlash カードのスロットのドアは、hp jornada の底部、スタイラス ペン スロットのそばにあります。ドアを開けるには、表面に印刷された矢印の方向にラッチをスライドします。

## CompactFlash カードを装着するには

1. CompactFlash カード スロットのドア ラッチを、矢印の方向に指先でスライドすると、ドアが開きます。



2. CompactFlash カードをスロットに差し入れ、カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

CompactFlash カードをスロットに装着する時は、必ずコネクタ側から挿入し、カードの引き出し部（縁が高くなっている側）がドアを開けたとき表になるようにします。



3. CompactFlash カード スロットのドアを、カチッと音がするまで押して閉じます。

## CompactFlash カードを取り出すには

1. CompactFlash ドアのラッチを、矢印の方向に指先でスライドすると、ドアが開きます。
2. カードの上端の引き出し部（縁が高くなっている側）を指先でしっかりと持ち、カードをスロットからゆっくりと引き出します。

3. CompactFlash カード スロットのドアを、カチッと音がするまで押して閉じます。

PC カードや Smart カードや CompactFlash カードを装着したり、取り出したりする際には、必要以上の力を加えないでください。



# メモリを管理する

hp jornada のメモリは、データ記憶用とプログラム用に分けて割り当てられています。hp jornada では、総メモリ容量のどれくらいをデータ記憶用とプログラム実行用に使用するか指定できます。hp jornada の動作速度が遅くなったり、プログラムが途中で止まってしまったりした場合は、プログラム用メモリを増やしてみてください。ファイルや文書用のメモリが必要な場合は、データ記憶用メモリを増やします。

### メモリ割り当てを変更するには

1. 実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. [スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップします。
3. [システム] アイコンをダブルタップします。
4. [メモリ] タブを開きます。つまみを左側に移動するとプログラム実行時に使用されるメモリが増加し、右へ移動するとデータ記憶用のメモリが増加します。

システム メモリをリフレッシュするとより多くのメモリが使用可能になります。

### システム メモリをリフレッシュするには

1. すべての作業中の文書を閉じて、実行中のアプリケーションを終了します。
2. スタイラス ペンを使って、キーボード左側のリセット ボタンを押して、ソフト リセットを実行します（詳しくは、第 8 章の「リセットする」を参照してください）。

hp jornada のデスクトップにある「ごみ箱」の機能は、デスクトップ PC 上の「ごみ箱」と同じです。hp jornada で削除されたファイルは、ごみ箱に移されます。ただし、この中のファイルは、実際にごみ箱を空にするまでメモリからは削除されません。

ごみ箱用に割り当てるメモリを制限したり、ごみ箱に移動せずすぐにファイルを削除するようにオプションで設定することができます。

ごみ箱のオプションを設定するには

1. alt キーを押したまま、[ごみ箱] アイコンをタップします。
2. ポップアップ メニューで、[プロパティ] をタップします。

## メモリを節約するためのアドバイス

- 予定表データは 1、2 週間分、連絡先や仕事は必要な分だけを指定して同期を行う（詳しくは第 3 章の「データを選択して同期する」を参照してください）。
- 受信トレイでメッセージ ヘッダーだけをダウンロードし、添付文書までダウンロードしないように設定する（詳しくは、第 6 章の「受信トレイを使う」を参照してください）。
- アプリケーション マネージャを使って、不要なプログラムを削除する（この章の「プログラムをインストールする」を参照してください）。
- 不要なフォント、サウンド、壁紙は削除する
- 不要なファイルやボイス メモは削除する。またはデスクトップ PC に移して保存し直し、hp jornada からは削除する。

CompactFlash カードや PC カードを使って、データ記憶用メモリを増設できます。詳しくは、この章の「アクセサリ」を参照してください。



# バッテリを管理する

hp jornada に保存したデータとファイルは RAM に記憶されるので、hp jornada への電源供給が途切れないようにすることが非常に重要になります。電源が不足した状態で hp jornada を使用し続けると、入力した情報はすべて消失してしまいます。MS Windows for H/PC 2000 オペレーティング システムとプログラムは ROM に格納されているので消去されることはありませんが、後で追加したプログラムや既存のプログラムのカスタム設定は消失します。

PC カードまたは CompactFlash カードに保存されたデータは、電力の供給がなくなっても保持されます。大切なデータを守るためにも、HP バックアップを使って PC カードや CompactFlash カードに定期的にバックアップをとるようにしてください。



hp jornada は 2 種類のバッテリを装備しています。AC 電源に接続されていないときに電力を供給するのがメイン バッテリ、メイン バッテリの交換中など、メイン バッテリが装着されていないときに電源を供給するのがバックアップ バッテリです。

## メイン バッテリ

メイン バッテリは、hp jornada 標準の充電式のリチウムイオン バッテリパックです。メイン バッテリには、専用の標準バッテリ（HP F1281A）または hp jornada 拡張バッテリ（HP F1840A）のみご使用ください。これらのバッテリは、hp jornada 専用に設計されているため、他のデバイスの電源としては使用しないでください。

通常の操作環境でメイン バッテリが供給できる時間は、連続使用の場合で最大１０時間です。ただし、実際のバッテリ寿命は、画面の輝度、設定、使用アプリケーション、動作条件などによって異なります。メイン バッテリの残量が非常に少なくなると、hp jornada は自動的にシャットダウンします。この場合、メイン バッテリを交換するか、バッテリを充電するか、AC 電源に接続するまでは再起動できなくなります。

メイン バッテリを交換する際は、hp jornada の電源を入れる前に、新しいバッテリを充電しておく必要があります。メイン バッテリの充電について詳しくは、第 2 章の「AC アダプタを接続する」を参照してください。



メイン バッテリを取り外す前に、バックアップ バッテリの残量が十分にあるかどうか確認してください。バックアップ バッテリの残量が少なかったり、電源状況がよくわからない場合は、必ず AC 電源に接続してからメイン バッテリを取り外してください。

### メイン バッテリを交換するには

1. hp jornada の電源をオフにし、PC 接続ケーブルを取り外します（接続されている場合）。あるいは、ドッキング クレードルから取り外します 。
2. hp jornada 底面のバッテリ リリース タブをスライドさせ、バッテリ パックを取り出します。
3. 交換用のバッテリ パックを装着し、カチッというまでしっかりと押し込みます。

## バックアップ バッテリ

ボタン型リチウム イオンのバックアップ バッテリは hp jornada が通常操作を行うだけの電力を供給することはできません。メイン バッテリを充電するまでの間、データを保護するのがバックアップ バッテリの主な目的です（バッテリが消耗していなければ、最大 1 週間まで)。 バッテリ残量不足の警告メッセージが表示されたら、データの消失を防ぐため、すぐにメイン バッテリの充電を行ってください。



バックアップ バッテリは、必ずメイン バッテリを充電してから取り外してください。メイン バッテリの残量が少なかったり、電源の状況がよくわからない場合は、必ず AC 電源に接続してからバックアップ バッテリを取り外してください。

## バックアップ バッテリを交換するには

1. jornada を裏返しにして、CompactFlash ドアを開けます。
2. バックアップ バッテリ カバーを旋回させ、バックアップ バッテリにかからない位置に移動します。

   バックアップ バッテリの下にはスプリングがあります。取り外す時、バッテリを指で押さえて、コンパートメントから飛び出さないようにしてください。

3 スタイラス ペンか、またはその他の先端が鋭利でないものを隙間に差し込み、バックアップ バッテリをコンパートメントからそっと取り外します (スタイラス ペンやバッテリ コンパートメントを傷つけないよう、ご注意ください)。

4 バックアップ バッテリ カバーが開いていることを確認し、交換用のバッテリを、印刷面を上にしてバッテリ コンパートメントに挿入します。

5 バックアップ バッテリ カバーを閉じてバッテリを固定し、さらに CompactFlash ドアを閉じます。

---

バックアップ バッテリ カバーは、スタイラス ペンの先端を使って簡単に開閉できるようになっています。スタイラス ペンの先端をカバーの小さな穴に差し込んで旋回させると、すばやく開閉できます。

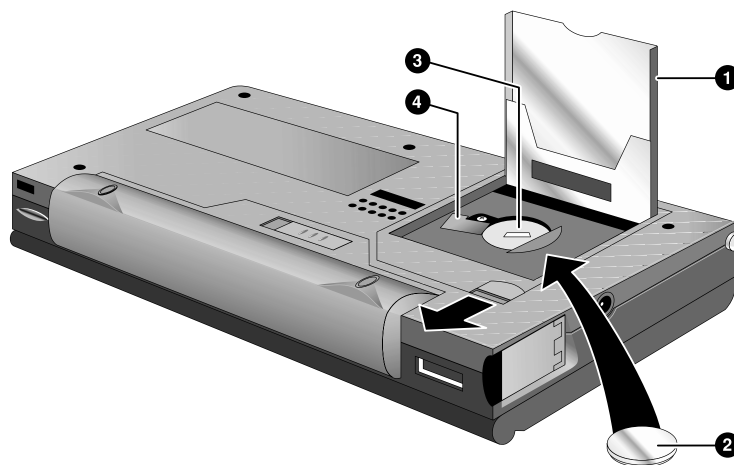


---

コンパートメントの損傷を防ぐため、CompactFlash ドアを閉じる前に、必ずバックアップ バッテリ カバーを閉じてください。



---



バックアップ バッテリの装着

1. CompactFlash ドア（開いた状態）
2. バックアップ バッテリ（3V CR2032 ボタン電池）
3. バックアップ バッテリ コンパートメント
4. バックアップ バッテリ カバー（開いた状態）



バッテリを分解したり、穴を空けたり、火中に投じたりしないでください。破裂したり、有害な化学物質が漏れ出すおそれがあります。バッテリはユーザーズ ガイドで推奨されている種類のものと交換してください。使用済みのバッテリを廃棄する際は、製造元の指示に従ってください。

## [電源] コントロール パネルを使用する

[電源] コントロール パネルでは、メイン バッテリとバックアップ バッテリの状況を確認したり、バッテリを長持ちさせるためのオプションを設定します。サスペンド、電源オン、自動のディスプレイ減光/オフなどの設定オプションがあります。

### [電源] コントロール パネルを開くには

- [スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップし、[電源] アイコンをダブルタップします。
  または
  タスクバーのステータス領域にある [電源の状況] アイコンをダブルタップします。



タスクバーの [電源の状況] アイコンは、バッテリの残量が少なかったり、外部電源に接続してメイン バッテリを充電中のときなど、ある特定の状況のときだけ現れます。

## バッテリの状況を確認する

[電源] コントロール パネルの [電源] では、hp jornada がバッテリで駆動しているか、または AC 電源に接続されているかどうかがわかるとともに、メイン バッテリとバックアップ バッテリの状況が表示されます。さらに、タスクバーのステータス領域の [バッテリ] アイコンにも、hp jornada が AC 電源とバッテリ電源のどちらで駆動しているか、また、メインバッテリの状況が表示されます。

| アイコン | 意味 |
|---|---|
| | AC 電源を使用中 |
| | バッテリ充電中 |
| | バッテリを使用中。メイン バッテリの残量が少ない |
| | バックアップ バッテリの残量が少ない |
| | バックアップ バッテリの残量が非常に少ない |



バッテリ残量を警告するメッセージが表示されたら、すぐに適切な処置を行ってください。メイン バッテリの残量が少ないときは、すぐに hp jornada を AC 電源に接続して充電します。バックアップ バッテリの残量が少ないときは、できるだけ早く電池を交換してください。バックアップ バッテリを交換するまでは、データのバックアップをとり、AC 電源だけで使用することをお勧めします。

# バッテリを節約する

通常の操作環境では、hp jornada の標準バッテリは、連続使用で最大１０時間電力を供給できますが、作業内容によっては、メイン バッテリの消耗が早まる場合があります。バッテリを長持ちさせるために、以下のヒントを参考にしてください。

## サスペンドに設定する

バッテリの節約のため、MS Windows for H/PC 2000 では一定時間使用しないでいると自動的に hp jornada の電源を切る（サスペンドする）ように設定されています。

### サスペンド時間を設定、または短くするには

1. [スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップして、次に [電源] アイコンをダブルタップします。
   または
   [HP 設定] ハード アイコンをタップし、[バッテリ] アイコンをタップします。

2. [省電力] タブの、[バッテリ電源で入力がない場合] で、[サスペンドまでの時間] を何分にするか決め、数字を調整します。

   デフォルトではアイドル時間を 3 分に設定しています。アイドル時間を変更するには、一覧から選択します。アイドル時間が長くなると、バッテリの寿命がそれだけ短くなります。



hp jornada のインテリジェント パワー マネジメント機能は、不活動時間が設定を超えると自動的に電源をオフにし、また電源をオフにする際、接続中の回線があれば探知し、警告します。

## [電源オン] オプションを設定する

画面に触れると、自動的に起動するように hp jornada を設定できます。

### [電源オン] オプションを設定するには

1. [スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップして、次に [電源] アイコンをダブルタップします。
   または
   [HP 設定] ハードアイコンをタップし、[HP 設定] ウィンドウの [バッテリ] アイコンをタップします。
2. [電源オン] タブで、[画面に触れると起動する] を選択します。

## jornada の画面を自動で減光/オフするように設定する

hp jornada の画面を減光したり、表示をオフにしたりすると、バッテリを節約できます。[電源のプロパティ] の [省電力] タブで、バッテリ電源の際に自動的に減光するオプションや、実行中のシステムのプロセス (音楽再生やインターネット接続など) がサスペンドにならない時に画面表示を消すオプションを設定できます。



jornada がサスペンドできない場合に画面表示をオフにするオプションは、デフォルトの設定になっています。

### 自動減光に設定するには

1. [スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップし、[電源] アイコンをダブルタップします。[電源のプロパティ] ダイアログが表示されます。
2. [省電力] タブの、[バッテリ電源で入力がない場合] で、[画面を減光する] チェックボックスをオンにします。
3. 右側のリストボックスから、画面を減光するまでのアイドル時間を選択します。

4. [OK] をクリックして設定を保存し、終了します。

### 画面表示をオフにするオプションを設定あるいは無効にする

1. [電源のプロパティ] ダイアログの [省電力] タブで、[システム処理中でサスペンドにできない時、画面表示をオフにする] チェックボックスをオンにします (画面表示をオフにするオプションを無効にするには、チェックボックスをオフにします)。

2. [OK] をクリックして設定を保存し、終了します。

## バッテリを節約するためのアドバイス

- **画面の輝度を弱くする**: 輝度が弱い分、コントラストを強くして画面を見やすくします (この章の「HP 設定を使う」を参照してください)。自動減光機能は、[電源] コントロール パネルで設定できます。
- **画面の表示を手動でオフにする**: デスクトップ PC に接続している時、バッテリを節約するために、画面が自動でオフになるのを待たずに、[alt] +  [ホット キーを押して手動で画面の表示をオフにします。
- **サスペンドまでの待ち時間を短くする**: [コントロール パネル] の [電源] で、サスペンドに入るまでの連続アイドル時間を短く設定します。短時間でも使用しないときは、on/off キーを押すか、[スタート] – [サスペンド] をタップして hp jornada の電源をオフにします。
- **hp jornada をデスクトップ PC に接続するときは、常に AC 電源を使用する**: デスクトップ PC への接続中はサスペンドになりません。バッテリが消耗しないように注意してください。
- **サウンドをオフにする**: hp jornada 設定アプリケーションを使って、hp jornada のスピーカをミュートするか、[コントロール パネル] の [音量とサウンド] で最低限必要なシステム サウンドだけをオンにします。
- **バッテリ電源使用中は、PC カードを使わない**: PC カードの中には (特に PC カードモデム) 大量に電力を消費し、急速にバッテリを消耗させるものがあります。

hp jornada をデスクトップ PC、PC カード モデム、ネットワーク インタフェース カード (NIC)、その他の周辺機器などの外部電源に接続するときは、常に AC アダプタを使ってください。アラーム通知 LED は長期間点滅させないようにしてください。

# 性能を最適化する

ここでは、作業環境に合わせて hp jornada をカスタマイズする方法について説明します。

# 一般的なオプションを設定する

デスクトップ PC と同様に、hp jornada のほとんどのオプションは［コントロール パネル］で変更できます。

## ［コントロール パネル］を開くには

- ［スタート］–［設定］をポイントし、［コントロール パネル］をタップします。

［コントロール パネル］にある各機能のオプションを見るには、それぞれのアイコンをダブルタップします。一般的な［コントロール パネル］とそのオプションの説明を以下にまとめます。各コントロール パネルについて詳しくは、オンライン ヘルプの「設定」を参照してください。

- **通信**: ［通信］コントロール パネルでは、hp jornada とデスクトップ PC 間で通信を確立するためのオプションを設定します。
- **ダイヤル**: ［ダイヤル］コントロール パネルでは、発信元の作成やサービス プロバイダやリモート コンピュータに接続するためのダイヤル方法を設定します。
- **画面**: ［画面］コントロール パネルでは、MS Windows for H/PC 2000 デスクトップの背景イメージと表示デザインを設定します。
- **HP ホットキー**: ［HP ホットキー］コントロール パネルでは、hp jornada ホットキーとハードアイコンをカスタマイズできます。詳しくは、本章の「HP ホットキーとハードアイコンをカスタマイズする」を参照してください。
- **HP セキュリティ**: hp jornada へのアクセスを管理するため、プライマリとリマインダのパスワードを設定します。また、アクセスの試みを記録するため、セキュリティ ログを使用します。
- **インターネット オプション**: 接続およびオート ダイヤル、インターネットのセキュリティ レベル、デフォルトのスタートページおよび検索ページ、キャッシュの設定、ヒストリの設定などを含むブラウザ設定を行えます。
- **キーボード**: コントロール パネルでは、キーを押し続けたときに、どのくらいの速度でその文字の入力を繰り返すかを調整できます。
- **ネットワーク**: ［ネットワーク］コントロール パネルでは、ネットワーク インタフェース カードやドライバを設定し、ネットワークへの接続時にユーザー名とパスワードを入力します。
- **オーナー情報**: ［オーナー情報］コントロール パネルでは、名前や住所などの個人情報を保存できます。また、その情報を電源投入時に表示するかどうかも選択できます。
- **電源**: ［電源］コントロール パネルでは、バッテリの状況を確認したり、バッテリ電源を節約するためのオプションを設定できます。詳しくは、本章の「バッテリを管理する」を参照してください。

- **地域**: [地域] コントロール パネルでは、地域によって異なる、時刻、日付、数字、通貨などの表示形式を設定します。デフォルトの標準設定を選択するか、個別にオプションを設定します。
- **プログラムの削除**: [プログラムの削除] コントロール パネルは、不要なプログラムの削除またはアンインストールを行うのに最も適しています。
- **Socket LP-E/EIO**: Socket LP-E/EIO LAN PC カードを使用して、ネットワーク IP 情報を確認でき、ステータス アイコン、プログラムの起動、イーサネット ドライバの遅延設定をコントロールできます。
- **スタイラス ペン**: [スタイラス ペン] コントロール パネルでは、スタイラス ペンの補正またはダブルタップの速度や領域の設定が行えます。
- **システム**: [システム] コントロール パネルには、ハードウェアやソフトウェアの構成情報が表示されます。また、プログラム実行用メモリとデータ記憶用メモリに割り当てる量を調整できます。
- **音量とサウンド**: [音量とサウンド] コントロール パネルでは、スピーカの音量を調節したり、各種システム イベントに関連付けたサウンドのオン/オフを設定します。選択したオプションは、Windows 95 または 98 の場合と同じように、サウンド設定ファイルとして保存できます。
- 世界時計: [世界時計] コントロール パネルでは、システム時刻、アラームやリマインダ、自宅や訪問先の都市を設定します。世界時計には、最寄の空港、日の出、日の入りの時刻、選択した都市間の旅程距離などが表示されます。

タスクバーのステータス領域に表示されている時計 (時刻) をダブルクリックすると、[世界時計] コントロール パネルをすばやく表示できます。



## HP ホットキーとハードアイコンをカスタマイズする

HP ホットキー (キーボードの一番上の横列) と HP ハードアイコン (画面右端の縦列) からは、お好みのプログラムにワンタッチでアクセスできます。ホットキーを押すか、ハードアイコンをタップするだけで対応するプログラムを起動できます

任意のホットキーまたはハードアイコンに hp jornada のプログラムまたはファイルを割り当てるには、HP ホットキー アプリケーションを使用します。

| アイコン | 機能 |
|---|---|
| | HP 設定を起動する |
| | HP バックアップを起動する |
| | HP ダイヤルアップを起動する |
| | Windows Media Player を起動する |

HP ハードアイコンのデフォルトのプログラム割り当て



## HP ホットキー アプリケーションを起動するには

- [スタート] – [プログラム] – [HP ユーティリティ] をポイントし、次に [HP ホットキー] をタップします。




HP ホットキー アプリケーションを起動すると、[ホットキー] タブの下に現時点のホットキー割り当てが一覧表示されます。デフォルトでは、HP ホットキーにプリントされているプログラム アイコンが割り当てられています。

それぞれのホットキーまたはハード アイコンに、他のプログラムやファイルを割り当てて、ホットキーをカスタマイズすることもできます。



## ホットキーまたはハード アイコンにプログラムまたはファイルを割り当てるには

1. [HP ホットキー] アプリケーションを起動します。

2. [ホットキー] タブまたは [ハード アイコン] タブで、変更するキーを選択します。

3. [割り当てるプログラム] の下に表示されるドロップダウン リストから希望するプログラムを選択します。
   または
   [参照] をタップして、ドロップダウン リストにはないプログラムやファイルを指定します (一部のプログラムには、ホットキーやハードアイコンで呼び出しても起動しないものがあります)。

4. [OK] をタップして新しい設定を保存し、[HP ホットキー] アプリケーションを終了します。



現時点で HP ハード アイコンに割り当てられているプログラムを調べるには、ハードアイコンをタップしたまましばらく待ちます。ポップアップ ウィンドウが現れ、現時点のハード アイコンの割り当てが表示されます。

ホットキーやハード アイコンをデフォルトの割り当て (キーの印刷、あるいは画面のアイコン) に戻すには、[ホットキー] タブあるいは [ハード アイコン] タブで [初期値に戻す] をタップします。

## HP 設定アプリケーションを使用する

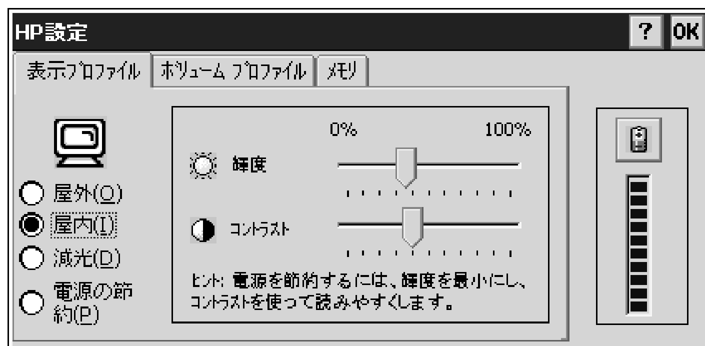
HP 設定アプリケーションを使うと、ディスプレイやサウンドの設定を変更または調整したり、使用可能なメモリやバッテリ電源など、刻々変わる hp jornada の状態をすばやく確認できます。

### HP 設定アプリケーションを起動するには

- [スタート] – [プログラム] – [HP ユーティリティ] をポイントし、次に [HP 設定] をタップします。
  または
  [HP 設定] ハード アイコンを押します。

## 輝度とコントラストを設定する

[画面のプロファイル] タブには、輝度およびコントラストの調整つまみと、保存された設定プロファイルを選択するボタンがあります。つまみを動かして、画面の設定を快適なレベルに調整してください。

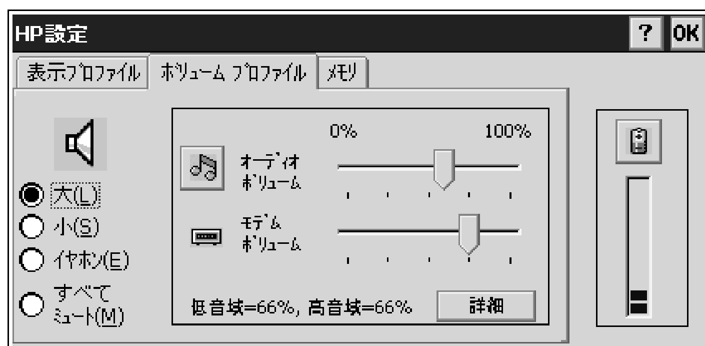



## 音量レベルの設定

[音量のプロファイル] タブには、オーディオとモデムの音量調整つまみと、保存された設定プロファイルを選択するボタンがあります。つまみを動かして、音量設定を快適なレベルに調整してください。



モデムの音量調整つまみは内蔵モデム搭載の hp jornada のみで提供されています。モデムの音量調整つまみは、モデム搭載型 hp jornada 以外では、機能しません。

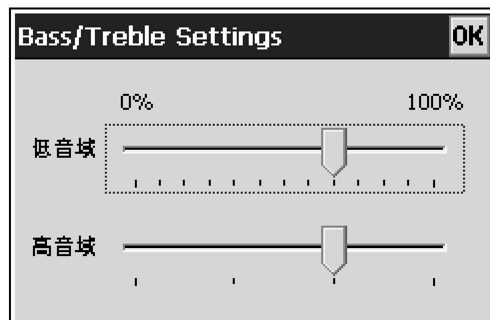




[音量のプロファイル] タブで、 をタップすると、[音量とサウンドのプロパティ] ダイアログ ボックスが現れます。

## 低音部と高音部のレベルを設定する

[音量のプロファイル] タブに、現在の低音部と高音部のレベルがパーセント表示されます。低音部と高音部の設定を調整するには、[詳細] ボタンを押します。[低音部/高音部の設定] ダイアログで、つまみを動かして、低音部と高音部の設定をご希望のレベルに調整してください。




## HP 設定プロファイルをカスタマイズする

hp jornada の [画面のプロファイル] タブと [音量のプロファイル] タブには、4 つの HP 設定プロファイルがあらかじめ用意されています。これらのプロファイルを起動するには、それぞれのラジオ ボタンを選択します。プロファイル内の個々の設定を、好みに合わせて調整することも可能です。

### HP 設定プロファイルを変更するには

1. [スタート] – [プログラム] – [HP ユーティリティ] をポイントし、次に [設定] をタップします。
   または
   [HP 設定] ハードアイコンを押します。
2. [画面のプロファイル] タブまたは [音量のプロファイル] タブで、変更するプロファイルを選択します。
3. 輝度とコントラストを、つまみで好みに合わせて調整します。
   または
   オーディオとモデムの音量を、つまみで好みに合わせて調整します。
4. [OK] をタップし、設定を保存して終了します。

## HP 設定設定プロファイルを変更する

### 現在の画面または音量のプロファイルをすばやく変更するには

- 他の画面のプロファイルを選択するには、alt キーと 画面 ホットキーを同時に押します。

  または

- 他の音量のプロファイルを選択するには、altキーと 音量 ホットキーを同時に押します。



Alt ホットキー は、hp jornada キーボードにある 3 つの左ホットキーの上、画面パネルのすぐ下に、青色のアイコンで表示されています。作動させるには、alt キーを押しながら次のホットキーのいずれかを押します。

| アイコン | 機能 |
|---|---|
| | hp jornada ホームページを開きます。 |
| | 画面のプロファイルの選択メニューを開きます。 |
| | 音量のプロファイルの選択メニューを開きます。 |

hp jornada Alt ホットキーのアイコン

## 電源とメモリ情報を表示する

[HP 設定] ウィンドウには、メイン バッテリの状態も表示されます。[メモリ] タブには、使用可能なプログラム実行用メモリ、データ記憶用メモリ、メモリ カードが表示されます。



[メモリ] タブで、 をタップすると [システムのプロパティ] ダイアログが起動します。

または

[HP 設定] ウィンドウで、 をタップすると [電源のプロパティ] ダイアログが表示されます。

# セキュリティ

ここでは、hp jornada と貴重なデータを盗難や紛失から守るためのアドバイスを提供します。

## オーナー情報を記入する

万一 hp jornada を紛失してしまっても、オーナー情報に必要な情報さえ記録しておけば、持ち主がわかり、手元に戻ってくる可能性があります。所有者の名前や住所は、MS Windows for H/PC 2000 のウェルカム ウィザードの実行時に登録されます。まだ登録していなかったり、(例えば、滞在先のホテル、訪問先の会社などに) 登録内容を変更したい場合は、[オーナー情報] コントロール パネルを使用します。

### オーナー情報を追加あるいは変更するには

1. [スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップします。
2. [オーナー情報] アイコンをダブルタップします。
3. [オーナー情報] タブで、自分の名前、住所、電話番号を入力します。
4. [メモ] タブで、表示内容に含めたいその他の情報 (例えば臨時の連絡先、発見した場合の謝礼など) を入力します。



hp jornada の電源をオンにするたびにオーナー情報のプロパティを表示するには、[オーナー情報] タブの [システム起動時] の下 にある [オーナー情報を表示する] チェックボックスをオンにします。

# HP セキュリティ コントロール パネル

HP セキュリティ アプリケーションを使用すると、hp jornada への無許可のアクセスを防いだり、重要なデータを保護したりできます。

### HP セキュリティの機能



- パスワードを設定して、hp jornada へのアクセスを管理し、データを保護します。

- hp jornada へのすべてのアクセス試行を、セキュリティ ログに記録します。



**警告**: パスワードを忘れてしまった場合、ファクトリー デフォルト リセットを行わない限り、hp jornada にアクセスすることができません。この場合、保存されたすべてのデータが失われます。詳しくは、第 8 章の「リセットする」を参照してください。

### HP セキュリティを起動するには

- [スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップし、[HP セキュリティ] アイコンをダブルタップします。

  または

  [スタート] – [プログラム] - [HP アプリケーション] をポイントし、[HP セキュリティ] をタップします。

## メイン パスワードを設定する

[プライマリ] タブで、メイン パスワードを設定し、メイン パスワードによる保護を有効にします。メイン パスワードによる保護が有効になっていると、hp jornada の起動のたび、あるいは HP セキュリティ アプリケーションを開くたびにパスワードを入力しなければなりません。

### メイン パスワードを設定し、メイン パスワードによる保護を有効にするには

1. [プライマリ] タブで、[プライマリ パスワード] テキストボックスをタップし、お好みのパスワードを入力します（パスワードは、英数字で 40 字まで、大文字と小文字を区別して指定します。）
2. [確認] テキストボックスをタップして、再度パスワードを入力します。
3. [プライマリ パスワードによる保護を有効にする] チェックボックスをオンにして、パスワードを有効にします。
4. [OK] をクリックして、設定を保存して終了します。



パスワードには英数字を使用し、大文字と小文字を区別します。パスワードの設定や入力を行う前に、必ずテンキーパッドとキャップスロックを無効にしてください。

タスクバーのステータス領域に のうちいずれかのアイコンが表示されていると、目的の文字が入力されていない場合があります。パスワードの設定や入力を行う前に、上記の組み合わせキーでテンキーパッドやキャップスロックを無効にしてください（Numlock と Capslock キーの使用については、第 2 章の「hp jornada キーボードを使う」を参照してください）。

### メイン パスワードによる保護を無効にするには:

- ［プライマリ］タブで、［プライマリ パスワードによる保護を有効にする］チェックボックスをオフにし、パスワードによる保護を無効にします。



**注記**: メイン パスワードによる保護を無効にしても、次の方法でパスワードを削除しない限り、HP セキュリティを開くたびにパスワードを要求されます。

### メイン パスワードを削除するには:

1. ［プライマリ］タブで、［パスワード］テキストボックス内のテキストをダブルタップして強調表示にし、削除キーを押します。
2. ［確認］テキストボックスをダブルタップして、削除キーを押します。
3. パスワードが削除され、［HP セキュリティ］コントロールパネルを開くときにパスワードが要求されなくなります。
4. ［OK］をクリックし、設定を保存して終了します。

## パスワード起動待ち時間

省電力のため、hp jornada の電源を短い間でも切っておくことが多い場合は、パスワード起動待ち時間を設定します。設定した待ち時間以内に再度電源をオンにする時は、パスワードを要求されません。

### パスワード待ち時間を設定するには

1. メイン パスワードを設定します。
2. ［プライマリ］タブの［起動］で、［サスペンド後のパスワード起動を待つ］チェックボックスをオンにします。
3. ［分間］の入力ボックスに、パスワード待ち時間を入力します。
4. ［OK］をクリックし、設定を保存して終了します。

## セキュリティ ログを使用する

[ログ] タブを使用して、hp jornada へのアクセスの試みと、パスワード設定を変更する試みを、すべて記録できます。



hp jornada 画面にログを表示させることも、デスクトップ PC にファイルをエクスポートして保存、表示、編集を行うこともできます。

### セキュリティ ログを有効にする

1. [ログ] タブで、[ログを有効にする] チェック ボックスをオンにします。
2. ログ内容は、[ログ] タブの一覧表に表示されます。
3. すべてのログ内容を消去するには、[ログ消去] をタップします。
4. ログをファイルにエクスポートするには、[ログをエクスポート] をタップします。
5. [OK] をクリックし、設定を保存して終了します。

# hp jornada を携帯する

小型で携帯性に優れた hp jornada は、出張や旅行などに出かけるときの最高のコンパニオンとなります。同期機能また各種接続ソリューションなどを備える hp jornada では、国内または海外での様々なビジネスシーンで、デスクトップ コンピュータ並のパワーがいつでも軽快にご利用いただけます。

hp jornada を携帯する際は、快適な旅行となるよう次に挙げる項目を参考にするとよいでしょう。

## 携帯に必要なもの

hp jornada の携帯に必要なものは次のとおりです。忘れ物がないようにご注意ください。

- **AC アダプタと電源ケーブル**: hp jornada を海外へ携帯する場合、電源ケーブル用の差し込みアダプタが必要です。また、最寄りの電器店または HP 販売代理店から旅行先の国に適した電源ケーブルを購入してもよいでしょう。
- モデム カードとケーブル：、インターネットのアクセスや会社へのダイアルアップをするためには PC カード モデム*を購入する必要があります。

* モデムを別途購入する必要があります。Web サイト/コンテンツによっては、提供されていないものもあります。

- **アクセス番号**: 出張先の都市またはその近くにアクセスポイントがないか、サービス プロバイダまたはネットワーク管理者に問い合わせてください。
- **シリアルの PC 接続ケーブル**: 出張先でデスクトップ PC と hp jornada を接続する予定がある場合、シリアル接続ケーブルを携帯すると便利です。
- **予備のメイン バッテリ(F1281A)**: 長期間 AC 電源への接続ができない場合に備えて、予備のバッテリを携帯します。
- **CompactFlash カード**: CompactFlash カードにバックアップして、旅行中もデータを保護します。

# 出発前の準備

出張や旅行に hp jornada を携帯する場合、次に挙げる準備を行っておきます。

- **オーナー情報をアップデートする**: 長期間の旅行の場合、[オーナー情報のプロパティ] で、出張先での住所、連絡先など特別に加えたい情報を入力しておきます。
- **同期する**: 出かける前に、予定表、連絡先、仕事データベースを更新しておきます。すべての項目を同期してからバックアップをとって、切断します。
- **データをバックアップしておく**: デスクトップ PC、また PC カードや CompactFlash カードへの一括バックアップを行います。メモリ カードを携帯してください。hp jornada のバッテリの残量がなくなっても、メモリ カードにバックアップをとっておけばデータは保持されます。詳しくは、第 5 章の「バックアップを行う」を参照してください。
- **バッテリを充電する**: メイン バッテリが完全に充電されており、バックアップ バッテリの状況が良好であることを確認してください。バッテリの状況は、[電源] コントロール パネルで確認できます。メイン バッテリの残量が少ない場合は、AC 電源に接続して充電します。バックアップ バッテリの残量が非常に少なければ、交換してください。詳しくは、この章の「バッテリを管理する」を参照してください。
- **オーディオ ボタンをロックして、誤って Windows Media Player がオンにならないようにする**: オーディオ ロックを左にスライドさせて、オーディオ ボタンにうっかり触ってしまっても再生機能が立ち上がらないようにしておきます。
- **旅行先からダイヤルインまたは同期できるようにデスクトップ PC を設定しておく**: リモートからダイヤルインできるようにデスクトップ PC を設定します。不在中にダイヤルインするデスクトップ PC の電源が切られないようにご注意ください。リモート同期できるようにデスクトップ PC を設定する方法については、第 3 章の「リモートから同期する」を参照してください。



# 8 | トラブルシューティング

hp jornada ハンドヘルド PC の使用中に問題が発生したら、この章を参考にしてトラブルシューティングを行ってください。Microsoft ActiveSync に関連したトラブルシューティングを参照するには、[ファイル] メニューの [接続設定] をクリックし、[ヘルプ] ボタンをクリックします。

この章では、以下の項目に役立つ情報を提供します。

- hp jornada を最適な環境で保持する
- 基本的な問題の解決
- リモート接続の問題の解決
- ディスプレイ問題の解決
- 赤外線接続の問題の解決
- hp jornada のリセット

## hp jornada のメンテナンス

正しくご使用いただければ、hp jornada はデスクトップ PC の力強いパートナーとなります。長く快適に使えるように、以下の注意事項をお守りください。

### 画面のクリーニング

hp jornada 画面を指で触ると、脂が付いて画面が見にくくなります。画面をクリーニングするには、市販のガラスクリーナを柔らかい布にスプレーして拭いてください。画面に直接スプレーするのは避けてください。

画面をクリーニングする前に hp jornada の電源を切ってください。



本体内部に埃や砂が入らないように注意してください。万一入ってしまった場合は、HP カスタマ ケア センタまでご連絡ください。

## お取り扱い上のご注意

hp jornada を常に最適な操作環境で使用できるよう、以下の取り扱い上の注意に従ってください。

- hp jornada のカバーは自然な位置で止まるようにゆっくりと開けてください。ヒンジが回転する範囲を超えるまで力を加えないでください。
- CompactFlash カードや PC カードを挿入するときや取り出すとき、あるいは CompactFlash カードのドアを開閉するときは、力を加えすぎないようにしてください。
- パートナーPC との同期が完了するまで、必ず PC 接続ケーブルを接続したままにし、途中で切断したりしないでください。

## 損傷の防止

万一 hp jornada を落としてしまった場合、ディスプレイなどの精密なコンポーネントが損傷することがあります。過失による損傷は HP 保証の対象外となりますので、ご注意ください。

## 放射障害を避ける

他の電子機器からの放射障害により、hp jornada の画面表示やモデムの機能に影響が出る場合があります。hp jornada を放射障害源から遠ざければ、モデムの機能も画面表示も元に戻ります。

## 高温を避ける

hp jornada は 0ºC から 40ºC までの温度環境で動作できるように設計されています。データの保持は 0ºC から 55ºC までの間で可能です。温度が 55ºC を超える場所に置くと、ユニットが破損し、データが消失する可能性があります。直射日光があたる場所や車の中は異常高温に達することがあるので、hp jornada を放置しないように、くれぐれもご注意ください。

# 基本的な問題を解決する

問題がはっきりしている場合は、次の表から解決策を見つけてください。見つからない場合は、hp jornada Web サイト (www.jpn.hp.com/hho/jornada) で、一般的な問題に関する最新情報を確認してください。

| 問題 | 診断/対処方法 |
|---|---|
| AC 電源に接続しているのに hp jornada の電源がオンにならない | hp jornada がロックされています。hp jornada を外部電源に接続して、ソフト リセットを実行します（この章の「リセットする」を参照してください。注意:ソフト リセットを実行すると、保存していないデータは消失します)。 |
| AC 電源に接続されていないと hp jornada の電源がオンにならない | バッテリの残量が少なすぎて hp jornada を駆動できません。AC 電源に接続して hp jornada の電源をオンにします（バッテリ電源が消耗しないように、定期的に充電してください)。メイン バッテリの充電とバッテリ状況の確認方法については、第 2 章の「メイン バッテリをセットする」を参照してください。 |
| バッテリがすぐにあがってしまう | 急速に hp jornada のバッテリを消耗させる使い方をしています。第 7 章の「バッテリを管理する」を参照してください。 |
| デスクトップ PC に接続中、またはモデムの使用中、hp jornada がサスペンド モードにならない | PC への接続中は hp jornada の電源はオンのままでサスペンドされません。これは正常な動作なので、対処の必要はありません。ただし、キーボードやタッチスクリーンへの入力がない場合は、バッテリの消耗を防ぐため画面表示がオフになります。 |

| 問題 | 診断/対処方法 |
| --- | --- |
| hp jornada が自動的にシャットダウン/サスペンドしてしまう | メイン バッテリの残量が少なすぎて hp jornada を駆動できません。バッテリの残量が非常に少ない場合、データ保護のために、hp jornada は自動的にシャットダウンします。AC 電源に接続して、メイン バッテリを充電します。バックアップ バッテリは取り外さないでください。<br><br>または<br><br>自動サスペンドが有効になっています。省電力のため、hp jornada は電源を入れて 1 分間アイドル状態が続くと自動的にサスペンドになります。また、3 分間アイドル状態が続いても自動的にサスペンドになります。<br><br>または<br><br>hp jornada がロックされています。hp jornada を外部電源に接続して、ソフト リセットを実行します（この章の「リセットする」を参照してください。注意:ソフト リセットを実行すると、保存していないデータは消失します)。 |
| アプリケーションを実行すると、画面がフリーズする | プログラム実行用のメモリが足りません。プログラム実行用メモリを増やす方法の詳細については、第 7 章の「メモリを管理する」を参照してください。<br><br>または<br><br>hp jornada がロックされています。AC 電源に接続し、ソフト リセットを実行します（この章の「リセットする」を参照してください)。<br><br>注記: メイン バッテリが消耗していないか、バッテリ残量を定期的にチェックしてください。 |

| 問題 | 診断/対処方法 |
| --- | --- |
| 電源はオンなのに hp jornada がオンにならない、またはディスプレイが消えている | 画面のコントラストが低すぎます。alt > を押してコントラストを高くしてください（詳しくは、第 2 章の「HP 設定を使う」を参照してください）。<br>または<br>hp jornada のメイン バッテリが消耗しています。AC 電源に接続し、メイン バッテリを充電してください。 |
| hp jornada の動作が非常に遅い | プログラム実行用メモリが足りないか、メモリのリフレッシュが必要です。プログラム実行用メモリを増やす方法の詳細については、第 7 章の「メモリを管理する」を参照してください。 |
| アプリケーションを実行すると、メモリ不足エラーが発生する | hp jornada のプログラム実行用メモリが不足しているため、アプリケーションを実行できません。<br>プログラム実行用メモリを増やす方法については、第 7 章の「メモリの管理」を参照してください。 |
| hp jornada が PC カードを検出しない | PC カードが正しく装着されていないか、hp jornada にドライバがインストールされていません。PC カードを取り外し、もう一度正しく装着します。それでも問題が解決しない場合は、PC カード付属のマニュアルで、ドライバのインストール方法を確認してください（互換性のある PC カードについては、hp jornada Web ページ www.jpn.hp.com/hho/jornadaをご覧ください）。 |

| 問題 | 診断/対処方法 |
|---|---|
| hp jornada がデスクトップ PC との接続を確立しない | hp jornada がドッキング クレードルに正しく設置されていないか、PC 接続ケーブルが PC または hp jornada に正しく接続されていないか、または接続が正しく設定されていません。ケーブルをもう一度正しく接続し直し、必要に応じて Microsoft ActiveSync ヘルプを参照してください。 |
| 他の HP ハンドヘルド機器の HP バックアップ アプリケーションで作成したバックアップ ファイルが、hp jornada に復元できない | PIM データだけが、hp jornada 700 シリーズに転送できます。hp jornada 700 シリーズは、新しいオペレーティング システムを採用しているため、旧型のデバイスから PIM データを復元する際には、HP バックアップではなく、Microsoft ActiveSync や Microsoft Outlook を使用してください。旧型のハンドヘルド デバイスをデスクトップ PC の Microsoft Outlook と同期し、次に hp jornada へデータを転送するため、新しいパートナー関係を設定してください。 |
| ActiveSync から[すべて復元］を実行すると、[mdmlog6.txt ファイルをデバイスにコピーできません]という警告メッセージが表示される | [次に進む］を選択します。[復元完了］のメッセージが表示されます。<br><br>復元を有効にするには、接続を切断し、hp jornada をリセットします。 |

| 問題 | 診断/対処方法 |
| --- | --- |
| USB ポートを介して同期できない | デスクトップ PC にインストールされた Microsoft ActiveSync は、適切なバージョンではありません。hp jornada 700 シリーズと同じバージョンの Microsoft ActiveSync をインストールしてください。<br><br>または<br><br>hp jornada で USB 接続が有効になっていません。[スタート] – [設定] – [コントロール パネル] の順にタップし、[通信] アイコンをダブルタップします。[PC 接続] タブで、[変更] ボタンをタップし、ドロップダウン リストから USB 接続を選択します。<br><br>または<br><br>デスクトップ PC の ActiveSync で USB 接続が有効になっていません。ActiveSync の [ファイル] メニューで、[接続設定] をクリックし、[デスクトップ PC と USB 接続が可能] チェック ボックスをオンにします。 |
| HP ビューアの起動が遅い | 連絡先、予定表、仕事のデータベースが大きすぎます。連絡先、予定、仕事の同期する内容を選択し、データベースのサイズを制限します。詳しくは、第 3 章の「データを同期する」を参照してください。<br><br>HP ビューアを初めて起動するとき、あるいは HP ビューアをソフト リセットの後に起動するとき、この現象が起こります。 |

| 問題 | 診断/対処方法 |
| --- | --- |
| 予定表には表示される予定が、HP ビューアに表示されないことがある | 同期の後、HP ビューアへの予定の更新はリアルタイムで行われません。ソフト リセットを行ってキャッシュを消去し、HP ビューアを再起動します。 |
| 受信トレイから電子メールを送信できない | メッセージのヘッダーが大きすぎます。アドレス帳が 32KB を超える場合、受信トレイはメッセージを送信できません。 |
| データが失われた | hp jornada のバッテリが消耗しています。デスクトップ PC のバックアップ ファイル、あるいは CompactFlash カードからデータを復元してください。<br>または<br>出荷時のデフォルト設定が復元されています。デスクトップ PC のバックアップ ファイル、あるいは CompactFlash カードからデータを復元してください。 |
| 電子メールに添付されたファイルが破損している | 送信者側または受信者側のメール サーバが MIME エンコードに対応していません。MIME エンコードをオフに設定してください。HP ダイヤルアップで電子メール サービスを作成した場合は、第 6 章の「接続の作成と変更を行う」に記載された手順を参考にして、電子メール サービスの設定を変更します。受信トレイで電子メール サービスを作成した場合は、[サービス] メニューの [オプション] をタップし、電子メール サービスのプロパティを変更します。 |

| 問題 | 診断/対処方法 |
|---|---|
| 複数のファイルを印刷中、最初のファイルの印刷が終了しても印刷中メッセージ ボックスが消えない | プログラム実行用メモリが足りないか、メモリのリフレッシュが必要です。プログラム実行用メモリを増やす方法については、第 7 章の「メモリの管理」を参照してください。<br><br>また、hp jornada にメモリを追加することもできます。メモリ拡張カードなど、使用可能なアクセサリについては、第 7 章の「アクセサリ」を参照してください。 |
| デスクトップの一部のアイコンが消えてしまった | プログラム実行用メモリが足りないか、メモリのリフレッシュが必要です。プログラム実行用メモリを増やす方法については、第 7 章の「メモリの管理」を参照してください。また、hp jornada にメモリを追加することもできます。メモリ拡張カードなど、使用可能なアクセサリについては、第 7 章の「アクセサリ」を参照してください。 |
| 旧型の HP ハンドヘルド デバイスのソフトウェアを、hp jornada 700 シリーズにインストール、あるいは実行することができない | StrongARM SA1100 または SA1110SW プロセッサ用のソフトウェアのみ、インストールしてください。HP ハンドヘルド デバイスの旧来の型（jornada 820 以外）では、他のタイプのプロセッサを使用しています。他のタイプのプロセッサ用に設計されたソフトウェアは、StrongARM SA111X ファミリーと互換ではありません。 |
| スタイラス ペンのタップに対し、正確に反応しない | タッチスクリーンの再補正が必要です。タッチスクリーンを再補正するには、[スタート] – [設定] – [コントロール パネル] をタップし、[スタイラス ペン] アイコンをダブルタップします。[補正] タブで、[再補正] ボタンをタップし、画面の指示に従ってください。もしくは、[CTRL]＋[ALT]＋[＾ へ] で補正画面にショートカットすることが可能です。 |

# リモート接続の問題

ここでは、hp jornada を他の PC に接続する際に問題が発生した場合の解決策を示します。デスクトップ PC との通信の問題については、Microsoft ActiveSync ヘルプを参照してください。

## モデムを使ったダイヤル接続ができない

- PC カード モデムを使用している場合は、モデムの装着および電話線への接続が正しく行われているか、確認してください。
- ・ 接続先のダイヤルのプロパティが正しく設定されていることを確認します。
- モデムが発信音を待って信号を送ることを確認します。確認するには、[スタート] – [プログラム] – [通信] をポイントし、次に [リモート ネットワーク] をタップします。接続名を選択し、[ファイル] メニューの [プロパティ] をタップします。[ダイヤルアップ接続] ダイアログ ボックスで [設定] – [呼び出し] オプション タブをタップします。[発信音がしてからダイヤルする] チェックボックスがオンになっていることを確認します。
- 国によっては、[発信音がしてからダイヤルする] チェックボックスをオフにする必要があります。
- 国際電話の場合は、ダイヤル待ち時間を長めに設定します。上記の手順で説明した [呼び出し] オプション タブで、[待ち時間経過後に呼び出しをキャンセルする] オプションをオフにするか、待ち時間の秒数を増やします。
- NTT DoCoMo 社製 PHS を使用している場合は、[発信音がしてからダイヤルする] の秒数を 58 秒以下に設定する必要がある場合があります。

## ダイヤルはできるが、正常に接続できない

- 接続しようとしているネットワークが PPP (Point-to-Point protocol) または SLIP (Serial Line Internet Protocol) をサポートしていることを確認します。
- 発信元が正しく設定されていることを確認します。[スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップし、[ダイヤル] アイコンをダブルタップします。発信元のダイヤル パターンが正しいこと、国名と市外局番が正しいことを確認します。

## 接続が安定しない

- モデムがしっかりと設置され、電話用ジャックに正しく接続されていることを確認します。

- キャッチホンを解除します。[スタート] – [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をタップし、[ダイヤル] アイコンをダブルタップします。[キャッチホン解除番号] を選択し、指定されている番号を入力します。

## ネットワーク接続が ActiveSync ダイアログ ボックスの一覧にない

- ダイアログ ボックスを閉じ、数分間待って、もう一度試します。
- hp jornada をリセットします（この章の「リセットする」を参照してください）。

## MS Windows for H/PC 2000 搭載デバイス間の赤外線通信

MS Windows for H/PC 2000 搭載デバイス間で、赤外線による情報の転送ができない場合は、以下の方法を試してください。

- 一度に 1 つのファイルだけ、またはアドレス カードの場合は 25 項目以下にして転送するようにします。
- 2 台のデバイスの赤外線ポートを 1 メートル以内、ただし、5 センチメートル以上離して、真っ直ぐに向き合うように並べます。
- 2 台の赤外線ポートの間には障害物がないことを確認します。
- 部屋の照明を調整します。照明の種類によっては、赤外線通信を妨げるものがあります。別の場所に移動するか、照明をいくつか消します。

Microsoft® Windows Terminal Server Client について

Windows Terminal Server Client を使用する時は、hp jornada700 シリーズの Num Lock は使わないでください。また、ソフトウェアの詳細については、hp jornada700 シリーズ本体ヘルプファイルをご参照ください。

# ディスプレイ

ここでは、データを正しく表示できない時の解決策を示します。

## 画面に何も表示されない

on/off ボタンを押しても hp jornada が反応しない場合は、もう一度しっかりとボタンを押してみてください。それでも問題が解決しない場合は、以下の方法を試してください。

- メイン バッテリが正しくセットされているか確認します。
- 画面のコントラストを調整します。デバイスによっては、画面が明るすぎたり暗すぎると、電源が切れているように見えるものがあります。
- hp jornada をリセットします（この章の「リセットする」を参照してください）。
- メイン バッテリを充電します。

## 画面が暗い

長時間直射日光に当てていると、hp jornada 画面が一時的に暗くなることがあります。これは LCD 画面の一般的な現象で、しばらくすると元に戻ります。

# リセットする

デスクトップ PC からデータを復元した後や、オペレーティング システムが応答しなくなったときは、リセットを行う必要があります。リセットには次の 2 通りの方法があります。

- **ソフト リセット**: ソフト リセット（ウォーム ブート）はデスクトップ PC の再起動と同じように、オペレーティング システムを再起動します。保存されているデータはそのまま保持されます。
- **ファクトリー デフォルト リセット**:「ファクトリー デフォルト リセット（ハード リセット）」は hp jornada の工場出荷時の状態を復元します。入力された情報はすべて消去されます。

ファクトリー デフォルト リセットが必要になったときに備えてデータを保護するために、定期的にデータをデスクトップ PC（Microsoft ActiveSync 使用）、または CompactFlash カードか PC カード（hp jornada バックアップ アプリケーションを使用）にバックアップしておいてください。データのバックアップについて、詳しくは第 5 章の「データのバックアップと復元を行う」を参照してください。

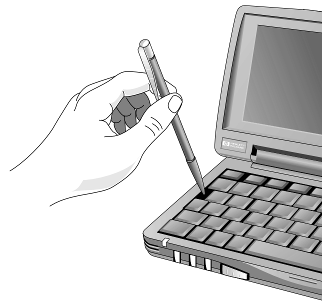



## ソフト リセット

バックアップ ファイルからデータを復元したとき、または hp jornada がフリーズして操作を受け付けなくなったときは、ソフト リセットを行います。

### ソフト リセットを行うには

1. hp jornada から PC 接続ケーブルと電話ケーブルを取り外します。あるいは、hp jornada をドッキング クレードルから取り外します。
2. スタイラス ペンでリセット ボタンを押します。



スタイラス ペンを使ってソフト リセットを行う



ソフト リセットを実行すると、保存されていないデータはすべて失われます。

## ファクトリー デフォルト リセット

ファクトリー デフォルト リセットは、ソフト リセットを実行しても hp jornada が応答しないときだけ行ってください。ファクトリー デフォルト リセットを行うと、ファイル、システム設定、インストールしたプログラムをはじめ、保存したすべてのデータが消去されます。また、パスワードを忘れた場合も、ファクトリー デフォルト リセットを行わなければならなくなります。



ファクトリー デフォルト リセットを実行すると、それまで作成したファイル、プログラム、予定などはすべて失われます。復元できるのは、デスクトップ PC、PC カードまたは CompactFlash カードにバックアップしたデータだけです（詳しくは、第 5 章の「データのバックアップと復元を行う」を参照してください）。

### ファクトリー デフォルト リセットを行うには

1. AC アダプタなど、hp jornada に接続されているすべてのケーブルを外します。
2. バックアップ バッテリを取り出します。詳しくは、第 7 章の「バックアップ バッテリを交換する」を参照してください。
3. メイン バッテリを取り外します。
4. その状態で 5 分以上待ち、AC アダプタを接続し、メイン バッテリを再び装着し、バックアップ バッテリを再び装着します（詳しくは、第 2 章の「hp jornada をセットアップする」を参照してください）。hp jornada が自動的に起動し、MS Windows for H/PC 2000 ウェルカム ウィザードが表示されます。詳しくは、第 2 章の「ウェルカム ウィザードを実行する」を参照してください。
5. 最新のバックアップ ファイルから hp jornada にデータを復元します。詳しくは、第 5 章の「データのバックアップと復元を行う」を参照してください。

# 9 | サポートおよびサービス

## Web サイト

当社のハンドヘルド製品専用 Web サイトでは、ハンドヘルド製品に関する情報や、hp jornada の性能を最大限にご活用いただくためのヒントを提供しています。電話料金やインターネット接続料金を除いては、無償でこのサービスをお受けいただくことができます。ハンドヘルド製品 Web サイトをご利用になるには、次のアドレスにアクセスしてください。
www.jpn.hp.com/hho/jornada

## カスタマ サポート

本書または Web サイトで対応していない事柄についてのご質問、またご不明な点等がございましたら、本章後半の「世界各地の HP サポート窓口」一覧に記載された最寄りのハンドヘルド PC サポート窓口までご連絡ください。

また、製品の返送方法、保証期間外のサービス料金など、修理に関するご質問があれば、製品を返送する前にまず当社までお問い合わせください。

一覧に載っていない国については、当社正規販売代理店または営業所までお問い合わせください。

## 修理

不具合の診断方法やサービス情報については、最寄りのテクニカルサポート窓口までお問い合わせください。製品を当社に返送する際は、必ず、事前に当社までご連絡ください。保証期間内の場合は、保証書など購入日の証明をご用意ください。一覧に載っていない国については、当社正規販売代理店または営業所までお問い合わせください。

カスタマーサポートをお受けになる際には、以下の準備を行ってください。

1. マニュアルをよく読み返してください。
2. 以下の項目をご確認ください。
- 製品モデル番号
- シリアル番号
- ご購入年月日
3. 製品をお手元にご用意ください。サポート担当者より、製品の動作確認や、診断テストをお願いすることがあります。
4. ご質問の内容や問題点などをまとめてからご連絡ください。問題点について詳しくご説明いただければ、すみやかにサポートを進めさせていただくことができます。

# 世界各地の HP サポート窓口

当社は、お買いあげ後もサポートを通してお客様に高品質のサービスをお届けできるよう努めております。その一環として、全世界に広がる HP サポート ネットワークをご用意しております。下記の一覧中から最寄りのサポート窓口をご利用ください。

| 国 | 電話番号 |
|---|---|
| 日本　全国共通ナビダイヤル<br>携帯電話･PHS からは<br>FAX<br><br>電話受付時間　月曜日～金曜日<br>9:00～12:00、13:00～17:00<br>(祝祭日、年末年始および 5 月 1 日を除く) | 0570-000511<br>03-3335-9800<br>03-3335-8338 |
| アルゼンチン | 54-1-7788380 |
| オーストラリア | 61-3-88778000 |
| オーストリア | 43-711-4201080 |
| ベルギー (オランダ語圏) | 32-2-6268806 |
| ベルギー (フランス語圏) | 32-2-6268807 |
| ブラジル | 55-11-8296612 |
| ブラジル (サンパウロ) | 55-11-37477799 |

| | |
|---|---|
| ブラジル（サンパウロ以外） | 0800-157751 |
| カナダ | 1-905-2064663 |
| チリ | 56-800-360999 |
| 中国 | 86-10-65645959 |
| チェコ共和国 | 420-2-61307310 |
| デンマーク | 45-39-294099 |
| フィンランド | 358-20347288 |
| フランス | 33-1-43623434 |
| ドイツ | 49-1-805258143 |
| ギリシャ | 30-1-6896411 |
| 香港 | 800-967729 |
| ハンガリー | 36-1-3430310 |
| インド | 91-11-6826035 |
| インドネシア | 62-21-3503408 |
| アイルランド | 353-1-6625525 |
| イスラエル | 972-9-9524848 |
| イタリア | 39-2-26410350 |
| 韓国 | 82-2-32700700 |
| マレーシア | 60-03-2952566 |
| メキシコ | 52-1800-4726684 |
| オランダ | 31-20-6068751 |
| ニュージーランド | 64-9-3566640 |
| ノルウェー | 47-22-116299 |
| フィリピン | 63-2-8673551 |
| ポーランド | 48-22-8659999 |
| ポルトガル | 351-13180065 |
| ロシア | 7-095-9169821 |
| シンガポール | 65-2725300 |

| | |
|---|---|
| 南アフリカ | 27-11-8061030 |
| スペイン | 34-91-7820109 |
| スウェーデン | 46-8-6192170 |
| スイス（ドイツ語圏) | 41-1-4332728 |
| スイス（フランス語圏) | 41-1-4332729 |
| 台湾 | 886-2-27170055 |
| タイ | 66-2-6614000 |
| トルコ | 90-212-2245925 |
| 英国 | 44-870-6083003 |
| 米国 | |
| プリセールス情報 | 1-800-4431254 |
| | (フリーダイヤル、音声による情報のみ) |
| サポート/サービス | 1-970-635-1000 |
| | パームトップ/オーガナイザ (有料) |
| ベネズエラ | 58-800-47888 or 58-2-2078488 |
| ベトナム | 84-0-88234530 |

各カスタマ ケア センタは、一般の営業時間にご利用いただけます。

# 付録 A | 快適に作業を行うために

この章には、コンピュータ ユーザーの身体への負担を軽減し、快適に作業を行うための注意事項とヒントがまとめられています。本機またはその他の装置を使用中に痛みや不快感を感じた場合は、すぐに作業を中止し、この章をお読みください。不快感が続く場合は、製品の使用を中止し、できる限り早い時期に医師の診察をお受けください。

## 装置のセットアップと使用法

人によっては、コンピュータを使用すると身体的な不快症状が現れることがあります。これは、RSI（Repetitive Strain Injury）つまり反復性疲労傷害（累積外傷性障害または反復性運動傷害ともいう）の兆候である可能性があります。装置を正しくセットアップして使用すれば、この不快感は軽減できます。たとえ装置が設計上や整備上に不備が無くても、それだけでは問題を引き起こす可能性をすべて取り除いたことにはなりません。ユーザーがコンピュータ作業をどのような環境で、どのように行うかが重要なポイントだからです。

## RSI とは何か

RSI とは、筋肉、神経、腱などの身体の柔組織が刺激を受けたり、炎症を起こしたことによって引き起こされる傷害の一種です。極端な場合、この炎症によって組織が回復不能なまでに損傷してしまうこともあります。RSI は、組み立てラインでの作業、精肉の梱包、縫製、楽器の演奏、コンピュータを使用する作業など、反復動作の多い労働者に発症する障害として報告されてきました。またテニスなどのスポーツによっても発症することがわかっています。

## RSI を引き起こす原因

RSI は、身体の能力を超える過度の動作によって起こります。RSI を引き起こす共通要因には、ひとつの作業または動作を中断することなく過度に繰り返す、不安定または不自然な姿勢で作業する、長時間同じ姿勢のままでいる、作業中に短い休憩をはさまない、ストレスなどの心理的要因、などがありま

す。リューマチ、関節炎、糖尿病など、ある種の持病も RSI の原因となることがあります。

## RSI の症状

機器を正しくセットアップし、指示通りに使用すれば、RSI の発症を最小限に抑えることができます。ただし、なんらかの不快症状が現れた場合は、ただちに専門医の診断を受けてください。一般的には、診断と治療を受ける時期が早いほど、簡単に治癒できます。

## RSI を予防する

最近の文献によれば、柔組織、特に手と腕に対する傷害と、手と腕の繰り返し動作を必要とするコンピュータのキーボード、マウス、その他の入力装置を長時間にわたり使用することの間には、何らかの因果関係があることが示唆されています。また、これ以外にも柔組織の傷害を引き起こす可能性を高める危険因子が数多くあることが示唆されています。この章に記載されている注意事項に従って、できる限り RSI が発生しないよう、予防に努めてください。

## 作業環境を整える

自由に動き回れ、姿勢を変えられる十分な作業スペースが必要です。目への負担を軽くするため、反射率の高いカバーをかけないようにします。天井、壁面、床面が中程度の反射率（それぞれ、75%、40%、30%）を持つようにしてください。また、ディスプレイ画面と周辺との間に、過度のコントラストがつかないように注意します。静かな環境で、作業に支障のない場所に設定します（バックグラウンド ノイズが 58dBA 以下）。可能な限り、室内の相対湿度を 40%～60%の範囲に保ちます。室温は、19～23 ºC をお勧めします。室温を快適なレベルに調節し、換気も十分に行いましょう。

姿勢に注意します。肩の力を抜き、手首をまっすぐにしてください。ひじを 90ºに曲げたときに、キーボードが手の真下にくるように配置すると、自然にこの姿勢がとれます。あごを引いて、目線が目の高さよりやや下になるようにし、体の重心を後ろに置くように、いすに深く腰掛けます。背もたれが背中全体をしっかり支えていることを確認してください。

## 眼精疲労を軽減する

定期的に検診を受け、眼鏡の度数がコンピュータ画面での操作に適しているか確認します。適当な間隔で画面から目を離し、しばらく遠くの物に焦点を合わせます。まばたきをして、目の乾きを防ぎます。

## 筋肉のこりを予防する

長時間筋肉を緊張させたままにしないように、指先や体をリラックスさせます。頻繁に作業を切り替えると、筋肉のこりを予防できます。たとえば、タイピング、読み書き、ファイリング、オフィス内を歩き回るなどを交互に行うと、筋肉の緊張がほぐれます。

## 短い休憩を頻繁に取る

長時間コンピュータを使った作業を行わなければならない場合は、その間頻繁に短い休憩を取ってください。一般的には、1 時間ごとに 5 分から 10 分の休憩を取るとよいでしょう。たまに長い休憩を取るよりも、短い休憩を頻繁に取る方が効果があります。調査によれば、休憩を取らずに長時間仕事を続けると、傷害が発生しやすくなります。時々、手、腕、肩、首、背中のストレッチを行って筋肉をほぐします。少なくとも 1 時間に 1 回はストレッチを行うとよいでしょう。



# 付録 B | PIM データの転送

## パームサイズ PC、ポケット PC、ハンドヘルド PC からデータを転送する

Windows CE 搭載のパームサイズあるいはハンドヘルド PC をご使用の場合、hp jornada にデータを転送することができます。パームサイズ PC あるいはハンドヘルド PC の受信トレイにあるオフラインのフォルダから、Pocket PC に電子メール メッセージを転送する手順についても、以下に説明しています。

### 他の Windows CE 搭載 PC からデータを転送するには

1. デスクトップ PC に Microsoft ActiveSync をインストールします。ActiveSync のインストール方法については、「Microsoft ActiveSync をご使用になる前に」の小冊子を参照してください。

2. デスクトップ PC とデバイスを同期し、デスクトップ PC の情報を最新のものにします。

3. Note Taker のメモや記録などのファイルを転送する場合は、ActiveSync のオプションでファイル変換をオフにして、ファイルのフォーマットを変えずに、ActiveSync Explorer を使用してデスクトップ PC にファイルをコピーします。詳しくは、デスクトップ PC の ActiveSync ヘルプを参照してください。

4. hp jornada とデスクトップ PC を同期します。hp jornada のデータがデスクトップ PC の最新データで更新されます。

5. プログラムを再インストールします。hp jornada 用に最適化されたバージョンがあるか、プログラム製造元に確認してください。

6. ActiveSync Explorer を使用して、手順 3 でデスクトップ PC に転送したファイルをコピーします。

7. ActiveSync で、ファイル変換をオンに戻します。

8. Pocket PC に設定および接続情報を入力します。

## オフライン フォルダを転送するには

1. パームサイズ PC またはハンドヘルド PC をデスクトップ PC に接続し、Microsoft Outlook の［ツール］で［Windows CE 受信トレイの転送］をクリックします。

2. [選択したメッセージをデスクトップ PC にコピーあるいは移動する］を選択し、[参照］ボタンをクリックします。

3. デスクトップ PC に転送するメッセージを含むオフライン フォルダを選択し、[OK］をクリックします。

4. [転送］ボタンをクリックし、メッセージを転送するフォルダを選択するか、[新しいフォルダ］をクリックして新しいフォルダを作成します。[OK］をクリックしてメッセージを転送します。次にデスクトップ PC から hp jornada にメッセージを転送します。

5. hp jornada の受信トレイで、[ツール］をタップし、次に［新しいフォルダ］をタップして転送するメッセージのフォルダを作成します。

6. デスクトップ PC の Outlook で、転送するメッセージを選択します。

7. hp jornada をデスクトップ PC に接続し、Outlook の［ツール］メニューで［Windows CE 受信トレイの転送］をクリックします。

8. [選択したメッセージをモバイル デバイスにコピーする］を選択し、[参照］ボタンをクリックします。

9. メッセージ転送先のオフライン フォルダを選択し、[OK］をクリックします。

10. [転送］ボタンをクリックします。選択されたメッセージが hp jornada に転送されます。

# 付録 C I HP ダイアルアップ 日本国内での設定

ダイアルアップウイザードが終了したら、下記項目を確認してください。

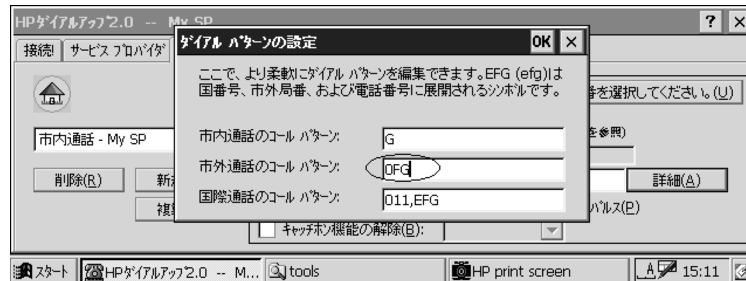
1. サービスプロバイダー タブを開いて市外局番の先頭に“0”が付いていない事を確認してください（例：東京 03 は 3、横浜 045 は 45)。




2. 発信元タブを開いて 1 と同様に市外局番の先頭に“0”が付いていない事を確認してください。



3. 通話プレフィックスの詳細ボタンをクリックして、設定メニューを表示します。



4. ダイアルパターンの設定で、市外通話のコールパターンを“0FG”としてください。
同様に、発信元タブでは自宅及び勤務先の設定が可能です。
自宅の場合は同様に市外通話のコールパターンを“0FG”としてください。
勤務先の場合は市外通話のコールパターンを“0 (外線発信番号)、0FG”としてください。

5. 確認の為、サービスプロバイダー タブで“市外通話としてダイアル”を選択してください。



6. 次に接続！タブの電話番号の確認で市外局番の先頭に“O”が付いているのを確認してください。




以上で終了です。



# 用語集

**AC アダプタ**: 外部電源（バッテリ電源ではなく）を hp jornada に供給するためのコネクタ。AC アダプタのインストールと使い方について、詳しくは第 2 章の「hp jornada をセットアップする」を参照。

**ActiveSync**: hp jornada とデスクトップ PC 間のデータの同期を管理する Microsoft ソフトウェア。同期を行うデータの種類を指定できる。

**バックアップ ファイル**: デスクトップ PC または PC カードに保存される、hp jornada ファイルとデータの複製コピー。このファイルには、内蔵ソフトウェアなど、ROM に格納されている hp jornada 設定と情報は含まれない。hp jornada のデータが損傷または破棄された場合、またはファクトリー デフォルト リセットを行った場合は、バックアップ ファイルを使って hp jornada を元の状態に復元する。

**キャッシュ**: Web ページまたはその他のタイプのファイルを表示したときに、一時的にコピーを保存する、特別な高速データ記憶機構。Internet Explorer で最近訪れた Web ページを表示する場合、Web から再度ロードするのではなくキャッシュを開ければいいので、すばやく表示できる。キャッシュ フォルダ用に割り当てる記憶領域を増やすほど、最近訪れたファイルの表示が速くなるが、その分 hp jornada の他のファイルで使用できる空き容量が減る。Internet Explorer を閉じるときにキャッシュを空にするオプションを選択すると、H/PC の記憶領域を節約できる。

**cookie**: Web サーバーがユーザーの Web ブラウザに渡すメッセージのパケット。ユーザーが cookie を使用している Web サイトにアクセスすると、名前や趣味などの情報をフォームに記入するように求められることがある。この情報は Internet Explorer ブラウザに cookie (cookie.txt という名前のテキスト ファイル）として渡される。次回その Web サイトにアクセスすると、Internet Explorer は cookie を Web サーバーに戻す。サーバーはその情報

を使って、たとえばユーザーの趣味に合わせた情報のみを表示するなど､カスタマイズされたWebページを提供するのに使用する。一般的なウェルカム ページの代わりに、ユーザーの名前が入ったウェルカム ページを表示できるのも cookie の機能による。

**ダイヤルアップ接続**: hp jornada と他の PC とのモデムを使った接続。ISP、ネットワーク、または他の PC のモデムとダイヤルアップ接続ができる。

**直接接続**: hp jornada と他のPCとの､シリアルのPC接続ケーブル、USB ケーブルまたは赤外線ポートを使った接続。

**ドッキング クレードル**: hp jornada をドッキング クレードルに設置すると、即座にパートナーPC と接続できます。hp jornada をドッキング クレードルに設置すると、パートナーPC との同期、文書の転送、電子メールの送付、およびメイン バッテリの充電を行えます。

**DNS (Domain Name System)**: ドメイン名をIPアドレスに変換するインターネット サービス。たとえば、ドメイン名 www.jornada.com を 198.125.247.4 のように変換する。

**ファクトリー デフォルト リセット**: すべての電源を取り外して保存したファイルとデータを消去し、hp jornada をオリジナルの状態に戻すこと（ハード リセットとも呼ぶ）詳しくは、第 8 章の「リセットする」を参照。

**ハード アイコン**: タッチスクリーン右側に縦に並んでいるアイコン。アイコンをタップして、HP 設定や、HP バックアップや、HP ダイヤルアップや、Windows Media Player などのアプリケーションを起動することができる。

**ホットキー**: jornada キーボードの最上列、画面のすぐ下にある。最も頻繁に使用するプログラムに、ワンタッチでアクセスすることができる。

**インターネット サービス プロバイダ (ISP)**: インターネット接続サービス会社。

**IP (Internet Protocol)**: パケット（データグラム）の形式と Web のアドレス指定方法を指定するインターネット プロトコル。郵便システムと同様に、IP はパッケージにアドレスをつけてシステムに送

信する。しかし、パッケージが直接受信者に送られるわけではない。パッケージはサーバーに配信され、受信者は、ISP サーバーにログオンしてそのパッケージをダウンロードする。

**IrDA (Infrared Data Association)**: 赤外線通信に関する、ハードウェアおよびソフトウェアの国際規格。

**Java**: クライアントまたはサーバー コンピュータで動作するアプリケーションや、Web ページの「アプレット」を作成するのに使用される、オブジェクト指向のプログラム言語

**LAN (Local area network)**: ローカル エリア ネットワーク（LAN）は、同一建物内あるいは隣接する建物間など比較的狭い地域に分散配置されたコンピュータ グループ。ファイルを共有したり、データを交換するためにネットワークで結ばれている。

**MIME (Multipurpose Internet Mail Extensions)**: ASCII テキストに変換しなくても、インターネットでバイナリデータ（グラフィックスや文書など）を転送可能にする規格の 1 つ。多くの電子メール プログラムで MIME が使用されており、メールにバイナリファイルを添付して送受信できるようになる。

**NIC (Network interface card)**: コンピュータをネットワークに接続するために必要なカード。NIC は、ネットワークへの常時専用接続が可能。

**ODBC (Open DataBase Connectivity)**: 標準データベースアクセス方式。ODBC は、データがどのデータベース管理システムに属すかに関わらず、あらゆるアプリケーションからあらゆるデータへのアクセスを可能にすることを目的とする。

**パートナー関係**: 同期とデータの転送を目的として hp jornada と PC 間に設定したパートナー関係。hp jornada は、2 台までのデスクトップ PC とパートナー関係を設定できる。

**PCT (Private Communication Technology)**: 暗号化、認証、メッセージの認証コードを使って、インターネット通信のセキュリティと整合性を維持するプロトコル。このプロトコルはアプリケーションに依存せず、Web ブラウザと電子メール クライアントがインターネットを介してデータを送信するのに使用する。PCT は、上

位レベルのアプリケーションによってデータが交換される前に、暗号化キーの自動認識、およびサーバーの認証を行う。

**POP (Post Office Protocol)**: 電子メールをメール サーバーから取得するために開発された最初のプロトコル。ほとんどの電子メール アプリケーション（電子メール クライアントとも呼ばれる）が POP プロトコルを使用しているが、新しい IMAP (Internet Message Access Protocol) を使用しているアプリケーションもある。

**PPP (Point-to-Point Protocol)**: hp jornada が ISP ネットワーク サーバーとの通信に使用するデフォルトのプロトコル。

**ROM (Read Only Memory)**: コンピュータ用記憶装置で、これに記憶されたデータは通常読み取りのみ可能で、書き込みは不可。コンピュータの電源を入れるたびに起動するプログラムも記憶されている。RAM とは異なり、ROM のデータは電源を切っても消失しない。

**RAM (Random Access Memory)**: 機器の電源が入っている間、データを保持する記憶装置。電源がオフになると情報が消えるため、「揮発性」メモリとも呼ばれる。

**RAS (Remote Access Service) アカウント**: hp jornada から Windows NT ネットワークにリモートでアクセスするためのネットワーク アカウント。

**リモート接続**: hp jornada と遠隔地にある PC またはサーバーとの接続。

**リセット**: hp jornada を再起動するまでのプロセス（ソフト リセット）と、RAM に保存されているすべてのデータを消去するまでのプロセス（ファクトリー デフォルト リセット）がある。詳しくは、第 8 章の「リセットする」を参照。

**復元**: バックアップ データを hp jornada にコピーすることにより、hp jornada を前回バックアップしたときの状態に戻す。

**SLIP (Serial Line Protocol)**: PPP よりも機能の単純な旧タイプのプロトコル。インターネットへの SLIP 接続は、PPP 接続とほとんど同じ。

**ソフト リセット**: hp jornada を再起動し、MS Windows for H/PC 2000 オペレーティング システムを初期化するプロセス。ソフト リセットを行うと、開いている文書の保存していないデータはすべて失われるが、保存していたデータは保持される（ウォーム ブートとも呼ぶ)。

**スタイラス ペン**: タッチスクリーン上での操作に使用するペン型のデバイス。

**タッチ スクリーン**: 画面を指で触れたり、スタイラス ペンでタップすることでファイルのオープン、プログラムの起動、テキストの選択などが行えるタッチ感応式画面。

**USB (Universal serial bus)**: 独立型コンピュータに周辺機器その他のデバイスを接続するための、標準化された接続方法およびケーブル プロトコル。



# 索引


.

.2bp ファイル, 105
.bmp ファイル, 105
.doc ファイル, 95
.pwd ファイル, 95
.rtf ファイル, 95
.ttf ファイル, 104
.txt ファイル, 95
.wav ファイル, 104

2

2000 年問題保証, 183

5

56K V.90 モデム, 80

9

9 ピン シリアル ポート, 35

A

ActiveSync, 137, 138
  PC にバックアップおよび復元, 73
  インストール, 34
  接続設定ダイアログボックス, 49
  セットアップ, 32
  セットアップ ウィザード
    受信トレイ拡張, 追加, 32
    必要条件, 34
    メッセージ転送, 32
  説明, 33
  定義, 161
  トラブルシューティング, 42
ActiveSync CD-ROM, 33, 35
ActiveSync オプション, 47, 48
AC アダプタ, 36, 161
  携帯, 128
AC アダプタ, 36, 38
Alt + ホットキー
  定義, 124

B

bmp ファイル, 105

C

Connecting
  hp jornada to a PC, 31
Cookies, 161

D

DC ジャック, 36, 38
DNS
  サーバーアドレス, 88
DNS アドレス, 162
doc ファイル, 95

F

fon ファイル, 104

H

HP F1227A, 106
HP F1252A, 106
HP F1258A, 105
HP F1274A, 106
HP F1279B, 105
HP F1281A, 111
HP F1281A, 105
HP F1295A, 106
HP F1822A, 105

HP F1840A, 106, 111
HP F1841A, 106
HP F1842A, 106
hp jornada 700 シリーズ Web サイト, 102, 124
hp jornada バックアップ アプリケーション, 72,74
hp jornada を携帯する, 128
HP クイックパッド
  概要, 8
HP ビューア
  概要, 7
HP クイックパッド, 60
  起動, 61
  使用, 61
HP セキュリティ, 125
  概要, 8
HP セキュリティ コントロール パネル, 118, 125
HP ダイヤルアップ
    セットアップ ウィザード, 82
HP に連絡, 148
HP ハードアイコン
  カスタマイズ, 119
  初期値に戻す, 121
HP バックアップ, 74, 75, 137
  概要, 8
HP パラレル プリンタ ケーブル (F1274A), 71
HP ビューア, 57
HP ビューア
  起動問題, 138
HP ホットキー
  カスタマイズ, 119
  初期値に戻す, 121
HP ホットキー コントロール パネル, 118
HP 設定
  概要, 8, 121
  開く, 121
  プロファイル, 123
  プロファイル,設定, 123
  プロファイル,変更, 124
  プロファイル,ホットキー, 124

I

IMAP4 ホスト, 81
Internet Explorer, 97, 98
  Ｗｅｂのブラウズ, 96
  オートダイヤル設定, 97
  オプション ダイアログボックス, 97
  起動, 98
IP (Internet Protocol) アドレス, 81
IP (Internet Protocol)アドレス, 162
ISP (インターネット サービスプロバイダ, 81, 83,162
  接続セットアップ, 81

J

Java
  定義, 163

L

LAN (ローカル エリア ネットワーク), 34, 80, 163
Landwear OmniSolve
  概要, 76

M

Microsoft ActiveSync
  概要, 32
  赤外線接続のセットアップ, 44
  トラブルシューティング, 42
  ヘルプ, 131
Microsoft Ink Writer
  概要, 72
Microsoft Internet Explorer, 33, 98
Microsoft Outlook 2000, 33, 35, 39, 137, 156
Microsoft Pocket Access
  概要, 70
  データベースを作成, 70
  テーブルを作成, 70
Microsoft Pocket Excel
  概要, 69
Microsoft Pocket Office, 6

概要, 66
Microsoft Pocket Outlook, 6, 53
インストール, 32
Microsoft Pocket PowerPoint
概要, 67
Microsoft Pocket Word
概要, 66
Microsoft ボイスレコーダ, 62
MIME
エンコード, 96
定義, 163
MIME 形式で送信 チェックボックス, 96
Mobile Channels, 35
MS Internet Explorer for H/PC, 97
MS Windows for H/PC 2000
アドレスバー, 90
ビットマップ（.2bp ファイル), 105
プログラム追加/削除, 103
MS Windows for H/PC 2000 搭載デバイス
赤外線転送問題, 142

N

NIC (ネットワーク インタフェース カード), 163
設定, 89

O

ODBC
定義, 163

P

PC card
概要, 106
PC Link, 43
PC カード
装着, 107
取り出し, 108
PC 接続
問題, 137
PCM, 64
PCT (Private Communication Technology), 163
PC カード
装着, 106
PC カード NIC
ドライバ, 88
PC カード 検出
問題, 136
PC と hp jornada のパートナー関係
概要, 38
自動接続, 43
将来の接続, 42
トラブルシューティング, 39
PC と hp jornada のパートナー関係, 163
PC に接続
9 ピン シリアルポート, 35
ドッキング クレードル使用, 36, 37
PC に接続する
ドッキング クレードル不使用, 36
PIM (personal information manager), 39, 137
Pocket Access, 概要, 6
Pocket Outlook, 53
仕事, 56
受信トレイ, 57
予定表, 54
連絡先, 55
POP3, 164
PPP (Point-to-Point Protocol), 78, 141, 164
pwd.ファイル, 95

R

Rich Ink テクノロジー, 72
rtf ファイル, 95

S

SLIP (Serial Line Internet Protocol), 78, 141
Smart カード
装着, 108
取り出し, 108
SMTP ホスト, 81

Socket LP-E/EIO コントロール パネル, 119
SVGA 256 色, 34

T

TCP/IP, 84
txt ファイル, 95

U

USB, 40, 138
　接続する, 37
　定義, 165

W

Wave サウンド（.wav ファイル), 104
wav ファイル, 104
Web サービス, 85
Web のブラウズ, 98
Windows フォルダ, 104
WINS サーバーアドレス, 88

あ

アクセサリ, 105
アクセス
　社内ネットワーク, 49
　ネットワーク上にないコンピュータ, 50
アクセス番号, 129
新しい接続ダイアログボックス, 51
DNS
　アドレス, 81
アドレス発行を有効にする ダイアログボックス, 93
アプリケーションの削除と再インストール, 103
アラーム, 設定, 104
アラーム設定, 104

い

印刷
　IrDA ポートオプション, 71
　Microsoft Pocket Office 文書, 71
　office 文書, 71
　赤外線使用, 71
インストール
　Microsoft ActiveSync, 35
　Microsoft Pocket Outlook, 32
　アプリケーション, 102
インターネットオプション コントロール パネル, 118
インターネット サービス プロバイダ(ISP), 81
インターネット接続
　オプション,一般, 77
　個人アカウント, 78
　社外アクセスの会社アカウント, 79
　社内アクセスの会社アカウント, 79
インターネットに接続, 個人アカウント
　PPP (Point-to-Point Protocol) アカウント, 78
　モデム, 78
インテリジェント パワー マネジメント, 116
電源
　インテリジェント パワー マネジメント, 116
イントラネット接続, 96, 98

お

オーディオ ボタン
　使用, 27
オーディオ ボタン
　ロック, 129
オーナー情報 コントロール パネル, 118
オーナー情報 タブ, 125
オーナーのプロパティ, 変更, 125
音量とサウンド コントロール パネル, 119
音量のプロファイル タブ, 122
音量のプロファイル ホットキー, 124

か


快適な作業を行うために, 151
カスタマーサービス, 147
カスタマイズ
HP ハードアイコン, 119
HP ホットキー, 119
一般的オプション, 118
画面
減光,設定, 116
表示オフ, 117
画面コントロール パネル, 118
画面のプロファイル タブ, 122
画面のプロファイル ホットキー, 124
画面問題, 142


き


キーボード コントロール パネル, 118
キャッシュ, 161
競合の解決,デフォルト設定, 48
競合の解決ダイアログ ボックス, 47


く


クイックパッド, 60


け


ケーブル
HP パラレルプリンタ, 71
USB, 105
シリアル同期, 35
電話, 36
同期, 36
ゲストアクセス権,ネットワーク, 89
減光,自動,設定, 116


こ


ごみ箱,オプション, 110
コントロール パネル
タイプ, 118
開く, 118
コンバータが選択されていないダイアログボックス, 103
CompactFlash カード
外出時, 129
概要, 106
装着, 106, 108
取り出し, 109


さ


サーバーが割り当てた IP アドレス, 84
サーバーが割り当てた IP アドレスを使用するチェックボックス, 51
サーバーが割り当てたアドレス, 84
サービス プロバイダ
接続, 87
サウンド
調整, 117
追加, 104
サスペンド, 13, 25, 117
自動, 114
遅延, 115
サポート, 147
参照
hp jornada デスクトップ, 45


し


システム コントロール パネル, 119
自動サスペンド,設定, 115
自動サスペンド失敗, 133
自動接続オプション, 50
社内ネットワーク
リモート アクセス, 49
受信トレイ, 57, 85 155, 156
ISP に接続 (インターネット サービス プロバイダ), 94
使用, 93
設定, 94
送信失敗, 139
障害,電気, 132
省電力タブ, 115
情報,情報源, 2
シリアル PC 接続ケーブル, 105

シリアル接続, 40
シリアルの PC 接続ケーブル, 35, 36, 129
シリアル ポート
  接続する, 35
新規パートナー関係ウィザード, 39

**す**

スクリーン, 表示問題, 142
スタイラス ペン コントロール
  パネル, 119
  説明, 119

**せ**

性能,最適化, 117
世界時計
  コントロール パネル, 119
赤外線接続,確立, 44
赤外線対応 PCL プリンタ, 71
赤外線転送問題, 142
赤外線ポート, 43, 71
セキュリティ, 125
セキュリティ ログ
  使用, 128
接続
  hp jornada を他の PC に, 44
  USB 使用, 37
  シリアル ポート, 35
  ダイヤルアップ, 79, 80
  直接, 162
  ネットワーク
    HP ダイヤルアップを使わずに作成, 91
  パートナー関係
    自動, 43
    赤外線, 43
接続状況ダイアログ ボックス, 39, 43
設定
  ActiveSync で赤外線接続, 44
  hp jornada で赤外線接続, 44
設定プロファイル, 123
ActiveSync
  セットアップ ウィザード
    説明, 32

**そ**

Smart カード
  装着, 106
ソフトウェア ドライバ,インストール, 106
ソフトウェア製品ライセンス契約, 184

**た**

ダイヤルアップ接続, 79, 162
  複数, 90
ダイヤルアップ接続ダイアログボックス, 51
ダイヤルコントロール パネル, 118

**ち**

地域 コントロール パネル, 119

**つ**

通信コントロール パネル, 118

**て**

低音部と高音部
  設定, 123
データ
  一般同期, 46
  選択同期, 47
データ記憶用メモリ, 63, 64, 110
データ消失, 139
データ転送
  問題, 142
データのバックアップおよび復元, 72, 75
データの復元, 72, 75, 164
データベース,作成, 70
データ記憶用メモリ, 103
テーブル,作成, 70
適度な気温, 132
デスクトップ, hp jornada
  参照, 45
  ファイル, 連動, 45
  ファイルを開く, 45
デスクトップ壁紙, 105

デフォルト競合解決, 48
電気障害, 132
電源
  情報表示, 124
  トラブルシューティング, 132
電源オン オプション,設定, 116
電源 コントロール パネル, 118
  説明, 118
電源コントロール パネル
  概要, 114
  開く, 114
電子メール
  受信トレイからサービス プロバイダに接続, 94
  添付ファイル破損, 139
電子メールアカウント,会社
  社内アクセス, 79
電子メールアカウント,会社
  セットアップ, 93
電子メールアカウント,個人
  セットアップ, 78
電子メールアカウント, 会社
  社外からアクセス, 79
電子メールサービス
  セットアップ, 84
電子メール接続,オプション, 77
電子メール添付ファイル, 95
電子メール メッセージ
  削除, 96
  送信問題, 139
電子メールメッセージ
  同期, 48
電卓, 説明, 8
添付ファイル
  MIME エンコード, 95
  メモリカードに保存, 96
電話回線
  アクセス, 79
  モデムに接続, 86
電話ケーブル, 36

### と

同期, 32, 39
  Active Sync 使用, 32
  Microsoft Pocket Outlook データ, 47
  競合の解決, 47
  競合の解決ダイアログボックス, 47
  選択データ, 47
  データ, 46
  電子メール メッセージ, 47, 48
  離れた場所から, 49
  ファイル, 47
  リモート, 49
ドッキング クレードル, 35
ドッキング クレードル
  定義, 162
ドメイン
  ネットワーク, 83
ドライバ
  NIC, 88
  インストール, 106
トラブルシューティング
  HP バックアップ, 137
  印刷, 140
  画面, 135
  シャットダウン/サスペンド, 134
  スタイラス ペン反応, 140
  ソフトウェアのインストール, 140
  メモリ不足, 136
  ロックアップ, 134
取り扱い上の注意, 132

### ね

ネットワーク
  ゲストアクセス権, 89
  ネットワーク上にないコンピュータにアクセス, 50
ネットワーク(LAN)接続, 80
ネットワーク インタフェースカード(NIC), 80
ネットワークオプションを介したデバイス接続, 50
ネットワークコントロール パネル, 118
ネットワーク接続
  HP ダイヤルアップを使わずに作成, 91
  オンサイト ログオン, 89

社内アカウントにアクセス, 49
ネットワーク設定ダイアログボックス, 89
ネットワーク ドメイン, 85

**は**

ハードアイコン
カスタマイズ, 119
定義, 162
ハードアイコン タブ, 120
パートナー関係
確立, 39
新規パートナー関係ウィザード, 39
背景 タブ, 105
パスワード
制限, 127
パスワード起動待ち時間, 127
破損, 132
バックアップ
CompactFlash カード, 74
バックアップ ファイル, 161
発信元,設定, 51
バッテリ
バックアップ, 112
バックアップ,交換, 112
メイン, 111
バッテリ消耗, トラブルシューティング, 133
バッテリ電源
管理, 111
自動サスペンド, 115
状況, 114
節約, 115
離れた場所
同期, 49

**ひ**

ビットマップ画像(.bmp ファイル), 105
ビューア, 57
表示
問題, 142

**ふ**

ファイル
デスクトップから開く, 45
デスクトップでアレンジ, 45
転送, 52
添付ファイル, 95
添付ファイル破損, 139
ネットワーク上でアクセス, 90
変換オプション, 52
ファイル タイプ
.rtf ファイル, 95
Pocket Word ファイル (.pwd), 95
Word ファイル(.doc), 95
.テキストファイル, 95
ファイル添付
メモリカードに保存, 96
ファイルの転送, 52
ファイル フォーマット
録音, 63
ファイルフォーマット
GSM, 64
Microsoft Pocket Word, 66
PCM, 64
ファイル変換のプロパティダイアログボックス, 52
ファイルを開くダイアログボックス, 68
ファイル添付
MIME エンコード, 95
フォント,追加, 104
TrueType (.ttf ファイル), 104
Windows (.fon ファイル), 104
復元
ActiveSync 使用, 73, 75
PIM データベース, 75
警告メッセージ, 137
すべて, 75
部品番号
HP F1252A, 106
HP F1258A, 105
HP F1274A, 106
HP F1279B, 105
HP F1281A, 111
HP F1281A, 105
HP F1295A, 106
HP F1822A, 105
HP F1840A, 106, 111

HP F1841A, 106
HP F1842A, 106
HPF1227A, 106
プライマリ パスワード
設定, 126
プライマリ パスワード
削除, 127
プライマリ パスワード保護
無効, 127
ブラウズ
Web, 96
プロキシサーバー, 85
プログラム
インストール, 102
削除, 104
プログラム実行用メモリ, 124, 134, 135, 140
プログラム追加/削除, 103
プログラムの削除 コントロール パネル, 119
プログラムの追加あるいは削除, 103
プログラム用メモリ, 110

ほ

ボイスレコーダ, 62
放射線, 132
ポート
9 ピン シリアル, 35
赤外線, 43
他のデバイスからデータを転送, 155
保証
ソフトウェア, 184
ハードウェア, 181
ホットキー
音量のプロファイル, 124
カスタマイズ, 119
画面のプロファイル, 124
定義, 162
ホットキー タブ, 120

ま

マイ ハンドヘルド PC フォルダ, 107

め

メイン バッテリ
外出時, 129
メインバッテリ, 111
メインバッテリ,交換, 112
メモ タブ, 125
メモリ
管理, 110
情報表示, 124
節約, 111
リフレッシュ, 110
割り当て,調整, 110
メモリ タブ, 110, 124
メンテナンスとクリーニング, 131

も

モデム
インストールと設定, 80
接続問題, 141
ダイヤル問題, 141
モデムリストオプション, 51
モニタ, 表示問題, 142
モバイル デバイス ウィンドウ, 46, 103
モバイルデバイスとの接続待機中, 49

よ

予定表, 54
概要, 6

り

リセット, 143
ソフト, 143, 144, 165
定義, 164
ファクトリー デフォルト, 143, 145, 162
利点,概要, 4
リモート アクセス サービス (RAS), 164
リモート接続, 164
発信元設定, 51
リモート ネットワーク
セットアップ, 92

リモート ネットワーク フォルダ, 51

### れ

連絡先, 55
　概要, 6

### ろ

録音, 62, 63
　フォーマット, 63
ロックアップ, トラブルシューティング, 134



# 保証

重要:本ハードウェア製品の保証について説明しています。必ずお読みください。

国によって、保証条件が異なることがあります。その場合の詳細については、当社正規販売代理店またはセールスおよびサービス オフィスまでお問い合わせください。

## 1 年間限定ハードウェア保証

当社は、このハードウェア製品の部品や仕上がりに不具合がある場合、最終消費者の購入時の領収書に記載された期日より 1 年に限り保証するものとします。

保証期間内に上記の不具合が認められた場合、当社にご連絡いただければ、当社の判断で修理または交換を行います。

適当な期間内に、製品の修理または交換が行えない場合は、限定的な代替策として、製品を返品していただき、ご購入代金を返金させていただく場合があります。

## 保証の制限

上記の保証は、次の結果生じた不具合には適用されません。誤使用、当社公認ではない修正、HP アップグレード キットを使用した公式のアップグレード以外で製品を開けること、環境仕様の範囲外での使用あるいは保管、ボタン型電池とそれにより生じた損傷、輸送中の破損、不適切な取り扱い、画面のひび割れなどの物理的な損傷、HP 以外のソフトウェア、アクセサリ、メディア、供給品、消耗品など、この製品専用に設計されていない製品を使用したことによる不具合。

当社はこの製品に関して、本保証以外の明示的保証は一切行いません。

商品性、適合性に関する黙示的保証は、いかなる場合もこの書面による保証に規定する 1 年間に限定されます。

黙示的保証については、その期間を限定していない国、地域もあるため、上記の制限事項が適用されない場合があります。

この保証によってお客様は特定の法的権利が与えられます。また、州や地区、国などによっては異なる権利が与えられる場合があります。

## 責任と保証の制限

上記の責任が、唯一で排他的な責任です。

いかなる場合も、当社は直接的、間接的、特別な、付随的、結果的損害（利益の損失を含む）に対し、保証や契約や、不法行為や、その他いかなる法理に基づいても、一切の責任を負わないものとします。

ただし、州、地域、国によっては、偶発的または付随的損害（利益の損失を含む）の排除、制限を認めない場合があります。そのような場合は、上記の制限または排除は適用されません。

## オーストラリア、ニュージーランド、英国の消費者向け注意事項

上記の排除事項と制限事項は、オーストラリア、ニュージーランド、英国における商取引には適用されません。また、消費者の強制法規上の権利を侵害しません。

## オーストラリアの消費者向け注意事項

上記の保証条件とこの製品に含まれるすべての保証条項は、法的に許容される場合を除き、Trade Practices Act 1947 によって規定される強制法規上の権利、または本製品のお客様への販売に適用される各州または地域の法律を排除し、制限し、修正し、追加するものではありません。この権利については、電話番号 61-3-88778000、Hewlett-Packard Customer Care Center までお問い合わせください。

## ニュージーランドの消費者向け注意事項

上記の保証条件とこの製品に含まれるすべての保証条項は、法的に許容される場合を除き、本製品のお客様への販売に適用される Consumer Guarantees Act 1993 によって規定される強制法規上の権利を排除し、制限し、修正し、追加するものではありません。この権利については、電話番号 0800-733547、Hewlett-Packard End User Support 窓口までお問い合わせください。

# HP ソフトウェア製品ライセンス契約および HP ソフトウェア製品限定保証

この製品には、ソフトウェア プログラムがプリインストールされています。お使いになる前に、この HP ソフトウェア製品ライセンス契約をお読みください。

重要: この製品をお使いになる前に、このライセンス契約と限定保証を必ずお読みください。ソフトウェアの使用権は、販売ではなくライセンス供与によるものです。HP またはそのライセンス供与者は、ソフトウェアに関するすべての知的所有権を有しており、お客様は本ライセンス契約を承諾することにより、ソフトウェアの使用を認可されます。本ソフトウェアの使用権は、本ライセンス契約の条項および条件にすべて同意した場合に限って提供されるものです。本製品の作動を開始した場合、本契約の条項および条件に同意したものと見なされます。本ライセンス契約に同意できない場合は、未開封のパッケージを返却いただけば、購入代金の全額を返還いたします。

## HP ソフトウェア製品ライセンス契約

この HP ソフトウェア製品ライセンス契約は、Microsoft 社のソフトウェアを除き、本製品に付属するすべてのソフトウェアの使用に適用されます。Microsoft 製品については、Microsoft マニュアルに記載された Microsoft エンドユーザー ライセンス契約（EULA）に基づいてライセンス供与されます。第三者のソフトウェア供給業者のソフトウェアについては、オンラインあるいはパッケージに付属の文書その他に記載された保証条件が適用されます。

ソフトウェアの使用には、以下のライセンス条件が適用されます。

### 使用

本ソフトウェアは、1 台のコンピュータ上で使用することができます。本ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。

EU 加盟国での取り扱い:逆コンパイルの禁止は、EU 議会令 91/250/EEC により制約されています。

### 複製および改変

本ソフトウェアは、次の場合に複製または改変することができます。(a)アーカイブを目的とする場合 (b)本ソフトウェアが正規の方法で使用される場合において、複製または改変がどうしても必要な場合のみ

お客様は、一部のソフトウェアに対して当社が認めている複製ライセンスを取得した場合を除いて、かかるソフトウェアの複製を作成する権利は与えられていません。

お客様が作成した複製または改変に対し、保証や、無料のインストレーションあるいはトレーニングは提供されません。

複製または改変する際は、本ソフトウェアに含まれるすべての著作権に関する表示をしなければなりません。

## 所有権

物理媒体の所有権を除き、本ソフトウェアに対するいかなる権利または所有権も、お客様には付与されません。本ソフトウェアには著作権が設定されており、著作権法によって保護されています。本ソフトウェア製品は、添付の著作権に関する通告に明記されている第三者のソフトウェア供給業者によって開発されている場合があります。お客様が本契約および著作権を侵害した場合、該当供給業者に対して責任を負うものとします。

## ソフトウェアに伴う権利の譲渡

お客様は、本ソフトウェアに伴う権利をすべての権利の譲渡の一部として、また、本ライセンス契約の条件に従うことを第三者が事前に合意した場合のみ、第三者に本ソフトウェア製品の使用権を譲渡できます。このような譲渡を行った時点で、お客様の本ソフトウェアに対する使用権はなくなり、複製および改変したものを廃棄するか、あるいはこれらを第三者に引き渡すものとします。米国政府との契約に基づく米国政府や機関、主契約業者、下請け業者への譲渡は、当社との書面による合意に従って行うものとします。

## 間接的なライセンス付与と配布

当社の書面による事前の承諾なしに、本ソフトウェアを賃貸ししたり、ライセンスを間接的に供与したり、物理媒体やデータ通信その他の手段で、本ソフトウェア製品の複製または改変したものを配布することはできません。

## 終了

当社は、お客様が本ライセンス条項のいずれかに違反し、当社が履行を要求したにもかかわらず、通知から 30 日たっても履行されないとき、本ライセンスを終了することができます。

## 更新とアップグレード

本ソフトウェアには更新とアップグレードは含まれません。更新とアップグレードは別のサポート契約のもとで行われる場合があります。

## 輸出条件

合衆国輸出管理規制やその他の該当規制に違反して、本ソフトウェアやその複製または改変したものを輸出したり、再輸出したりすることはできません。

## 合衆国政府の制限規定

本ソフトウェアと付属のマニュアル類はすべて民間の費用によって開発されたものです。これらは、DFARS 252.227-7013 (1988 年 10 月) 、DFARS 252.211-7015 (1991 年 5 月)、DFARS 252.227- 7014 (1995 年 6 月) に定義されている「商用コンピュータ ソフトウェア」、FAR 2.101 (a) に定義されている「商用品目」または、FAR 52.227-19 (1987 年 6 月) およびこれに相当する関連官庁の規定および契約条項に定義されている「制限付きコンピュータ ソフトウェア」のうちの適用可能なものとして販売されライセンス付与されています。お客様は本ソフトウェアおよび付属マニュアルに対しては、FAR、DFARS の条項、または当該製品に含まれる当社標準ソフトウェア契約のうち、いずれか該当するものによって付与された権利のみを有するものとします。

## HP ソフトウェア製品限定保証

重要: この HP ソフトウェア製品限定保証は、HP 製品の一部としてお客様に提供される、オペレーション システム ソフトウェアを含むすべてのソフトウェアに適用されるものです。第三者のソフトウェア供給業者のソフトウェアについては、オンラインあるいは製品パッケージに付属の文書その他に記載された保証条件が、HP ソフトウェア製品限定保証に優先します。

### 90 日間限定ソフトウェア保証

HP は、ソフトウェア製品に対し、製品購入後 90 日間に限り、すべてのファイルが適切にインストールされている限りは、プログラミング インストラクションを実行することを保証します。当社は、ソフトウェアの動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。保証期間中、このソフトウェア製品がプログラミング インストラクションを実行できない場合は、製品を交換するか、または購入代金を返還いたします。交換する場合は、当該メディアを HP にご返却ください。当社がメディアを相当期間内に交換できない場合は、製品とすべての複製をご返却いただき、ご購入代金を払い戻しさせていただきます。

### リムーバブル メディア (付属の場合)

リムーバブル メディアが付属している場合、通常の使用で購入後 90 日間に限り、リムーバブル メディアの部品や仕上がりおよび記録状態に不具合がある場合保証するものとします。保証期間中、メディアに不具合が認められた場合、製品を交換するか、または購入代金を返還いたします。交換する場合は、当該メディアを HP にご返却ください。当社がメディアを相当期間内に交換できない場合は、製品をご返却いただき、すべての非リムーバブル メディア上のコピーを破棄していただいた上で、ご購入代金を払い戻しさせていただきます。

### 保証請求の通知

保証請求を行う場合は、保証期間の満了日から 30 日以内に、書面にて HP に通知しなければなりません。

### 保証の制限

当社はこの製品に関して、本保証以外の明示的保証は一切行いません。

商品性、適合性に関する黙示的保証は、いかなる場合もこの書面による保証に規定する 90 日間に限定されます。黙示的保証については、その期間を限定

していない国、地域もあるため、上記の制限事項が適用されない場合があります。この保証によってお客様は特定の法的権利が与えられます。また、州や地区、国などによっては異なる権利が与えられる場合があります。

## 責任と修理の制限

上記の責任が、唯一で排他的な責任です。いかなる場合も、当社は直接的、間接的、特別な、付随的、結果的損害（利益の損失を含む）に対し、保証や契約や、不法行為や、その他いかなる法理に基づいても、一切の責任を負わないものとします。ただし、州、地域、国によっては、偶発的または付随的損害（利益の損失を含む）の排除、制限を認めない場合があります。そのような場合は、上記の制限または排除は適用されません。

いかなる場合にも、HP がソフトウェアおよび製品の購入金額を超えて責任を負うことはありません。上記の制限は、お客様がソフトウェアを受領したか否かにかかわらず適用されます。

上記の排除事項と制限事項はオーストラリアおよび英国における商取引には適用されず、消費者の強制法規上の権利を侵害しません。